

町田市交通安全に関する市民意識調査

報告書

2022年3月

町 田 市

目 次

1. 調査の概要.....	1
1 - 1. はじめに.....	1
1 - 2. 調査目的.....	1
1 - 3. 調査項目.....	1
1 - 4. 調査設計.....	1
1 - 5. 回収結果.....	1
1 - 6. 報告書の見方.....	2
2. 回答結果.....	4
2 - 1. 回答者の基本属性.....	4
(1) 性別・年齢階層（問 17・18）.....	4
(2) 同居の家族の構成（問 19）.....	5
(3) 就業状況（問 20）.....	6
(4) 住まいの地区（問 21）.....	7
2 - 2. 生活の変化について.....	9
(1) 日常の移動で主に利用する交通手段（問 1）.....	9
(2) 外出頻度の変化（問 2）.....	19
2 - 3. 交通安全の意識や行動について.....	20
(1) 日常生活のなかで、交通安全についての意識（問 3）.....	20
(2) 日常的に通る町田市内の道路について、安全に通行できると感じているか（問 4）.....	22
(3) 道路を歩くときに、交通安全について気をつけていること（問 5）.....	24
(4) 歩行者として利用するとき交通安全上不安に思っていること（問 6）.....	28
(5) 自転車を運転等するとき、交通安全について気をつけていること（問 7-1）.....	33
(6) 町田市内の道路を自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること（問 7-2）.....	36
(7) 自動車やバイクを運転等するとき、交通安全について気をつけていること（問 8-1）..	47
(8) 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること（問 8-2）.....	54
(9) 子どもや高齢者が道路を利用して、危ないと思う場面を見かけることがあるか（問 9）.....	63
(10) 自身の免許の返納に関する考え（問 10）.....	73
(11) 市や警察が行う交通安全の取組のうち、以前よりも進んだと思う取組（問 11）.....	75
2 - 4. 交通安全に関する知識や学習等について.....	84
(1) 「新・町田市交通安全行動計画」の認知状況（問 12）.....	84
(2) 交通安全に関する情報を何で知ることが多いか（問 13）.....	85
(3) どのような方法で、交通ルールやマナーを知ることが有効だと思うか（問 14）.....	88
(4) 知っている交通ルール（問 15）.....	91
(5) 今後、市や警察が行う交通安全の取組について重要だと思うもの（問 16）.....	93

(別添) 調査票

1. 調査の概要

1 - 1. はじめに

町田市では、交通事故の減少を目指し、警察や地域団体などと連携して、交通安全の取組を進めています。今般、取組内容を再検討することになったことから、交通安全に関する市民の皆様の考えを参考にして交通安全の取組を進めるため、市民意識調査を実施しました。

今回、調査にご協力いただいた多くの市民の皆様に、心から厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも取組推進に向けてご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 - 2. 調査目的

「第3次町田市交通安全行動計画」の策定にあたり、調査によって得られた市民の交通安全に関する意識や行動等を、統計的手法によって分析し、交通安全に関する課題の抽出や、施策の推進にあたっての検討基礎資料とすることを目的とする。

1 - 3. 調査項目

- (1)生活の変化について
- (2)交通安全の意識や行動について
- (3)交通安全に関する知識や学習等について
- (4)回答者の基本属性

1 - 4. 調査設計

- (1)調査地域 町田市全域
- (2)調査対象 市内在住の20歳以上80歳未満
(2021年4月1日現在)の男女個人
- (3)対象者数 3,000人
- (4)抽出方法 住民基本台帳(外国人を含む)に基づく無作為抽出
- (5)調査方法 郵送による配布および郵送回収・WEB回収
- (6)調査時期 2021年5月～6月

1 - 5. 回収結果

有効回収数1,482件(郵送1,035件、WEB447件)、有効回収率 49.4%

1 - 6. 報告書の見方

- (1) 集計は、小数第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 設問の回答数（基数）は、「n」で表示している。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答数を基数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (4) 帯グラフ中では、スペースの都合上、小さい数値の表示を省略している場合がある。なお、掲載しているグラフの数値一覧は巻末に掲載している。
- (5) 標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次の公式によって算出される。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b=標本誤差
N=母集団の大きさ
n=回答数
P=回答の比率

今回の実際の質問にあてはめてみると、「あなたは、日常生活のなかで、交通安全について意識することがありますか?」という質問に答えた人は1,482人（＝回答数）であり、そのうち、48.3%（＝回答の比率）の人がとても意識すると答えた。今回の調査対象となった20歳以上80歳未満の町田市民の人口は317,413人（※2021年4月1日現在）であったので、それぞれの数値を公式に代入すると、次の誤差が算出される。

$$2 \sqrt{\frac{(317,413 - 1,482)}{(317,413 - 1)} \times \frac{0.483(1 - 0.483)}{1,482}} \doteq 0.026$$

したがって、±2.6%が誤差の範囲となる。つまり、この回答に対する町田市民の真の値は、48.3% ±2.6% = 45.7%～50.9%の間と考えられる。

なお、サンプル数が100程度（n=98）でも回答に一定の誤差を有していることから、特にサンプル数が少ないクロス集計等についてその調査結果に留意する必要がある。

〈各回答の比率における誤差早見表〉

(N=317, 413)

回答の比率 (p) 回答数 (n)	10% または90%	20% または80%	30% または70%	40% または60%	50%
1,482	± 1.6%	± 2.1%	± 2.4%	± 2.5%	± 2.6%
1,228	± 1.7%	± 2.3%	± 2.6%	± 2.8%	± 2.8%
1,023	± 1.9%	± 2.5%	± 2.9%	± 3.1%	± 3.1%
716	± 2.2%	± 3.0%	± 3.4%	± 3.7%	± 3.7%
514	± 2.6%	± 3.5%	± 4.0%	± 4.3%	± 4.4%
509	± 2.7%	± 3.5%	± 4.1%	± 4.3%	± 4.4%
479	± 2.7%	± 3.7%	± 4.2%	± 4.5%	± 4.6%
457	± 2.8%	± 3.7%	± 4.3%	± 4.6%	± 4.7%
343	± 3.2%	± 4.3%	± 4.9%	± 5.3%	± 5.4%
333	± 3.3%	± 4.4%	± 5.0%	± 5.4%	± 5.5%
317	± 3.4%	± 4.5%	± 5.1%	± 5.5%	± 5.6%
310	± 3.4%	± 4.5%	± 5.2%	± 5.6%	± 5.7%
297	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
293	± 3.5%	± 4.7%	± 5.4%	± 5.7%	± 5.8%
274	± 3.6%	± 4.8%	± 5.5%	± 5.9%	± 6.0%
195	± 4.3%	± 5.7%	± 6.6%	± 7.0%	± 7.2%
189	± 4.4%	± 5.8%	± 6.7%	± 7.1%	± 7.3%
146	± 5.0%	± 6.6%	± 7.6%	± 8.1%	± 8.3%
98	± 6.1%	± 8.1%	± 9.3%	± 9.9%	± 10.1%

2. 回答結果

2-1. 回答者の基本属性

(1) 性別・年齢階層（問 17・18）

○回答者の性別をみると、女性の割合が 56.7%となっている。

○回答者の年齢構成をみると、40 歳代～70 歳代の回答者が多い。

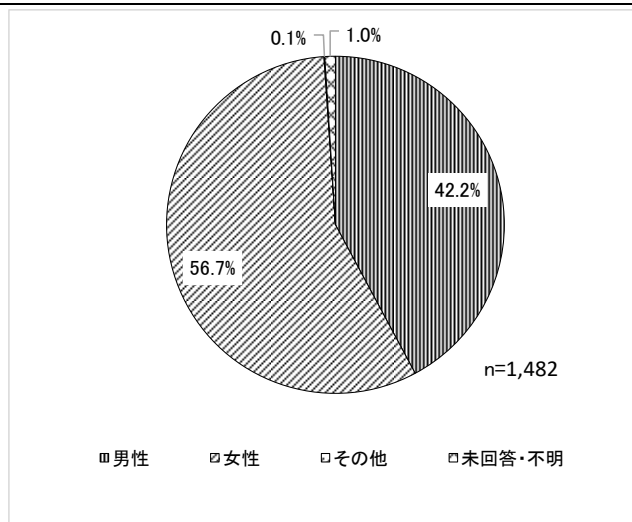


図 2-1-1 回答者の性別

表 2-1-1 回答者の年齢構成

	回答者数					構成比				
	男性	女性	その他	未回答・不明	合計	男性	女性	その他	未回答・不明	合計
20～24歳	23	25	0	0	48	3.7%	3.0%	0.0%	0.0%	3.2%
25～29歳	20	30	0	0	50	3.2%	3.6%	0.0%	0.0%	3.4%
30～34歳	28	39	0	0	67	4.5%	4.6%	0.0%	0.0%	4.5%
35～39歳	27	52	0	0	79	4.3%	6.2%	0.0%	0.0%	5.3%
40～44歳	54	76	1	0	131	8.6%	9.0%	100.0%	0.0%	8.8%
45～49歳	75	104	0	0	179	12.0%	12.4%	0.0%	0.0%	12.1%
50～54歳	67	110	0	0	177	10.7%	13.1%	0.0%	0.0%	11.9%
55～59歳	46	74	0	0	120	7.4%	8.8%	0.0%	0.0%	8.1%
60～64歳	61	77	0	0	138	9.8%	9.2%	0.0%	0.0%	9.3%
65～69歳	63	73	0	0	136	10.1%	8.7%	0.0%	0.0%	9.2%
70～74歳	94	108	0	1	203	15.0%	12.8%	0.0%	6.7%	13.7%
75歳以上	67	72	0	1	140	10.7%	8.6%	0.0%	6.7%	9.4%
不明	0	1	0	13	14	0.0%	0.1%	0.0%	86.7%	0.9%
合計	625	841	1	15	1,482	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 同居の家族の構成（問 19）

○同居の家族の構成をみると、二世世代世帯（自分と子ども）が 37.7%と最も多く、夫婦のみ（事実婚を含む）が続く。

表 2-1-2 回答者の同居の家族の構成

	回答者数					構成比				
	男性	女性	その他	未回答・不明	合計	男性	女性	その他	未回答・不明	合計
単身（一人世帯）	79	90	0	1	170	12.6%	10.7%	0.0%	6.7%	11.5%
夫婦のみ（事実婚を含む）	188	232	0	0	420	30.1%	27.6%	0.0%	0.0%	28.3%
二世世代世帯（自分と親）	80	102	0	0	182	12.8%	12.1%	0.0%	0.0%	12.3%
二世世代世帯（自分と子ども）	218	338	1	1	558	34.9%	40.2%	100.0%	6.7%	37.7%
三世世代世帯（自分と子どもと孫）	8	23	0	0	31	1.3%	2.7%	0.0%	0.0%	2.1%
三世世代世帯（親と自分と子ども）	24	32	0	0	56	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%
三世世代世帯（祖父母と親と自分）	6	7	0	0	13	1.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.9%
その他	18	15	0	0	33	2.9%	1.8%	0.0%	0.0%	2.2%
不明	4	2	0	13	19	0.6%	0.2%	0.0%	86.7%	1.3%
合計	625	841	1	15	1,482	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 就業状況（問 20）

○就業状況をみると、常勤が 39.3%と最も多く、主婦・主夫（家事専業）が続く。

表 2-1-3 回答者の就業状況

	回答者数					構成比				
	男性	女性	その他	未回答・不明	合計	男性	女性	その他	未回答・不明	合計
常勤	350	232	0	0	582	56.0%	27.6%	0.0%	0.0%	39.3%
非常勤	32	104	0	0	136	5.1%	12.4%	0.0%	0.0%	9.2%
農業、林業、漁業	3	2	0	0	5	0.5%	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%
商業、工業、サービス業、その他自由業などの自営業	53	48	1	0	102	8.5%	5.7%	100.0%	0.0%	6.9%
主婦・主夫（家事専業）	1	308	0	0	309	0.2%	36.6%	0.0%	0.0%	20.9%
学生	12	9	0	0	21	1.9%	1.1%	0.0%	0.0%	1.4%
その他	19	31	0	0	50	3.0%	3.7%	0.0%	0.0%	3.4%
無職	152	99	0	2	253	24.3%	11.8%	0.0%	13.3%	17.1%
不明	3	8	0	13	24	0.5%	1.0%	0.0%	86.7%	1.6%
合計	625	841	1	15	1,482	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 住まいの地区 (問 21)

○回答者の居住地別年齢階層をみると、「小山」「町田」「南」は20～50歳代が6割を超えている。
一方、「三輪」は60歳代以上の割合が5割を超えている。

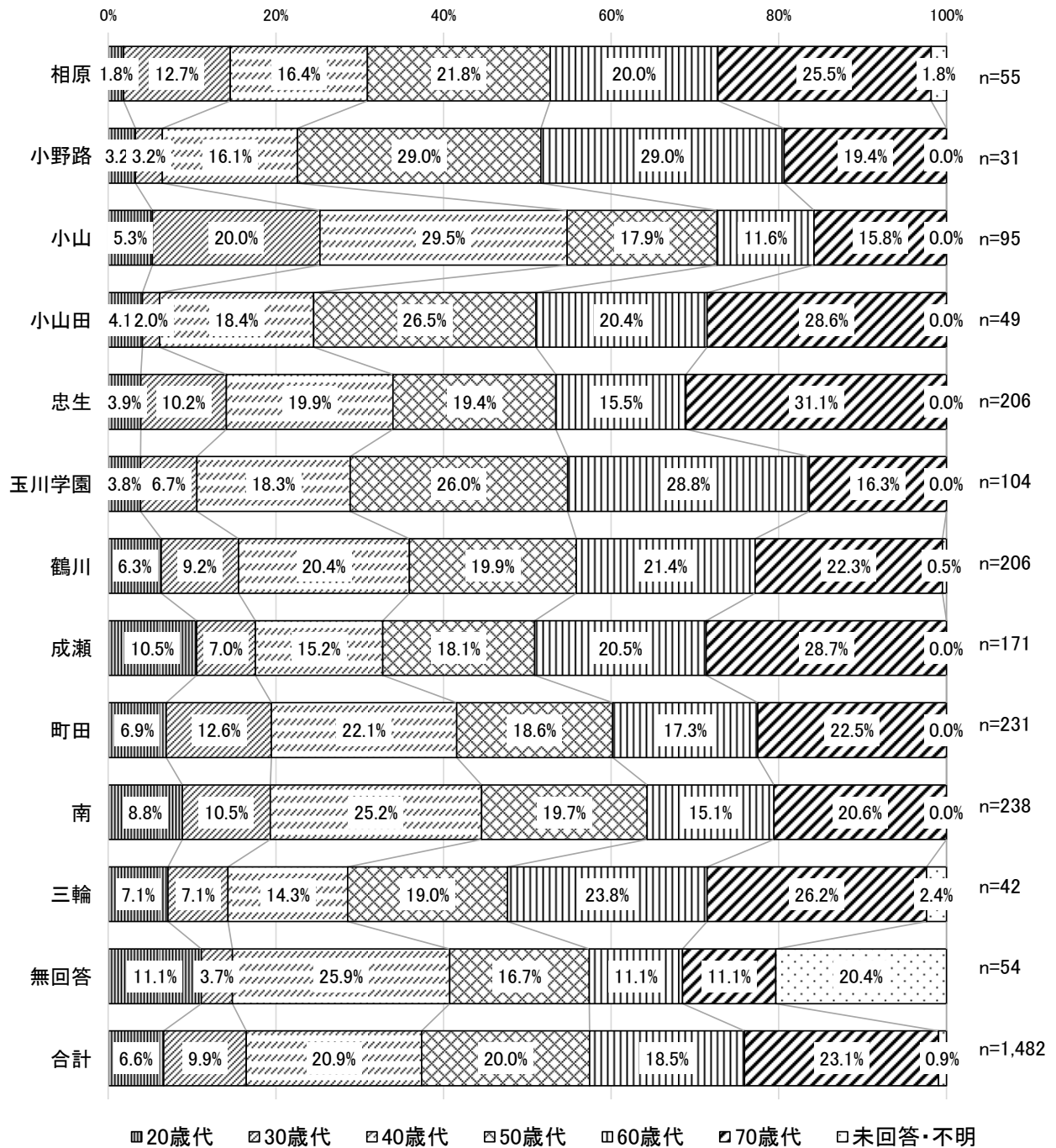
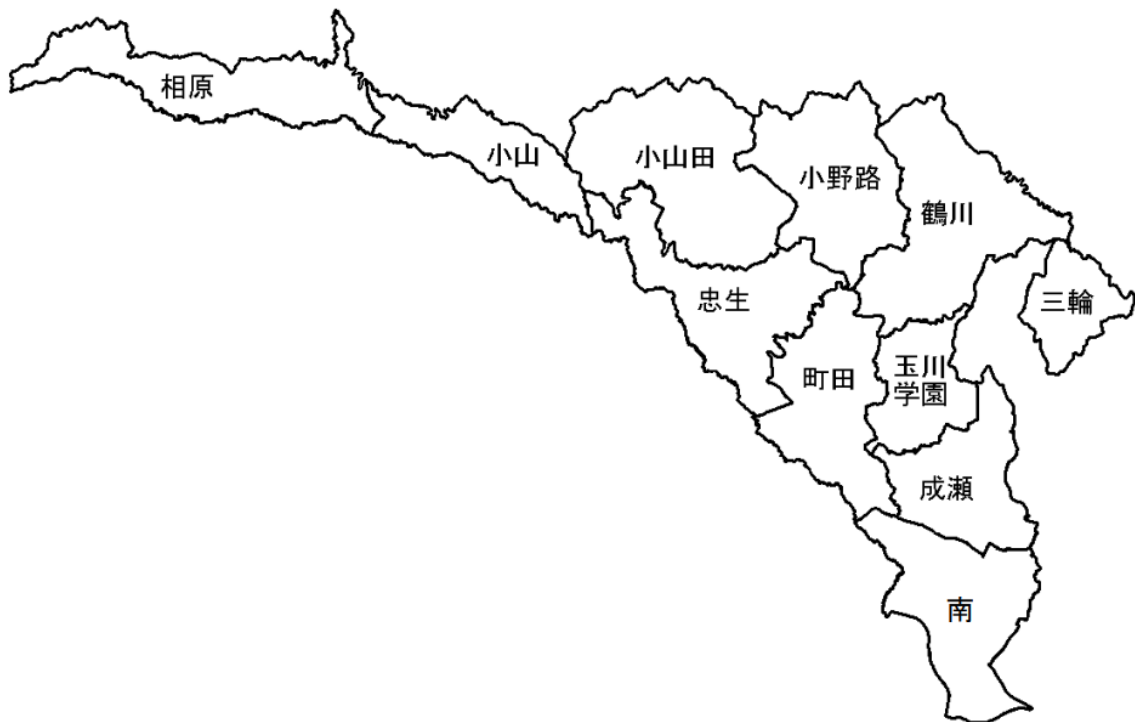


図 2-1-2 回答者の居住地区

【地域区分】



地 区	町 名
相 原	相原町
小 野 路	野津田町、小野路町
小 山	小山町、小山ヶ丘
小 山 田	上小山田町、下小山田町、函師町
忠 生	木曽町、根岸町、根岸、忠生、木曽東、木曽西、小山田桜台、常盤町、矢部町、山崎町、山崎
玉 川 学 園	南大谷、玉川学園、東玉川学園
鶴 川	真光寺町、真光寺、広袴町、広袴、能ヶ谷、鶴川、大蔵町、金井町、金井、薬師台、金井ヶ丘、藤の台3丁目
成 瀬	成瀬が丘、高ヶ坂、成瀬台、成瀬、南成瀬、西成瀬
町 田	原町田、中町、森野、旭町、本町田、藤の台1・2丁目
南	つくし野、南つくし野、小川、鶴間、南町田、金森、金森東
三 輪	三輪町、三輪緑山

出典：町田市「2020年度町田市市民意識調査報告書」

2-2. 生活の変化について

(1) 日常の移動で主に利用する交通手段（問1）

■新型コロナウイルス感染症拡大前

○交通手段別の利用割合をみると、徒歩が82.9%と最も高く、電車、自家用車、バスが続く。
○自転車は22.1%、電動アシスト付き自転車は14.6%、バイクは6.2%と他の交通手段と比べて低い状況となっている。

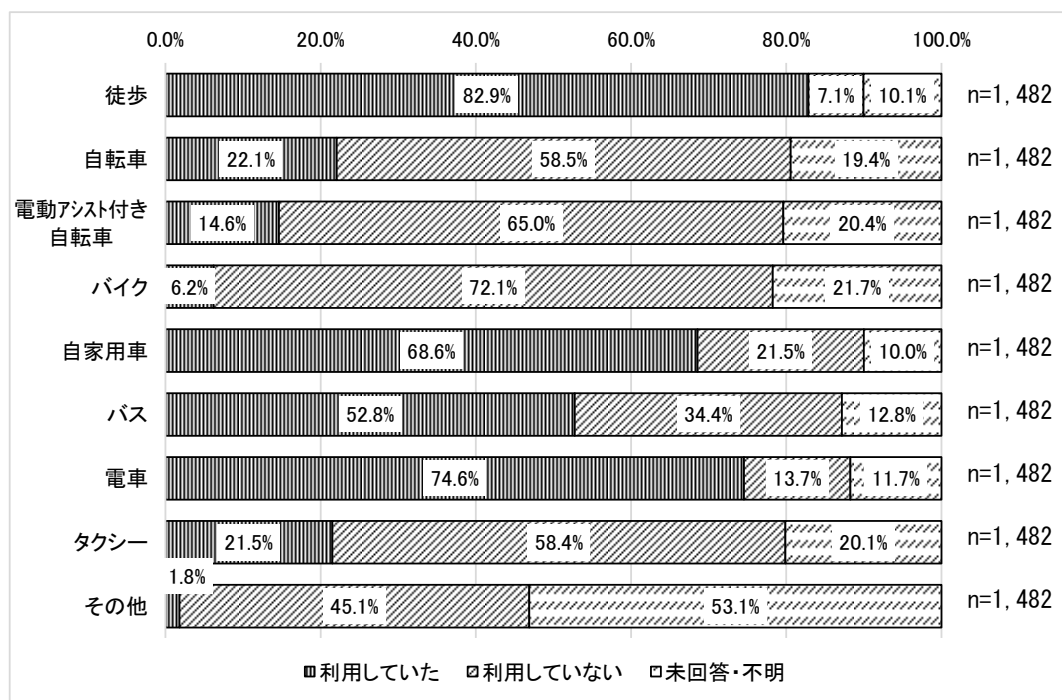
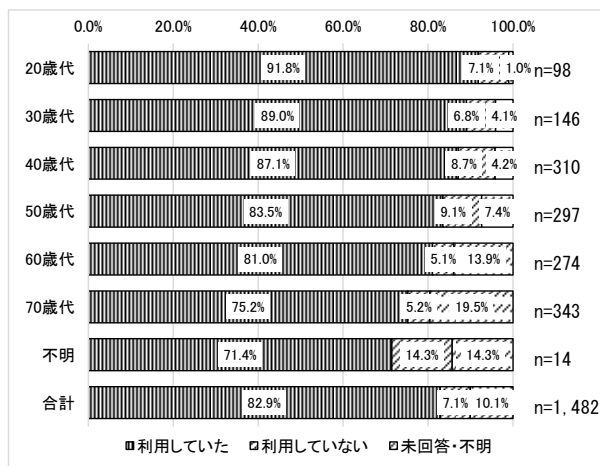


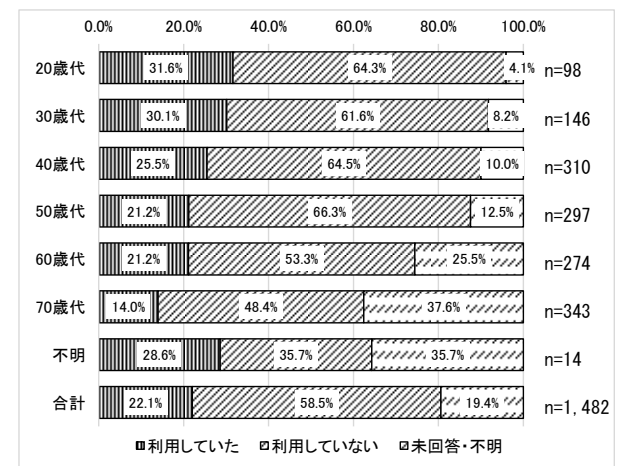
図 2-2-1 日常の移動で主に利用する交通手段（新型コロナウイルス感染症拡大前）

- 徒歩は各年代で利用割合が大きい
- 自転車は 20 歳代の利用割合が最も多く、加齢とともに低下している。
- 電動アシスト付き自転車は 30 歳代、40 歳代での利用が多い。
- バイクは 20 歳代の利用割合が最も大きく、次いで 50 歳代、40 歳代の利用割合が大きい。
- 自家用車はいずれの年齢階層でも利用割合は大きく、特に 40 歳代での利用割合が大きい。
- バスはいずれの年齢階層での利用割合が大きい、70 歳代での利用割合が特に大きい。
- 電車はいずれの年齢階層での利用割合が大きい、20 歳代の利用割合が最も高く、加齢とともに低下している。
- タクシーは 60 歳代・70 歳代の利用割合が大きい傾向がみられる。

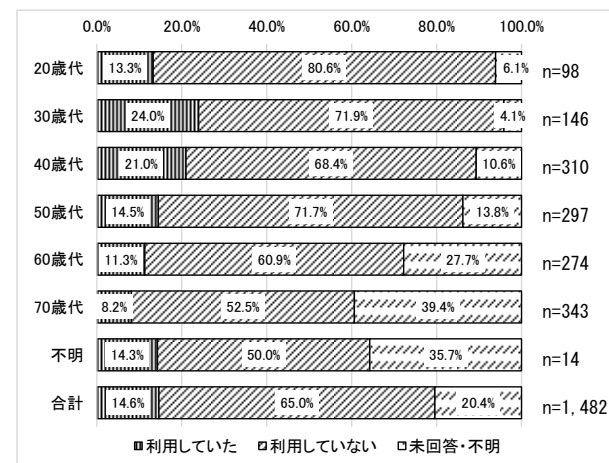
徒歩



自転車



電動アシスト付き自転車



バイク

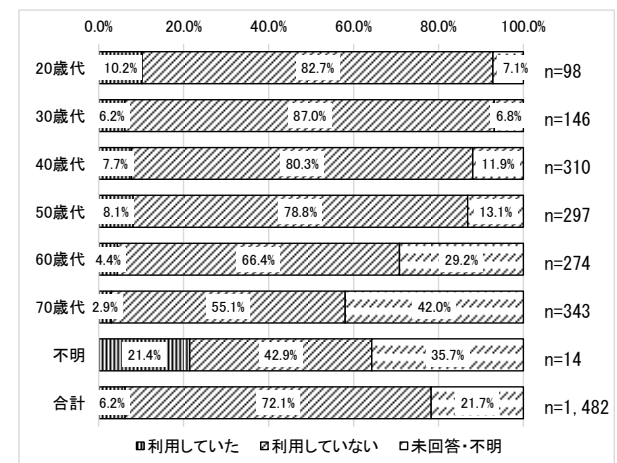
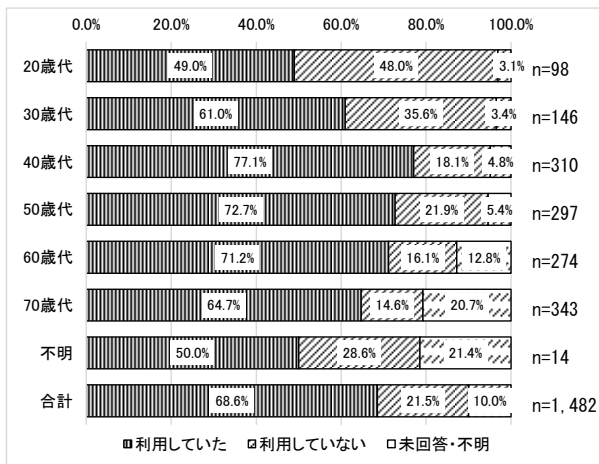
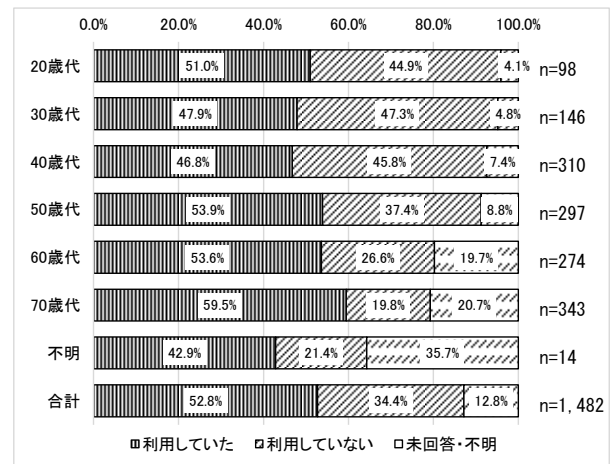


図 2-2-2 新型コロナウイルス感染症拡大前の日常の移動で主に利用する交通手段（年齢階層別）

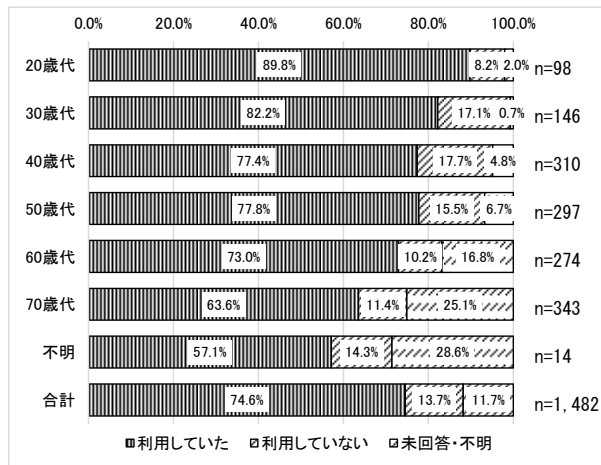
自家用車



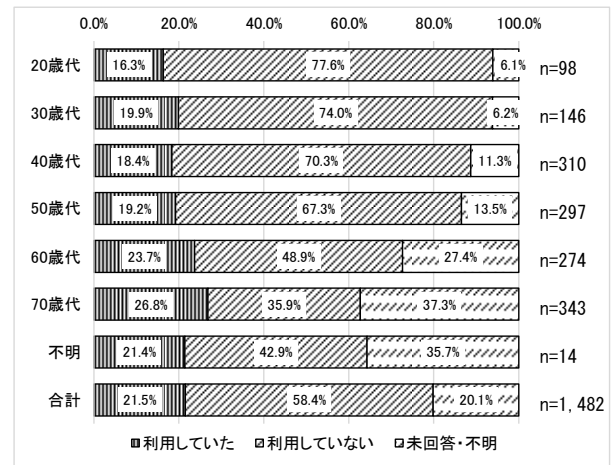
バス



電車



タクシー



その他

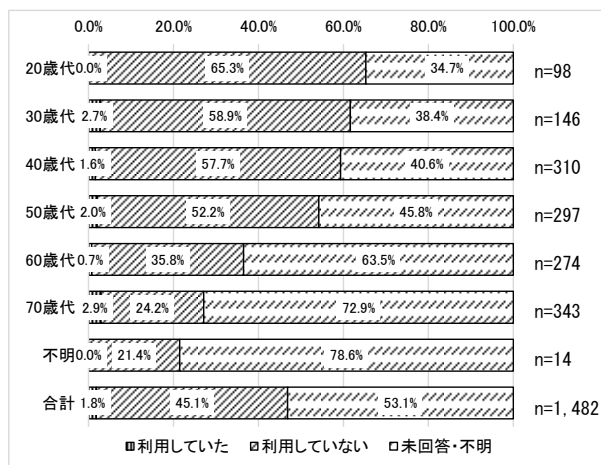


図 2-2-2 新型コロナウイルス感染症拡大前の日常の移動で主に利用する交通手段（年齢階層別）

■現在（2021 年 6 月 1 日時点）

- 現在の交通手段別の利用割合をみると、徒歩が 82.9%と最も高く、自家用車、電車、バスが続く。
- 新型コロナウイルス感染症拡大前と比較し、電車、バスといった公共交通の利用割合が低下している。

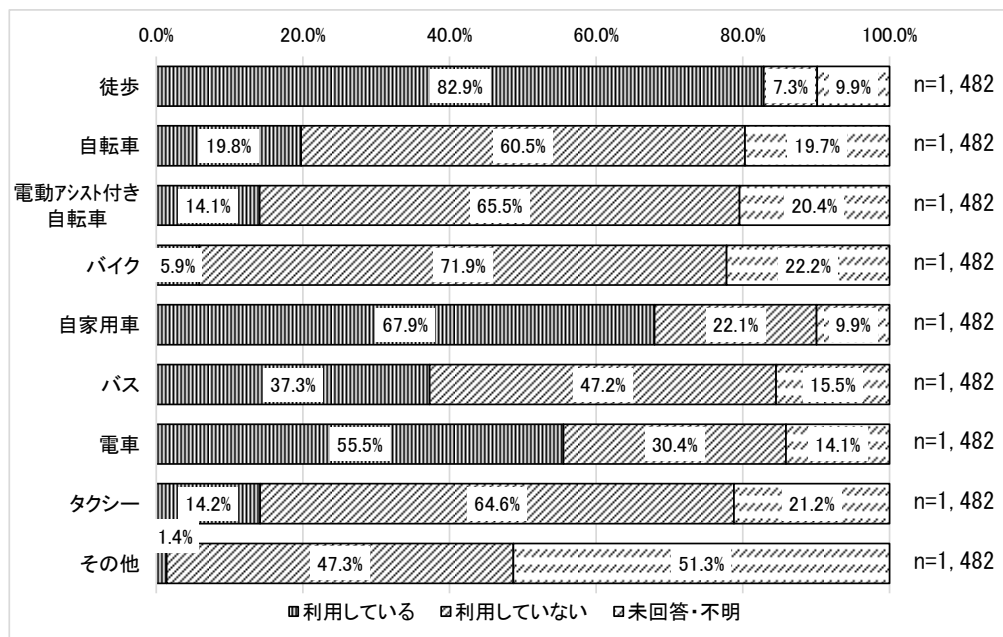


図 2-2-3 日常の移動で主に利用する交通手段（現在）

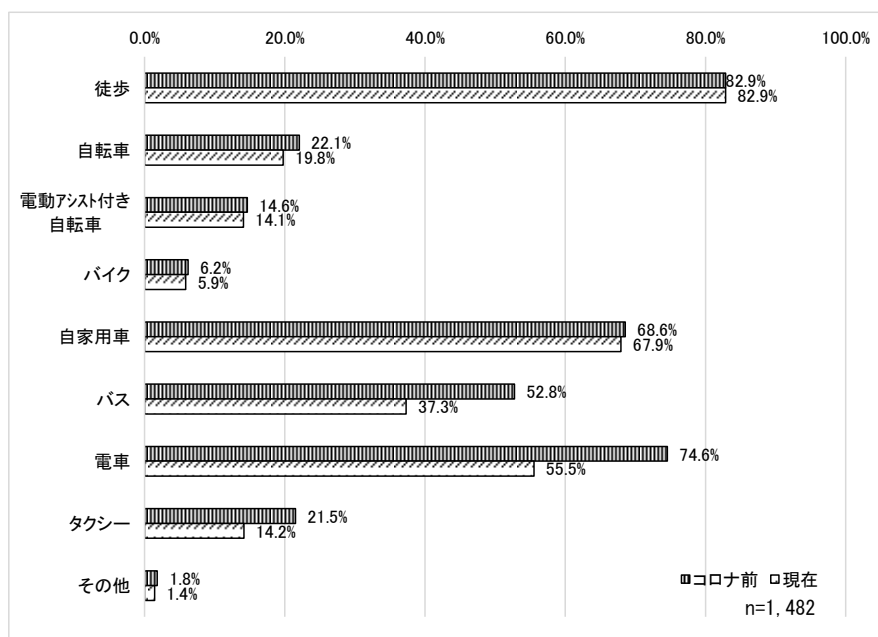
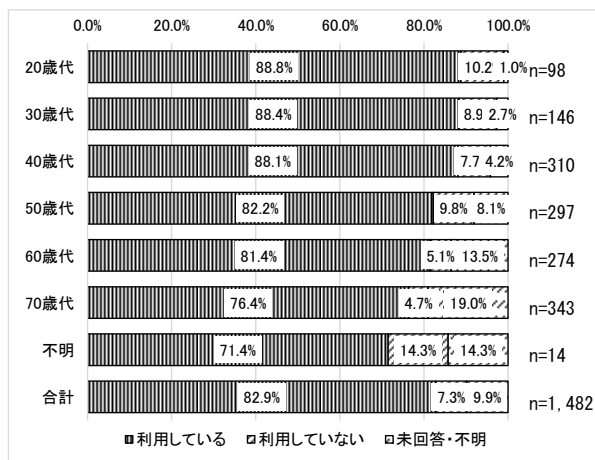


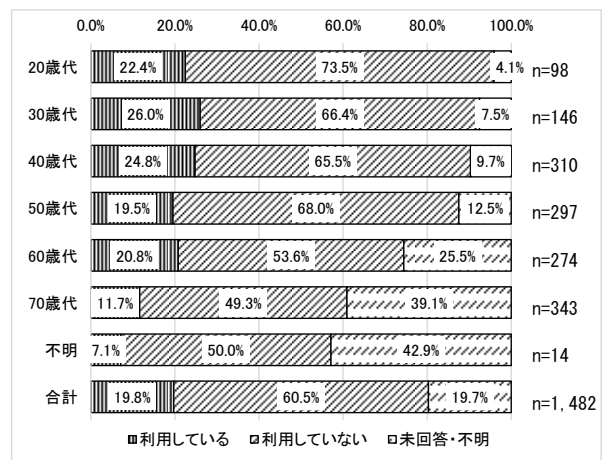
図 2-2-4 日常の移動で主に利用する交通手段（新型コロナウイルス感染症拡大前と現在の比較）

- 徒歩は各年代で利用割合が大きい。
- 自転車は 30 歳代の利用割合が最も多く、加齢とともに低下している。
- 電動アシスト付き自転車は 30 歳代、40 歳代での利用が多い。
- バイクは 40 歳代の利用割合が最も大きい。
- 自家用車はいずれの年齢階層でも利用割合は大きく、特に 40 歳代での利用割合が大きい。
- バスはいずれの年齢階層での利用割合が大きい、70 歳代での利用割合が特に大きい。
- 電車はいずれの年齢階層での利用割合が大きい、20 歳代の利用割合が最も高く、加齢とともに低下している。
- タクシーは 70 歳代での利用割合が大きい傾向がみられる。

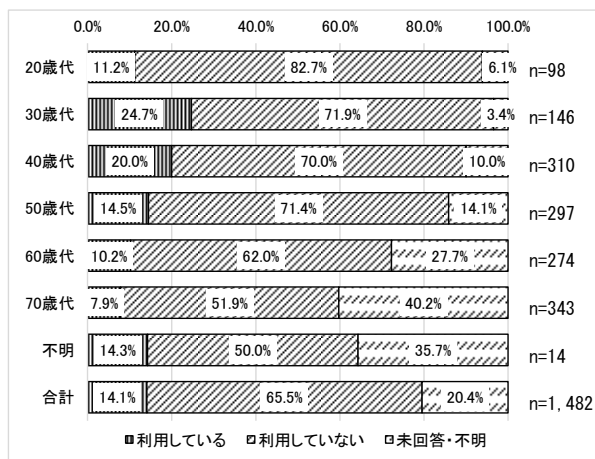
徒歩



自転車



電動アシスト付き自転車



バイク

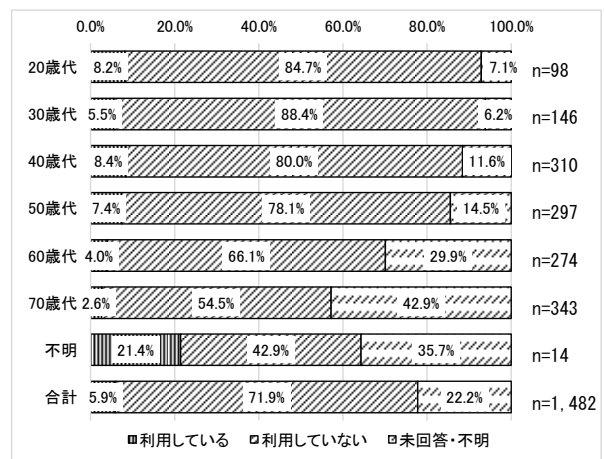
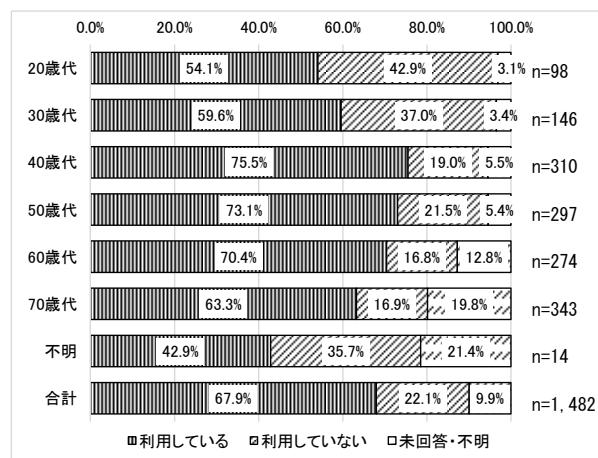
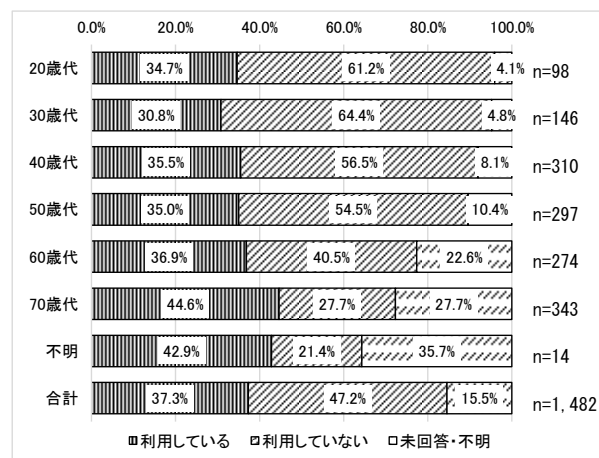


図 2-2-5 現在の日常の移動で主に利用する交通手段（年齢階層別）

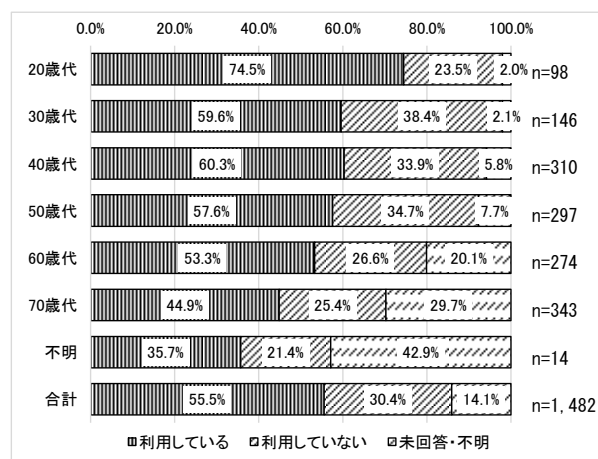
自家用車



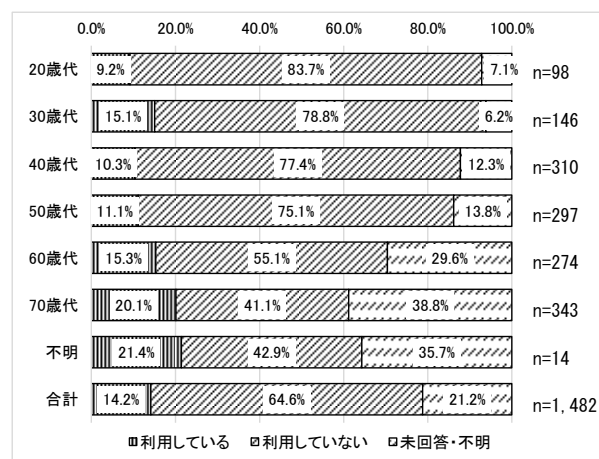
バス



電車



タクシー



その他

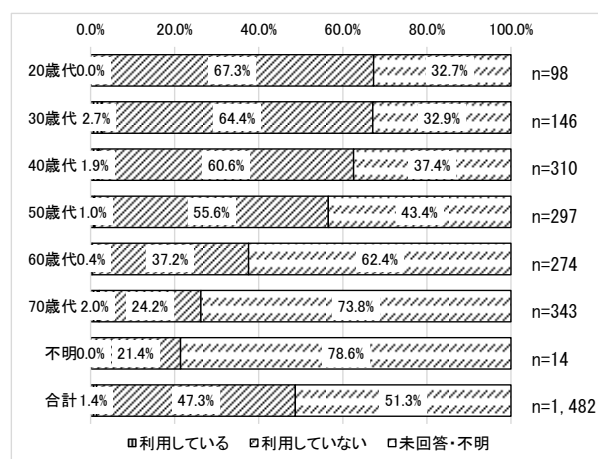
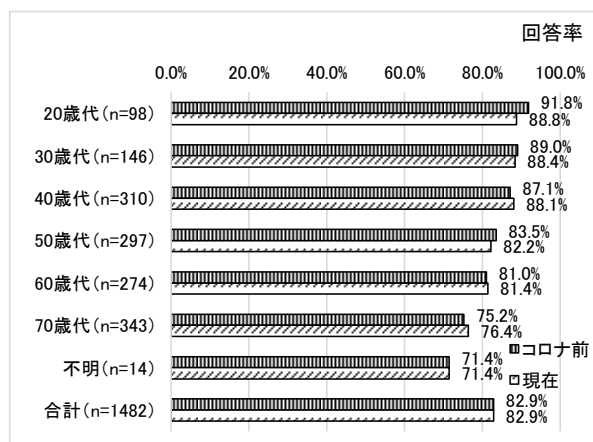


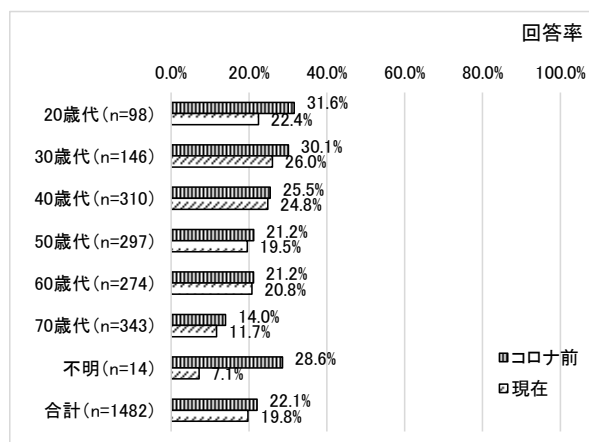
図 2-2-5 現在の日常の移動で主に利用する交通手段（年齢階層別）

- 徒歩はコロナ前と現在で回答率（利用率）に大きな違いはみられない。
- 自転車は全ての年齢階層で回答率（利用率）が低下している。
- 電動アシスト付き自転車はコロナ前と現在で回答率（利用率）に大きな違いはみられない。
- バイクはコロナ前と現在で回答率（利用率）に大きな違いはみられない。
- 自家用車は20歳代でやや回答率（利用率）が向上している。
- バスは全ての年齢階層で回答率（利用率）が低下している。
- 電車は全ての年齢階層で回答率（利用率）が低下している。
- タクシーは全ての年齢階層で回答率（利用率）が低下している。

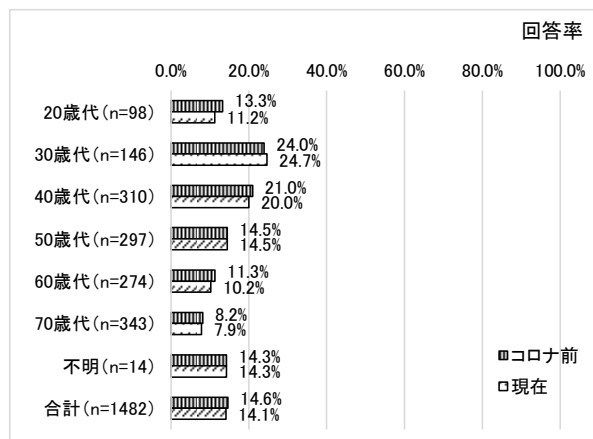
徒歩



自転車



電動アシスト付き自転車



バイク

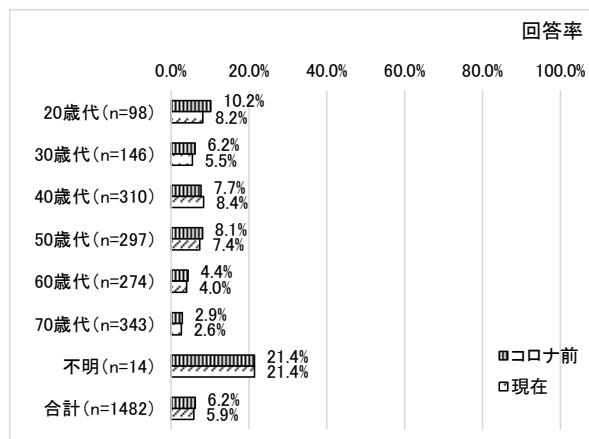
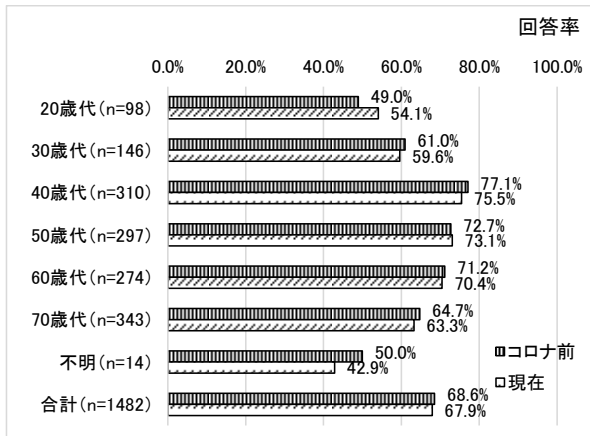
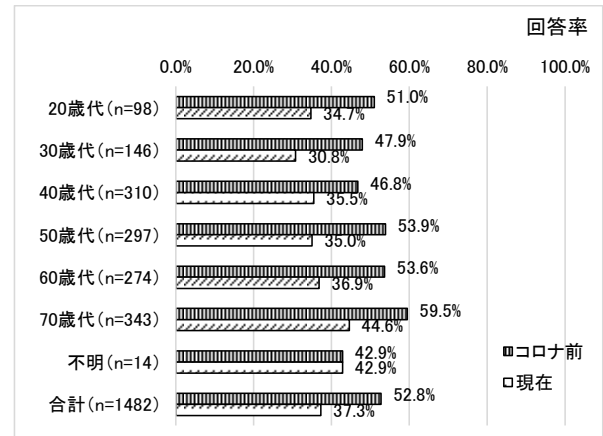


図 2-2-6 年齢階層別の日常の移動で主に利用する交通手段（新型コロナウイルス感染症拡大前と現在の比較）

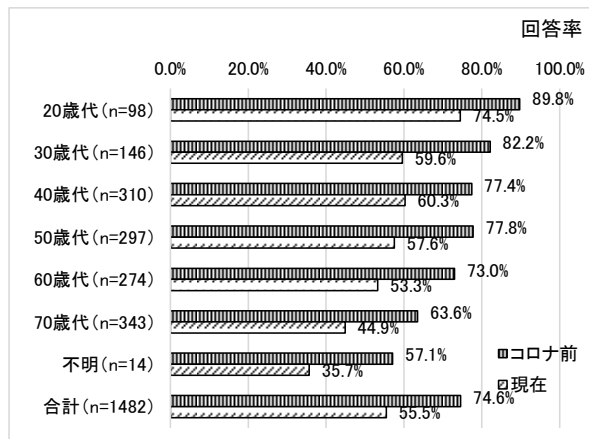
自家用車



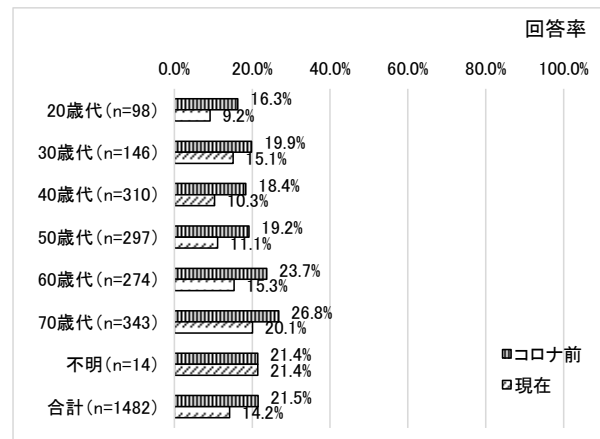
バス



電車



タクシー



その他

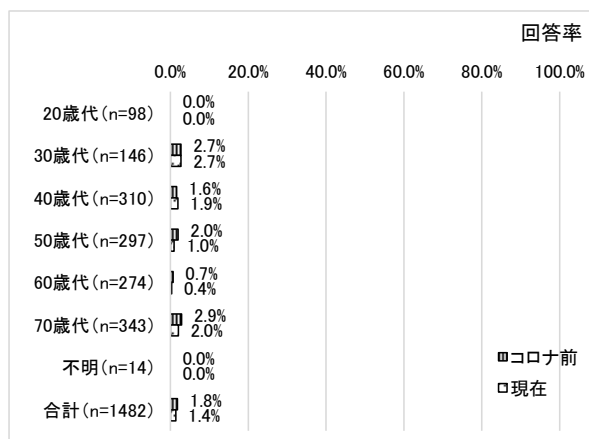


図 2-2-6 年齢階層別の日常の移動で主に利用する交通手段（新型コロナウイルス感染症拡大前と現在の比較）

- 「交通安全に対する意識」は、利用する交通手段で大きな変化はみられない。
- 「交通安全に対する意識」の違いによる利用している交通手段に大きな変化はみられない。

表 2-2-1 新型コロナウイルス感染症拡大前の日常の移動で主に利用する交通手段
(利用していた割合) (交通安全に対する意識別)

	徒歩	自転車	電動アシスト付き 自転車	バイク	自家用車	バス	電車	タクシー	その他
とても意識する(n=716)	79.5%	19.1%	14.5%	5.9%	73.7%	52.5%	71.9%	24.2%	1.1%
意識することがある (n=514)	86.4%	24.3%	14.8%	7.2%	67.3%	53.5%	78.4%	19.5%	2.3%
時々意識することがある (n=189)	86.2%	25.9%	15.9%	4.2%	57.1%	54.0%	75.7%	16.9%	3.2%
どちらでもない(n=17)	88.2%	35.3%	17.6%	5.9%	70.6%	41.2%	76.5%	29.4%	0.0%
あまり意識することはない (n=34)	91.2%	23.5%	5.9%	5.9%	52.9%	55.9%	76.5%	23.5%	0.0%
意識することはない(n=3)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%
まったく意識しない(n=4)	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	25.0%	75.0%	25.0%	25.0%
未回答・不明(n=5)	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計(n=1482)	82.9%	22.1%	14.6%	6.2%	68.6%	52.8%	74.6%	21.5%	1.8%

表 2-2-2 現在の日常の移動で主に利用する交通手段 (利用している割合)
(交通安全に対する意識別)

	徒歩	自転車	電動アシスト付き 自転車	バイク	自家用車	バス	電車	タクシー	その他
とても意識する(n=716)	79.2%	18.0%	14.7%	5.9%	73.6%	35.1%	50.6%	15.4%	0.6%
意識することがある (n=514)	86.8%	22.8%	13.8%	6.6%	66.5%	38.9%	59.9%	13.4%	2.1%
時々意識することがある (n=189)	87.3%	19.6%	14.8%	4.2%	56.1%	40.2%	60.3%	11.1%	2.6%
どちらでもない(n=17)	82.4%	17.6%	5.9%	0.0%	64.7%	35.3%	64.7%	17.6%	0.0%
あまり意識することはない (n=34)	88.2%	17.6%	5.9%	5.9%	52.9%	50.0%	73.5%	17.6%	0.0%
意識することはない(n=3)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%
まったく意識しない(n=4)	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%
未回答・不明(n=5)	20.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計(n=1482)	82.9%	19.8%	14.1%	5.9%	67.9%	37.3%	55.5%	14.2%	1.4%

■コロナ終息後の予測

○コロナ終息後の交通手段をみると、電車、バスは増加すると回答した割合は、電車は31%、バスは20%みられる（コロナによる利用の減少が、コロナ終息後、回復に向かうと考えられる）。
○徒歩、自家用車は利用が増加すると回答した割合は、徒歩は13%、自家用車は11%みられる。

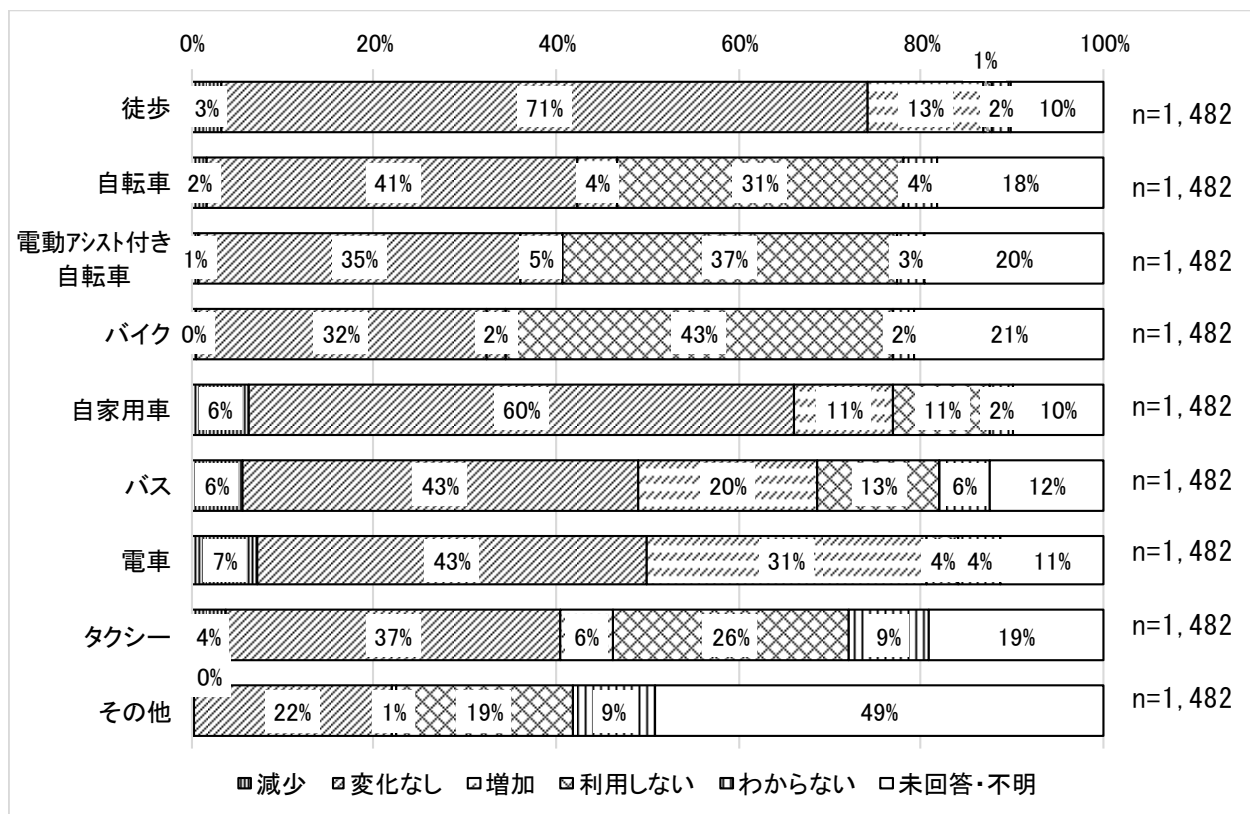
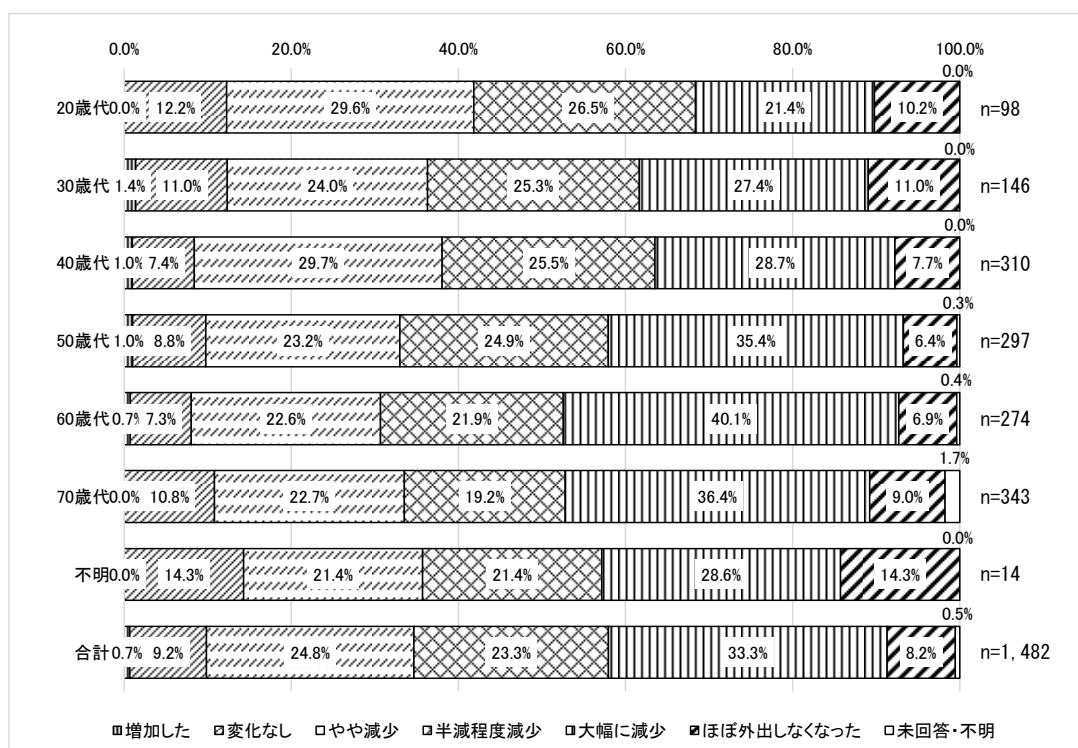
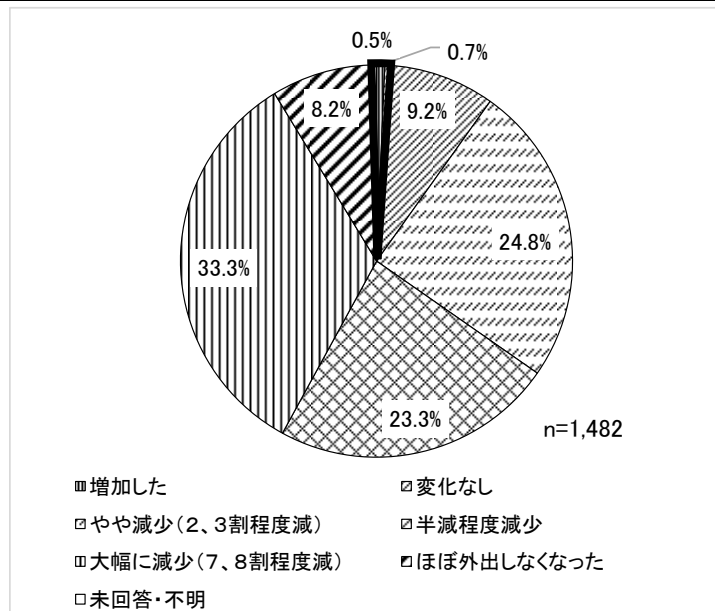


図 2-2-7 日常の移動で主に利用する交通手段（コロナ終息後の予測）

(2) 外出頻度の変化（問2）

○外出頻度の変化をみると、増加したと回答した回答者は1%（0.7%）にも満たず、81.4%の回答者が減少したと回答した。

○また、ほぼ外出しなくなったと回答した回答者も8.2%みられた。



2-3. 交通安全の意識や行動について

(1) 日常生活のなかで、交通安全についての意識（問3）

○「とても意識する」と回答した回答者は約半数の48.3%を占める、また、「意識することがある」「時々意識することがある」をあわせると95.7%の回答者が意識すると回答している。

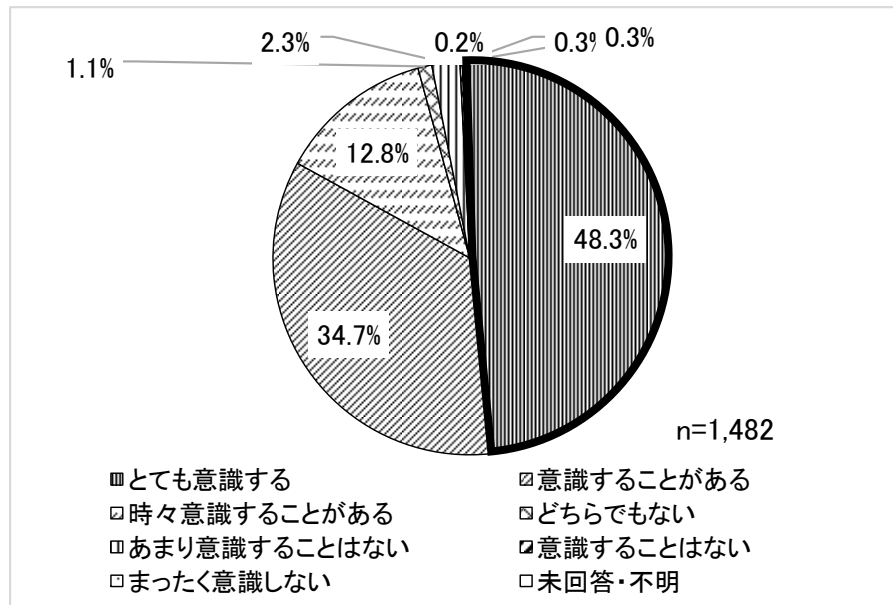


図 2-3-1 日常生活のなかで、交通安全についての意識

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にはならない

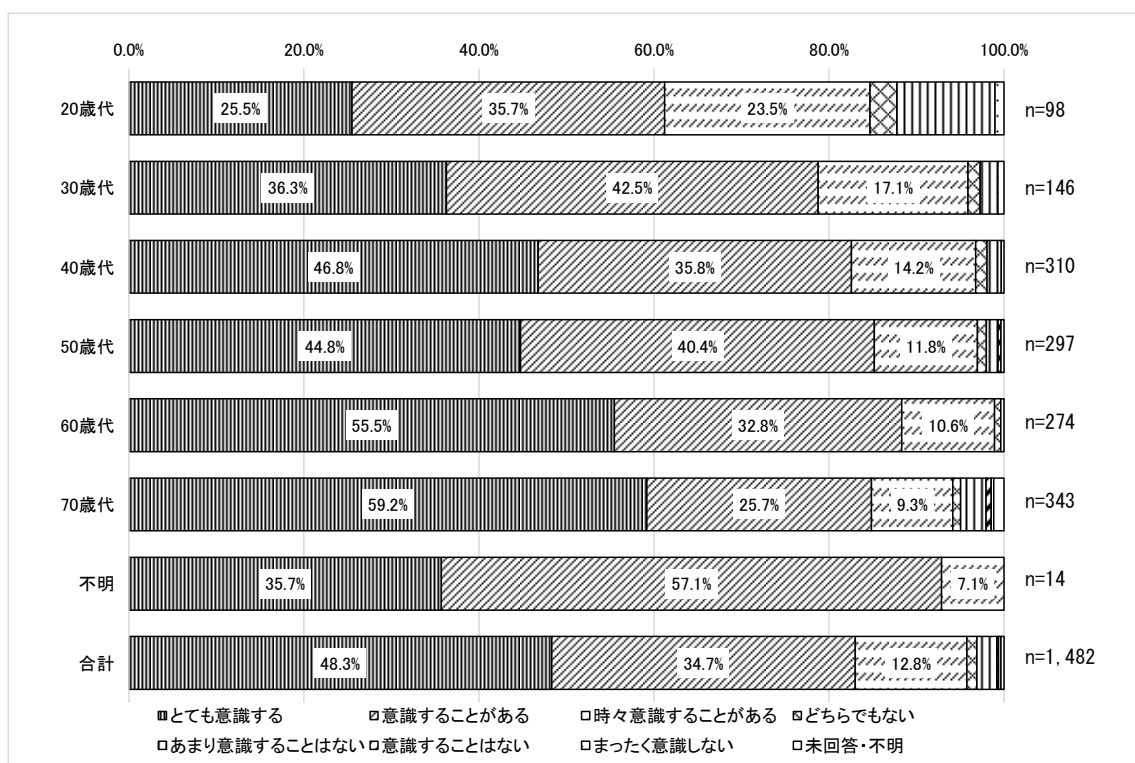


図 2-3-2 日常生活のなかで、交通安全についての意識（年齢階層別）

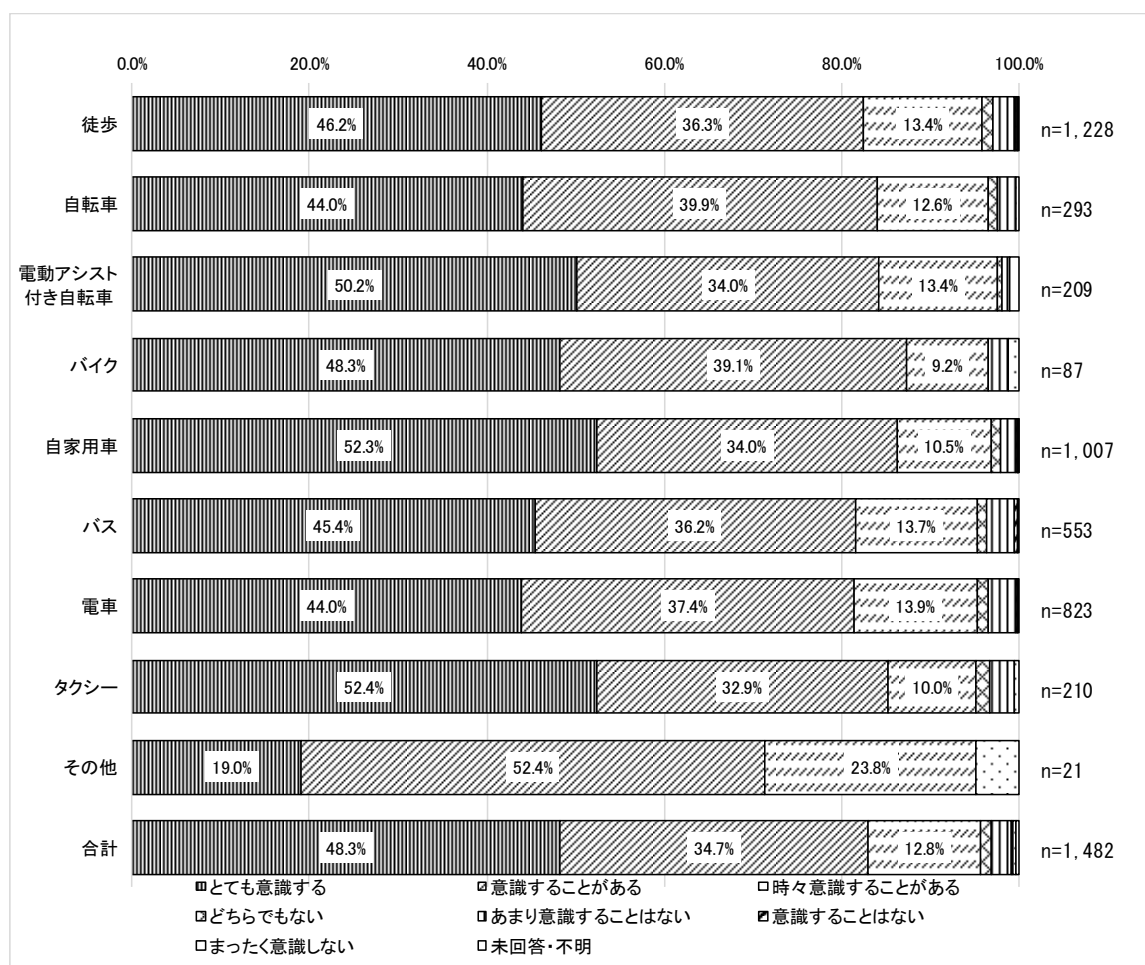


図 2-3-3 日常生活のなかで、交通安全についての意識（交通手段別）

(2) 日常的に通る町田市内の道路について、安全に通行できていると感じているか（問 4）

○「とても安全に通行できる」と回答した回答者は 1.8%にとどまるものの、また、「とても安全に通行できる」「安全に通行できる」「やや安全に通行できる」をあわせると 58.6%の回答者が安全に通行できると回答している。

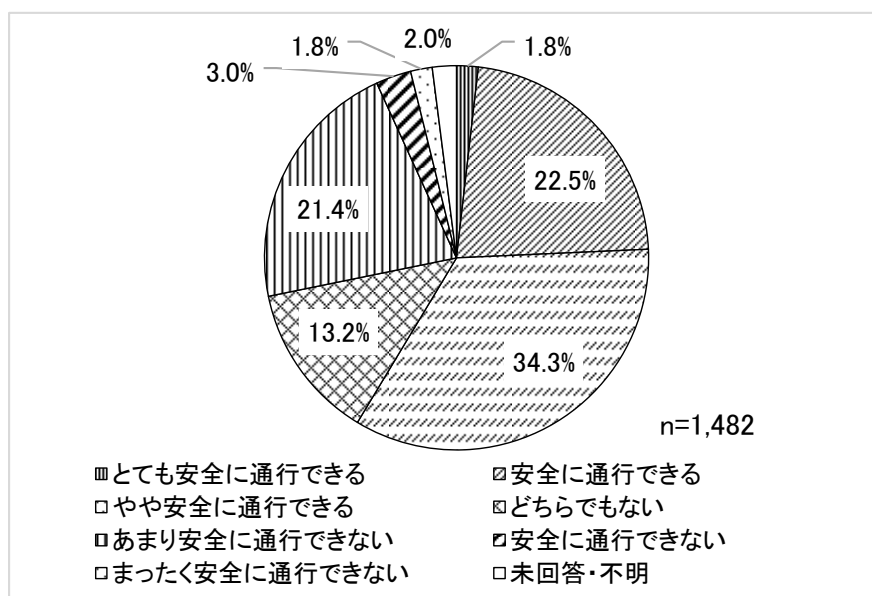


図 2-3-4 安全に通行できていると感じているか

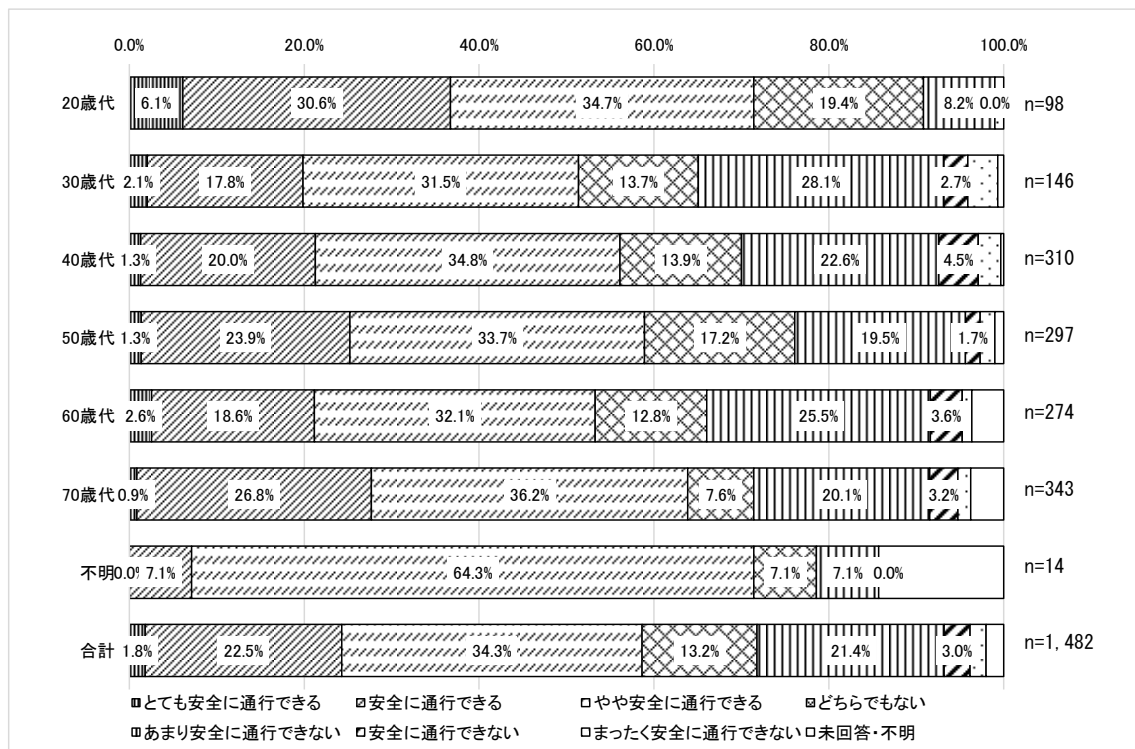


図 2-3-5 安全に通行できると感じているか（年齢階層別）

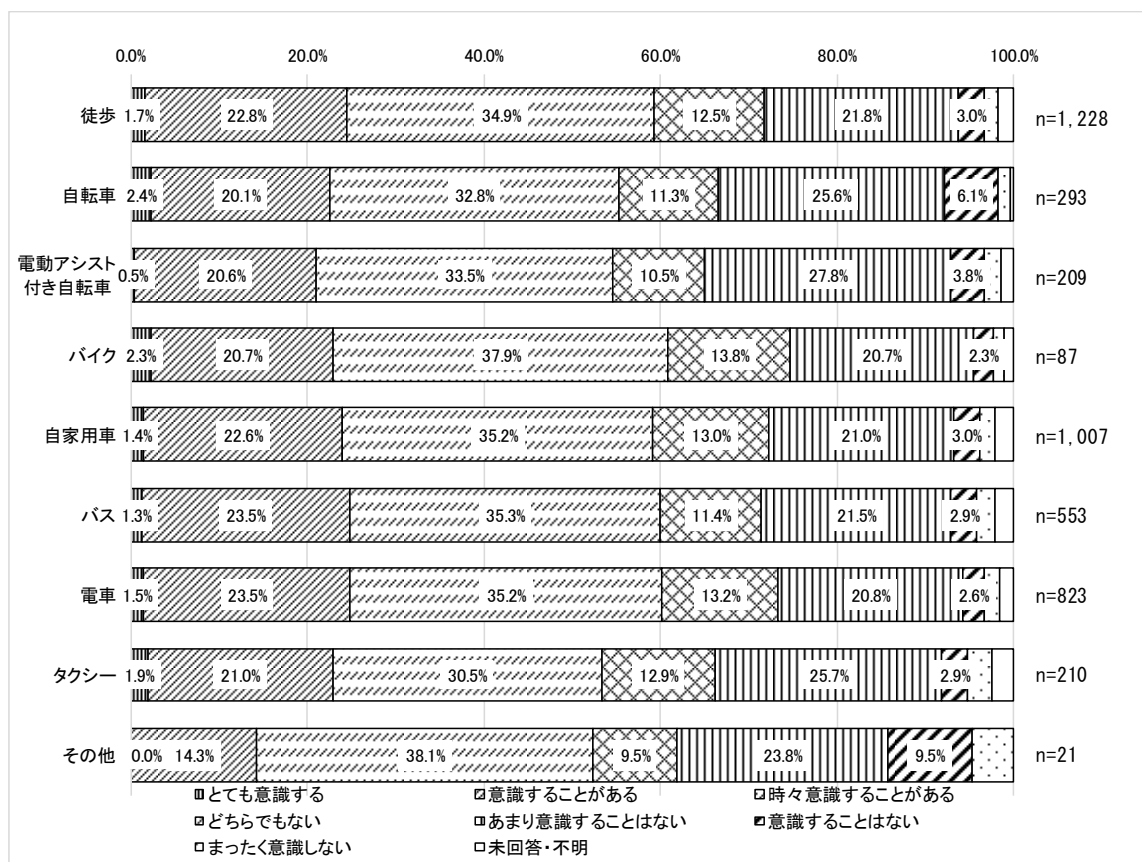


図 2-3-6 安全に通行できると感じているか（交通手段別）

(3) 道路を歩くときに、交通安全について気をつけていること（問 5）

○道路を歩くとき交通安全について気をつけていることとしては、「道路を渡るときは、車が止まったのを確認してから渡る」と回答した割合が 80.8%と最も多く、「道路を横断中も、右と左をよく見て、車が来ていないかを確かめる」「携帯電話やスマートフォンを見ながら歩かない」「車の往来がないときでも、信号を必ず守る」が続く。

○一方、「夜に歩くときは、目立つように明るい服や反射材を付ける」は気をつけていると回答した割合が著しく低いものとなっている。

○また、「道路を横断するときは、運転手に目で合図してから渡る」については、気をつけていると回答した割合は 35.6%にとどまっている。

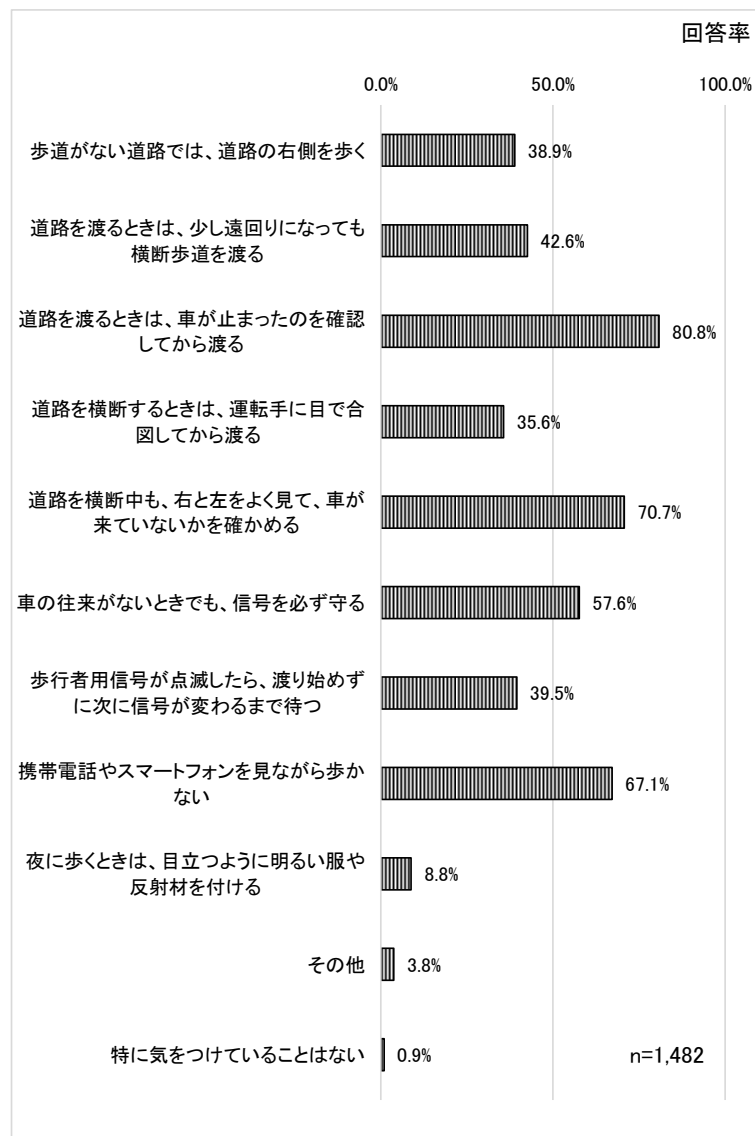


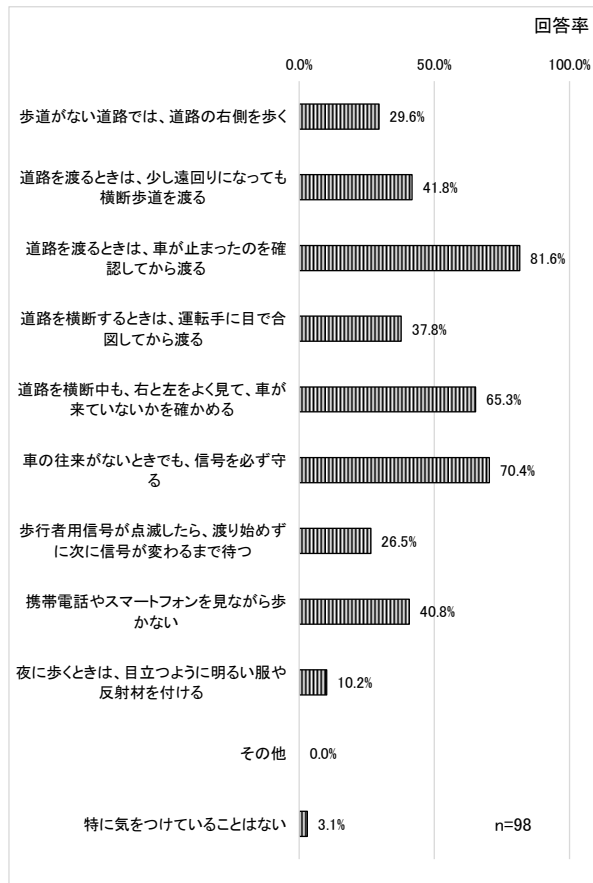
図 2-3-7 道路を歩くときに、交通安全について気をつけていること

※問 1 の設問で「徒歩」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

○20 歳代は「道路を渡るときは、車が止まったのを確認してから渡る」が最も多く、8 割以上の回答者が回答した。また、「車の往来がないときでも、信号を必ず守る」「道路を横断中も、右と左をよく見て、車が来ていないかを確認する」が続く。

○30 歳代は「道路を渡るときは、車が止まったのを確認してから渡る」が最も多く、8 割以上の回答者が回答した。また、「道路を横断中も、右と左をよく見て、車が来ていないかを確認する」「車の往来がないときでも、信号を必ず守る」が続く。

【20 歳代】



【30 歳代】

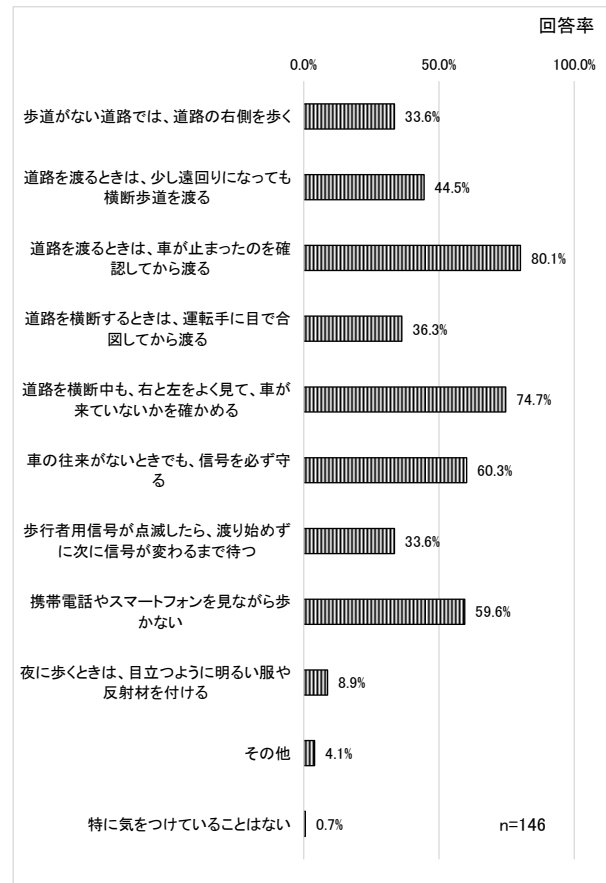


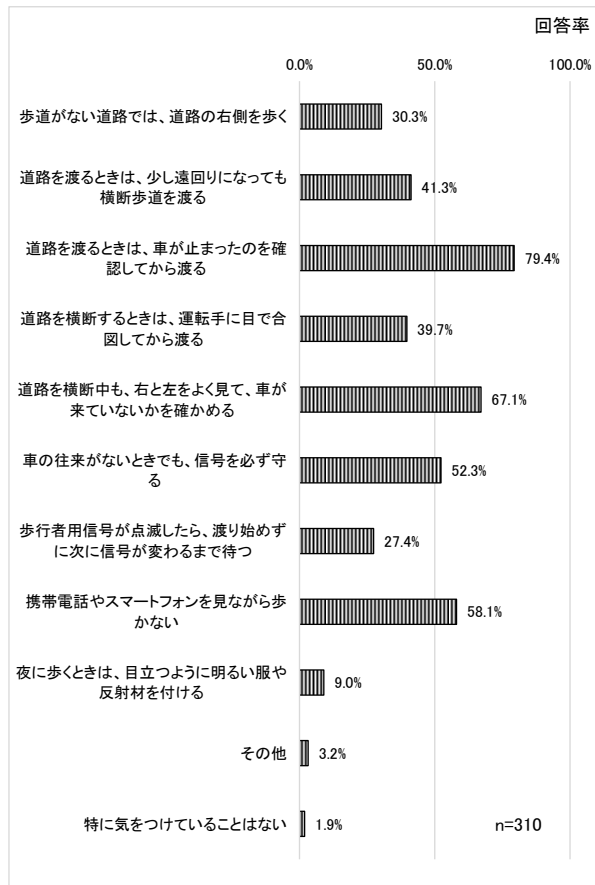
図 2-3-8 道路を歩くときに、交通安全について気をつけていること（年齢階層別）

※問 1 の設問で「徒歩」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

○40 歳代は「道路を渡るときは、車が止まったのを確認してから渡る」が最も多く、約 8 割の回答者が回答した。また、「道路を横断中も、右と左をよく見て、車が来ていないかを確認める」「携帯電話やスマートフォンを見ながら歩かない」が続く。

○50 歳代は「道路を渡るときは、車が止まったのを確認してから渡る」が最も多く、約 8 割の回答者が回答した。また、「携帯電話やスマートフォンを見ながら歩かない」「道路を横断中も、右と左をよく見て、車が来ていないかを確認める」が続く。

【40 歳代】



【50 歳代】

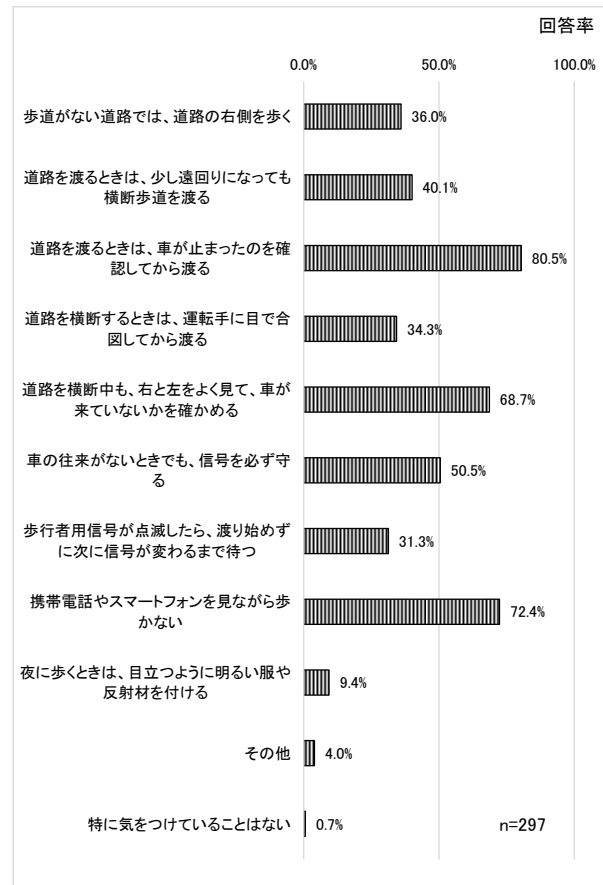


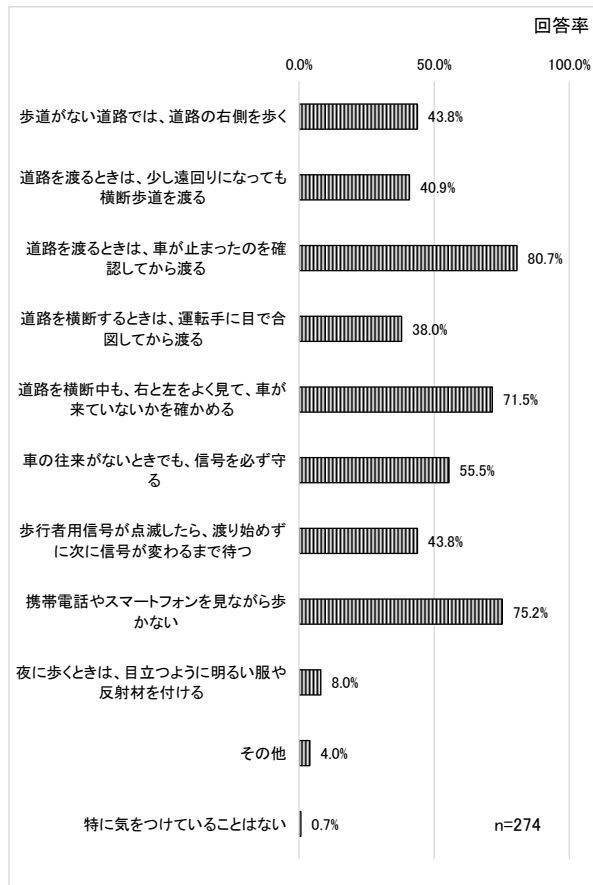
図 2-3-8 道路を歩くときに、交通安全について気をつけていること（年齢階層別）

※問 1 の設問で「徒歩」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

○60 歳代は「道路を渡るときは、車が止まったのを確認してから渡る」が最も多く、8 割以上の回答者が回答した。また、「携帯電話やスマートフォンを見ながら歩かない」「道路を横断中も、右と左をよく見て、車が来ていないかを確認する」が続く。

○70 歳代は「道路を渡るときは、車が止まったのを確認してから渡る」が最も多く、8 割以上の回答者が回答した。また、「道路を横断中も、右と左をよく見て、車が来ていないかを確認する」「携帯電話やスマートフォンを見ながら歩かない」が続く。

【60 歳代】



【70 歳代】

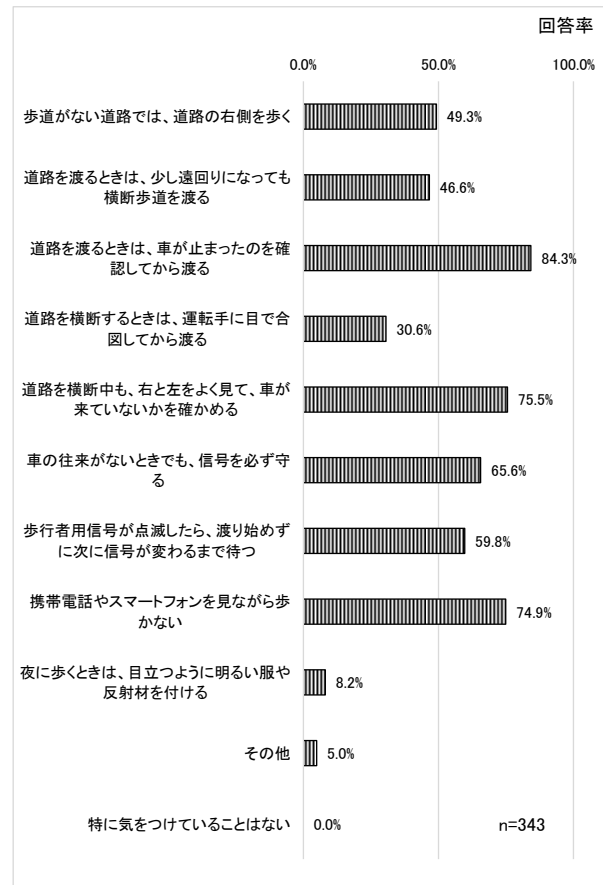


図 2-3-8 道路を歩くときに、交通安全について気をつけていること（年齢階層別）

※問 1 の設問で「徒歩」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

(4) 歩行者として利用するとき交通安全上不安に思っていること（問 6）

○歩行者として利用するとき不安に思っていることとしては、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く、「道路が狭い」「歩道が歩きにくい」が続く。

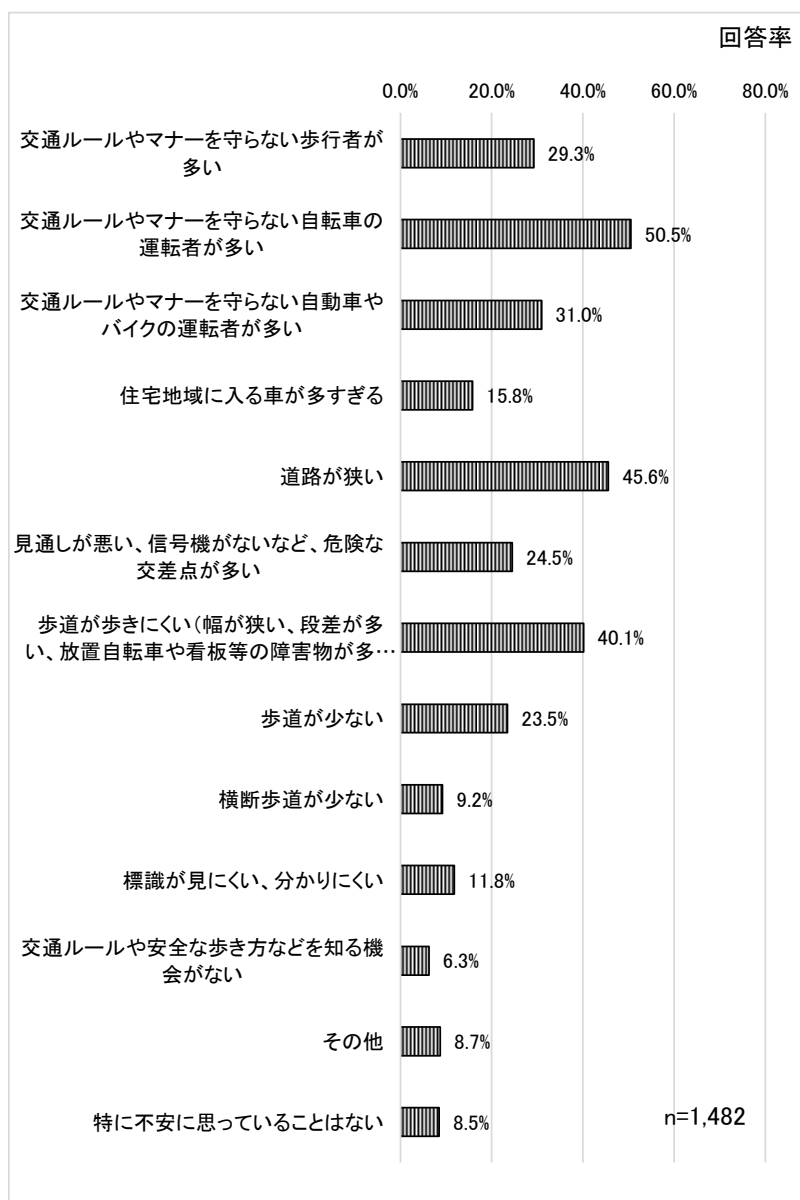


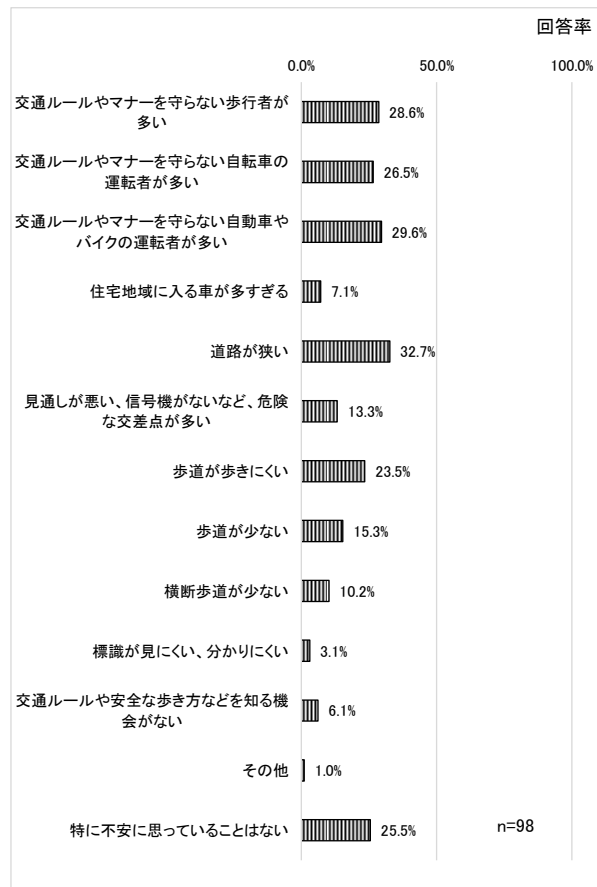
図 2-3-9 歩行者として利用するとき交通安全上不安に思っていること

※問 1 の設問で「徒歩」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

○20 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い」「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」が続く。また「特に不安に思っていることはない」の回答率も高い。

○30 歳代は「道路が狭い」が最も多く、半数以上の回答者が回答した。また、「歩道が歩きにくい」「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が続く。

【20 歳代】



【30 歳代】

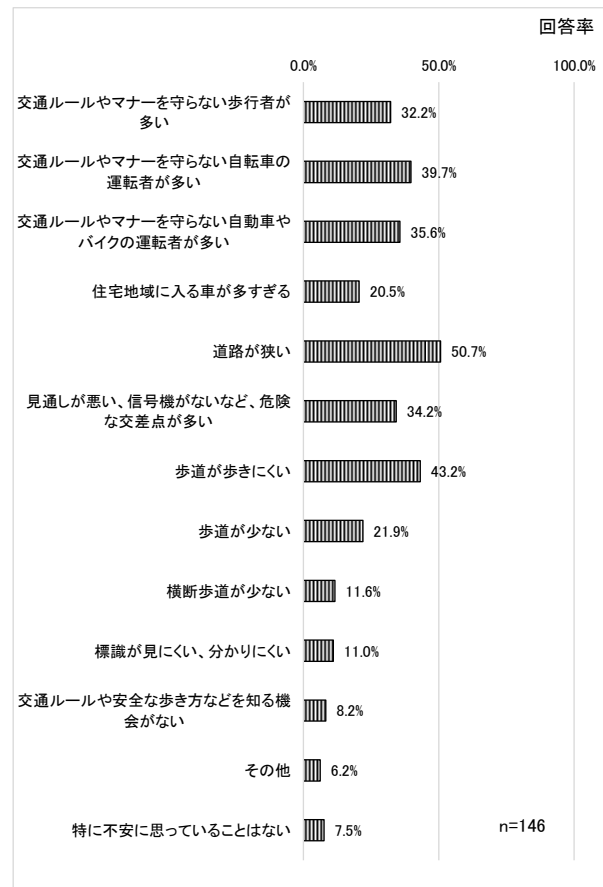
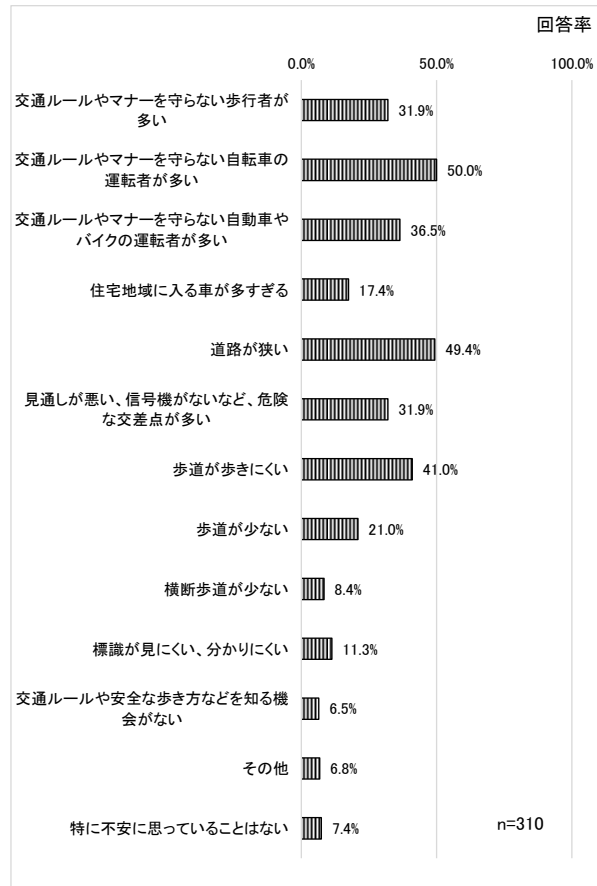


図 2-3-10 歩行者として利用するとき交通安全上不安に思っていること（年齢階層別）

※問 1 の設問で「徒歩」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

○40 歳代、50 歳代は「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く半数以上の回答者が回答した。また、「道路が狭い」「歩道が歩きにくい」が続く。

【40 歳代】



【50 歳代】

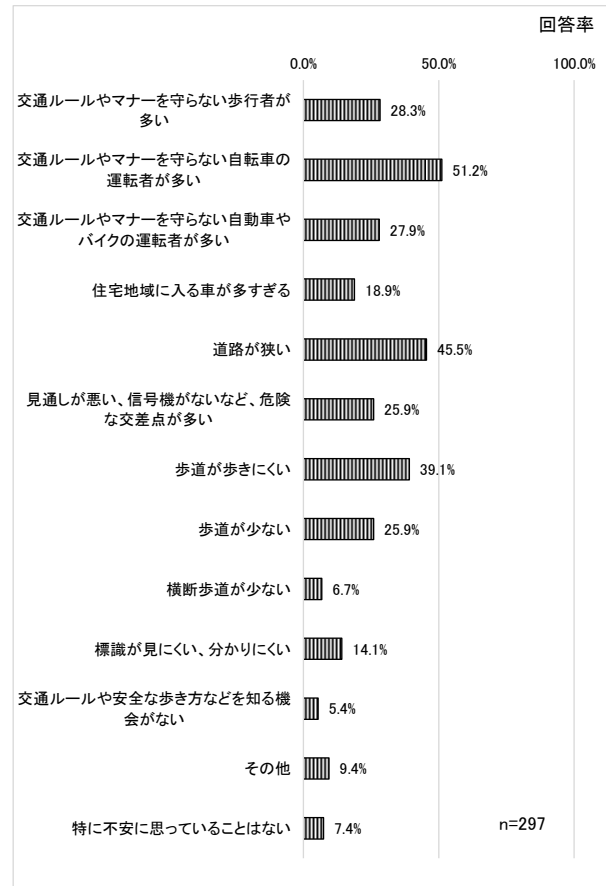
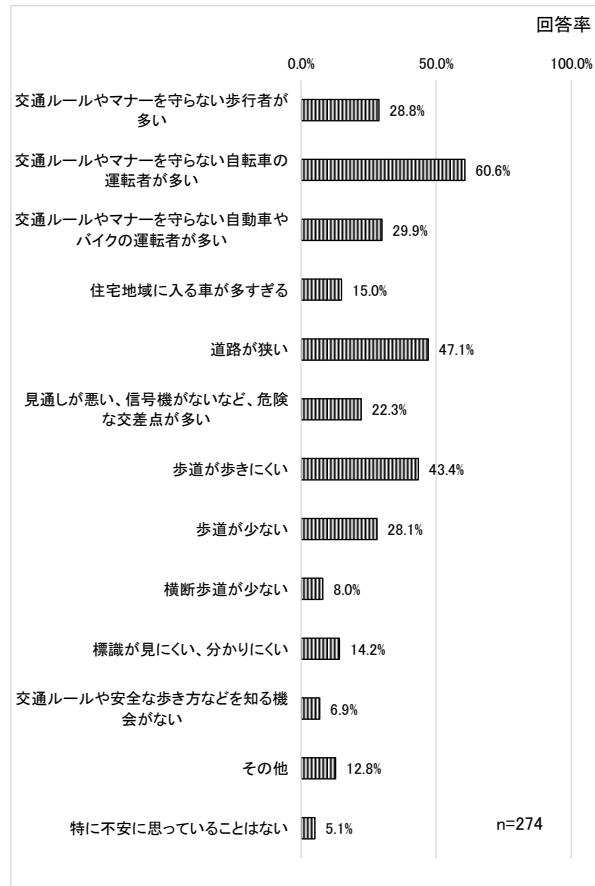


図 2-3-10 歩行者として利用するとき交通安全上不安に思っていること（年齢階層別）

※問 1 の設問で「徒歩」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

○60 歳代、70 歳代は「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く半数以上の回答者が回答した。また、「道路が狭い」「歩道が歩きにくい」が続く。

【60 歳代】



【70 歳代】

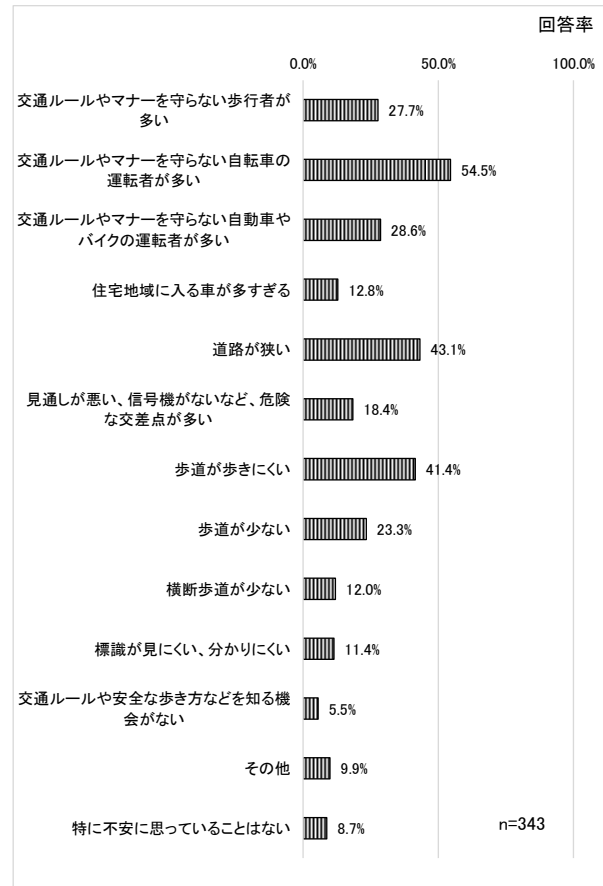


図 2-3-10 歩行者として利用するとき交通安全上不安に思っていること（年齢階層別）

※問 1 の設問で「徒歩」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

○「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」「交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い」「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」など、「交通安全に対する意識」が高い市民ほど、道路を歩くときに不安に思っていると回答する割合が大きい傾向がみられる。

表 2-3-1 歩行者として利用するとき交通安全上不安に思っていること
(交通安全に対する意識別)

	とても意識する (n=716)	意識することがある (n=514)	時々意識することがある (n=189)	どちらでもない (n=17)	あまり意識することはない (n=34)	意識することはない (n=3)	まったく意識しない (n=4)	未回答・不明 (n=5)	合計 (n=1482)
交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い	34.1%	28.2%	19.6%	23.5%	5.9%	0.0%	25.0%	20.0%	29.3%
交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い	60.2%	47.3%	32.3%	29.4%	17.6%	0.0%	25.0%	40.0%	50.5%
交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い	36.3%	30.5%	16.9%	23.5%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	31.0%
住宅地域に入る車が多すぎる	16.5%	16.3%	14.3%	11.8%	2.9%	0.0%	25.0%	20.0%	15.8%
道路が狭い	47.6%	44.4%	42.9%	58.8%	32.4%	33.3%	50.0%	40.0%	45.6%
見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い	26.7%	26.3%	17.5%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	24.5%
歩道が歩きにくい(幅が狭い、段差が多い、放置自転車や看板等の障害物が多い等)	43.4%	40.7%	32.3%	23.5%	20.6%	0.0%	25.0%	40.0%	40.1%
歩道が少ない	23.7%	25.9%	18.5%	17.6%	17.6%	0.0%	0.0%	20.0%	23.5%
横断歩道が少ない	10.9%	9.5%	3.2%	0.0%	8.8%	0.0%	0.0%	20.0%	9.2%
標識が見にくい、分かりにくい	14.5%	11.1%	5.8%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	20.0%	11.8%
交通ルールや安全な歩き方などを知る機会がない	6.3%	7.0%	5.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%
その他	9.9%	8.4%	7.4%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	8.7%
特に不安に思っていることはない	5.6%	8.6%	12.7%	29.4%	29.4%	66.7%	25.0%	0.0%	8.5%

※問1の設問で「徒歩」を利用手段と回答した回答者に限定していない(全回答者の回答)

(5) 自転車を運転等するときに、交通安全について気をつけていること（問7-1）

○現在自転車を利用している回答者の回答をみると、「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」と回答した割合が最も多く、「まわりが暗くなったら、ライトをつける」「傘を差しながら運転しない」「信号を必ず守る」が続く。

○一方、「自転車が走ってもよい歩道以外は車道を走る」「定期的に自転車を点検・整備する」は気をつけていると回答した自転車利用者の割合は低いものとなっている。

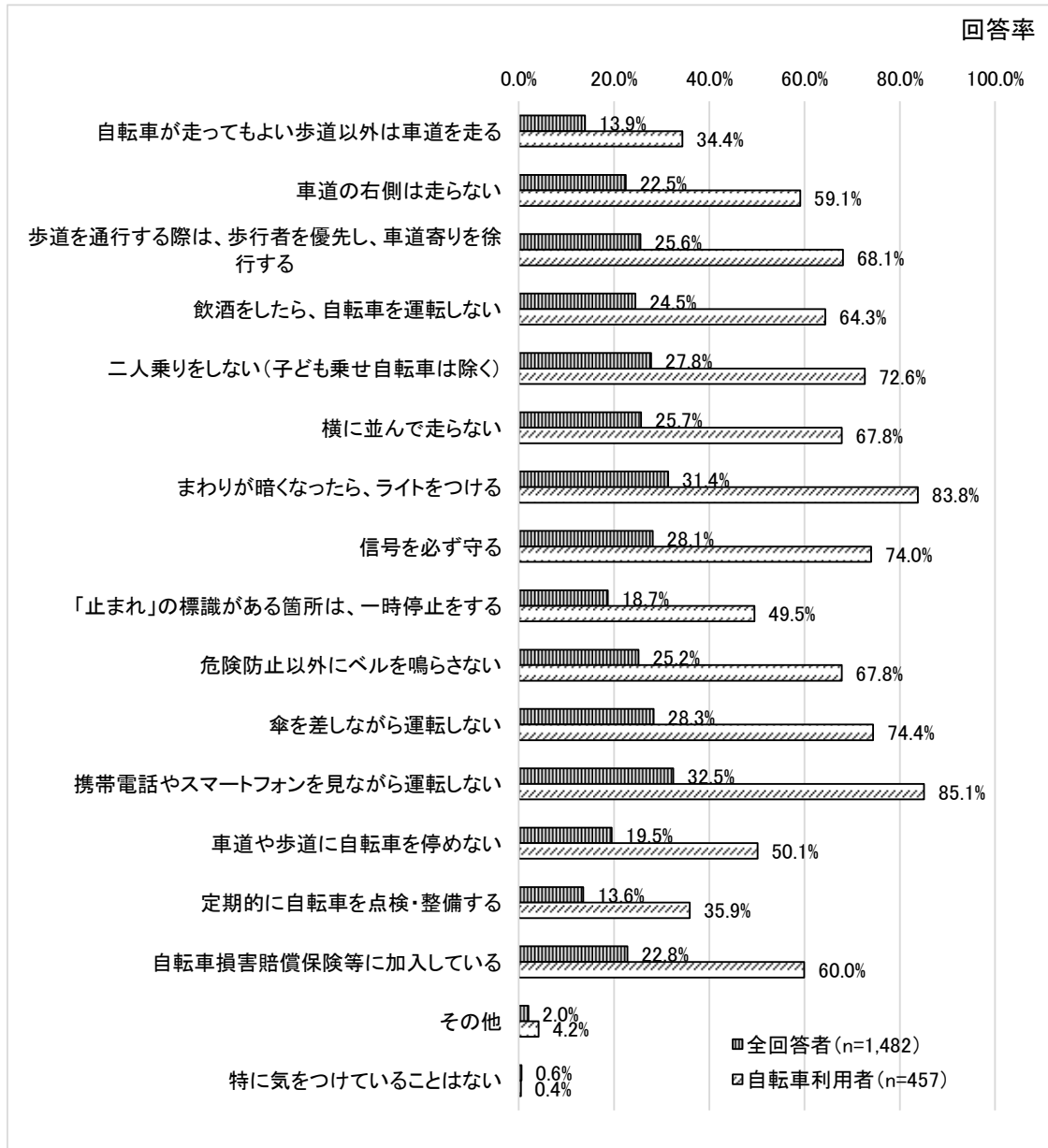


図 2-3-11 自転車を運転等するときに、交通安全について気をつけていること

【自転車利用者に対する回答率】

○「とても意識する」「意識することがある」「時々意識することがある」と回答した自転車利用者の回答をみると、「二人乗りをしない（子ども乗せ自転車は除く）」「危険防止以外にベルを鳴らさない」「自転車損害賠償保険等に参加している」以外の項目は、「交通安全に対する意識」が高い自転車利用者ほど、自転車を運転等するときに交通安全に気をつけていると回答する割合が大きい傾向がみられる。

表 2-3-2 自転車を運転等するときに、交通安全について気をつけていること
(自転車利用者：交通安全に対する意識別)

	とても意識する (n=129)	意識することがある (n=117)	時々意識することがある (n=37)	どちらでもない (n=3)	あまり意識することはない (n=6)	意識することはない (n=0)	まったく意識しない (n=1)	未回答・不明 (n=0)	合計 (n=293)
自転車が走ってもよい歩道 以外は車道を走る	39.5%	36.8%	29.7%	66.7%	50.0%		100.0%		37.9%
車道の右側は走らない	69.8%	58.1%	45.9%	66.7%	16.7%		0.0%		60.8%
歩道を通行する際は、歩行者を優先し、車道寄りを徐行する	72.1%	66.7%	43.2%	66.7%	33.3%		100.0%		65.5%
飲酒をしたら、自転車を運転しない	70.5%	65.0%	32.4%	33.3%	16.7%		0.0%		61.8%
二人乗りをしない（子ども乗せ自転車は除く）	74.4%	75.2%	59.5%	66.7%	33.3%		100.0%		72.0%
横に並んで走らない	71.3%	68.4%	51.4%	33.3%	16.7%		100.0%		66.2%
まわりが暗くなったら、ライトをつける	86.8%	83.8%	81.1%	100.0%	66.7%		100.0%		84.6%
信号を必ず守る	77.5%	71.8%	54.1%	66.7%	16.7%		100.0%		71.0%
「止まれ」の標識がある箇所は、一時停止をする	53.5%	52.1%	21.6%	0.0%	0.0%		0.0%		47.1%
危険防止以外にベルを鳴らさない	69.0%	70.9%	56.8%	100.0%	16.7%		100.0%		67.6%
傘を差しながら運転しない	81.4%	72.6%	59.5%	66.7%	0.0%		0.0%		73.0%
携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない	90.7%	87.2%	75.7%	66.7%	33.3%		100.0%		86.0%
車道や歩道に自転車を停めない	58.9%	45.3%	40.5%	0.0%	0.0%		100.0%		49.5%
定期的に自転車を点検・整備する	38.8%	35.9%	29.7%	33.3%	0.0%		0.0%		35.5%
自転車損害賠償保険等に参加している	63.6%	54.7%	62.2%	33.3%	33.3%		100.0%		59.0%
その他	5.4%	3.4%	5.4%	0.0%	0.0%		0.0%		4.4%
特に気をつけていることはない	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%		0.0%		0.7%

※問 1 の設問で「自転車」を利用手段と回答した回答者の回答

【自転車利用者に対する回答率】

○サンプル数が一定以上ある「やや安全に通行できる」と「あまり安全に通行できない」の回答を比較すると、「危険防止以外にベルを鳴らさない」「止まれ」の標識がある箇所は、一時停止をする」などは「やや安全に通行できる」の方が、回答率が高い。

表 2-3-3 自転車を運転等するときに、交通安全について気をつけていること
(自転車利用者：安全に通行できていると感じている意識別)

	とても安全に 通行できる (n=7)	安全に 通行できる (n=59)	やや安全に 通行できる (n=96)	どちらでもない (n=33)	あまり安全に 通行できない (n=75)	安全に 通行できない (n=18)	まったく安全に 通行できない (n=4)	未回答・不明 (n=1)	合計 (n=293)
自転車が走ってもよい歩道 以外は車道を走る	71.4%	35.6%	35.4%	48.5%	37.3%	38.9%	0.0%	0.0%	37.9%
車道の右側は走らない	71.4%	67.8%	56.3%	51.5%	64.0%	72.2%	25.0%	0.0%	60.8%
歩道を通行する際は、歩行者を優先し、車道寄りを徐行する	57.1%	72.9%	63.5%	51.5%	69.3%	72.2%	50.0%	0.0%	65.5%
飲酒をしたら、自転車を運転しない	71.4%	62.7%	63.5%	48.5%	66.7%	61.1%	25.0%	0.0%	61.8%
二人乗りをしない(子ども 乗せ自転車は除く)	71.4%	69.5%	75.0%	66.7%	74.7%	72.2%	50.0%	0.0%	72.0%
横に並んで走らない	42.9%	66.1%	66.7%	63.6%	68.0%	83.3%	25.0%	0.0%	66.2%
まわりが暗くなったら、ライトをつける	71.4%	83.1%	87.5%	84.8%	84.0%	88.9%	75.0%	0.0%	84.6%
信号を必ず守る	71.4%	83.1%	65.6%	63.6%	68.0%	83.3%	100.0%	0.0%	71.0%
「止まれ」の標識がある箇所は、一時停止をする	57.1%	44.1%	53.1%	30.3%	45.3%	66.7%	25.0%	0.0%	47.1%
危険防止以外にベルを鳴らさない	42.9%	72.9%	71.9%	66.7%	61.3%	72.2%	50.0%	0.0%	67.6%
傘を差しながら運転しない	71.4%	69.5%	78.1%	54.5%	77.3%	77.8%	75.0%	0.0%	73.0%
携帯電話やスマートフォン を見ながら運転しない	71.4%	88.1%	87.5%	87.9%	82.7%	88.9%	100.0%	0.0%	86.0%
車道や歩道に自転車を停めない	42.9%	54.2%	47.9%	27.3%	50.7%	77.8%	75.0%	0.0%	49.5%
定期的に自転車を点検・整備する	42.9%	35.6%	33.3%	24.2%	37.3%	61.1%	25.0%	0.0%	35.5%
自転車損害賠償保険等に加入している	57.1%	55.9%	60.4%	54.5%	58.7%	72.2%	75.0%	0.0%	59.0%
その他	0.0%	5.1%	4.2%	3.0%	4.0%	11.1%	0.0%	0.0%	4.4%
特に気をつけていることはない	0.0%	0.0%	1.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%

※問1の設問で「自転車」を利用手段と回答した回答者の回答

(6) 町田市内の道路を自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること
(問 7-2)

○現在自転車を利用している回答者の回答をみると、「道路が狭い」が最も多く、「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が続く。

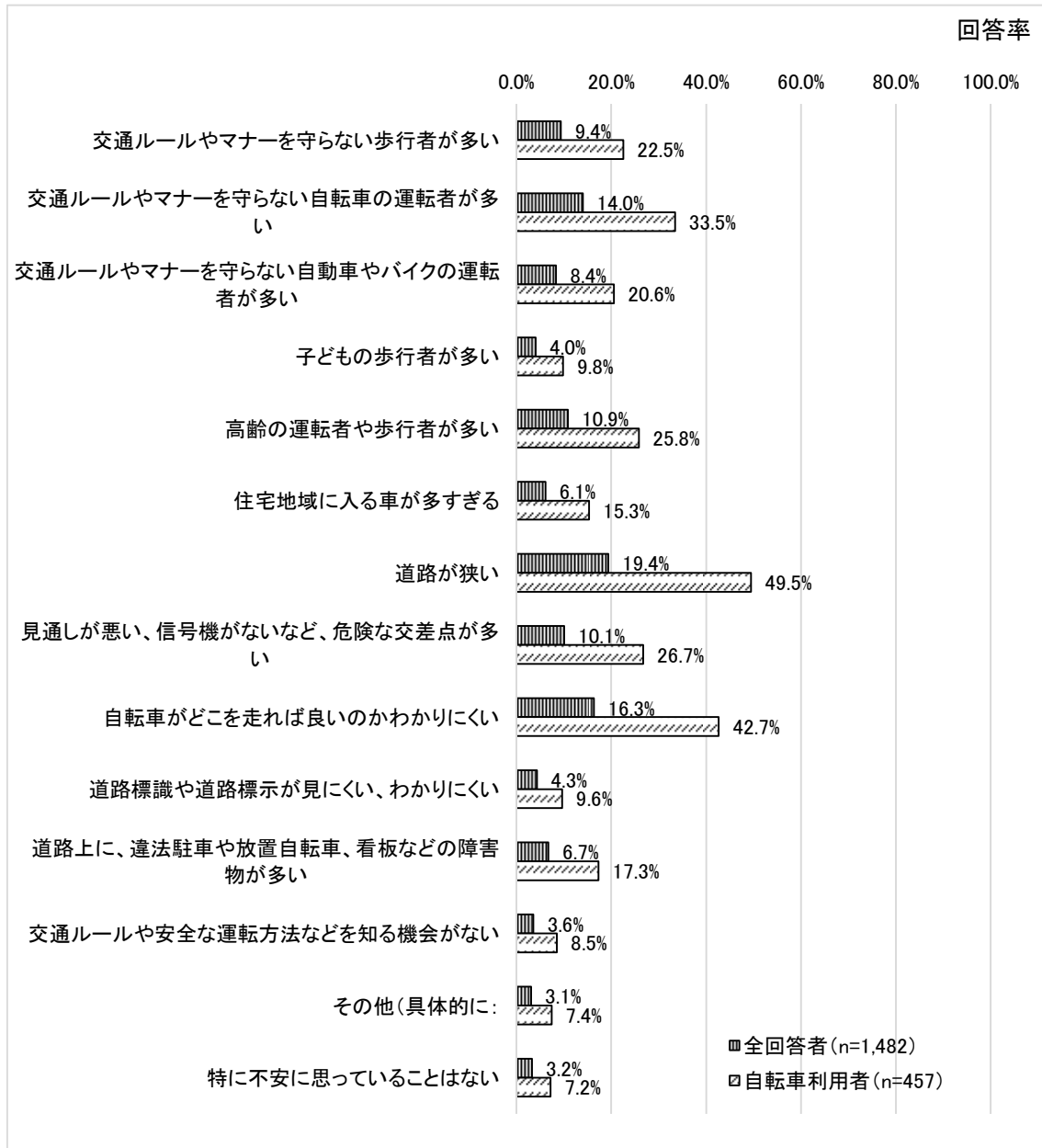


図 2-3-12 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること

【全回答者に対する回答率】

○20 歳代は「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」が最も多く、「高齢の運転者や歩行者が多い」「道路が狭い」が続く。また「特に不安に思っていることはない」の回答率も高い。
○30 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」「交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い」が続く。

【全回答者に対する回答率】

【20 歳代】



【30 歳代】

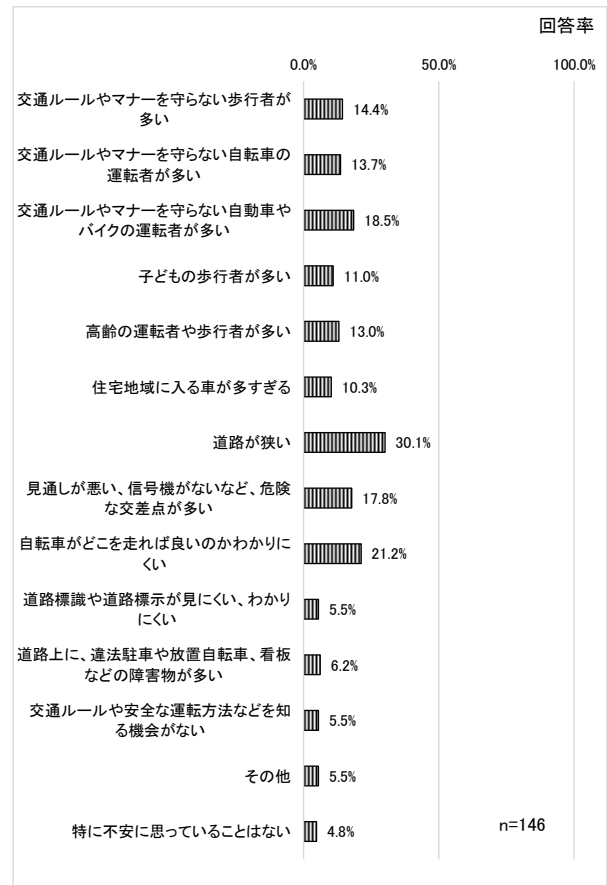


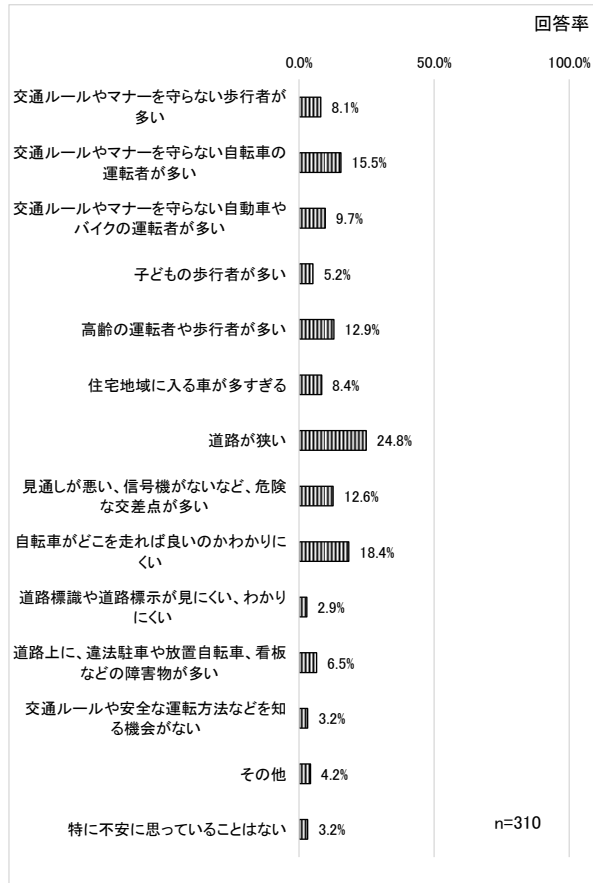
図 2-3-13 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること（年齢階層別）

【全回答者に対する回答率】

○40 歳代と 50 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が続く。

【全回答者に対する回答率】

【40 歳代】



【50 歳代】

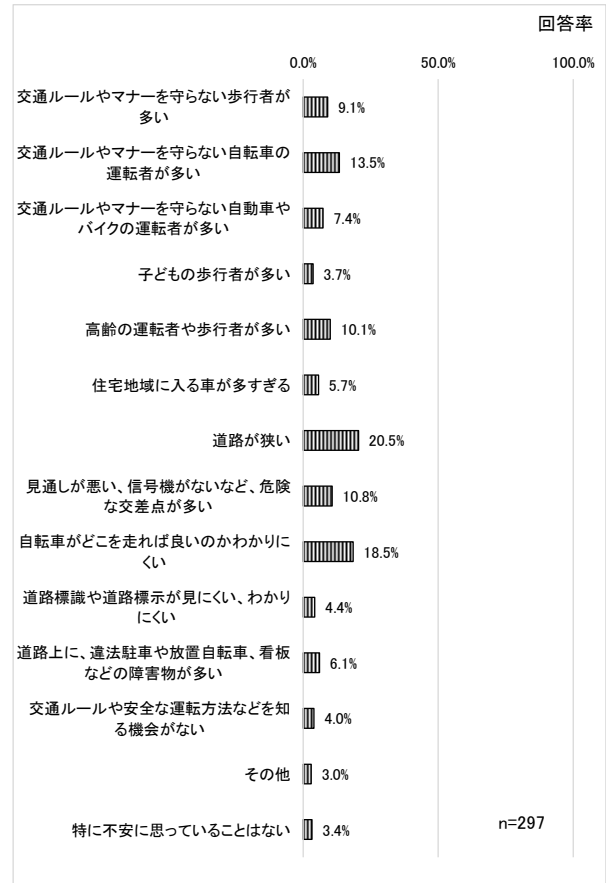


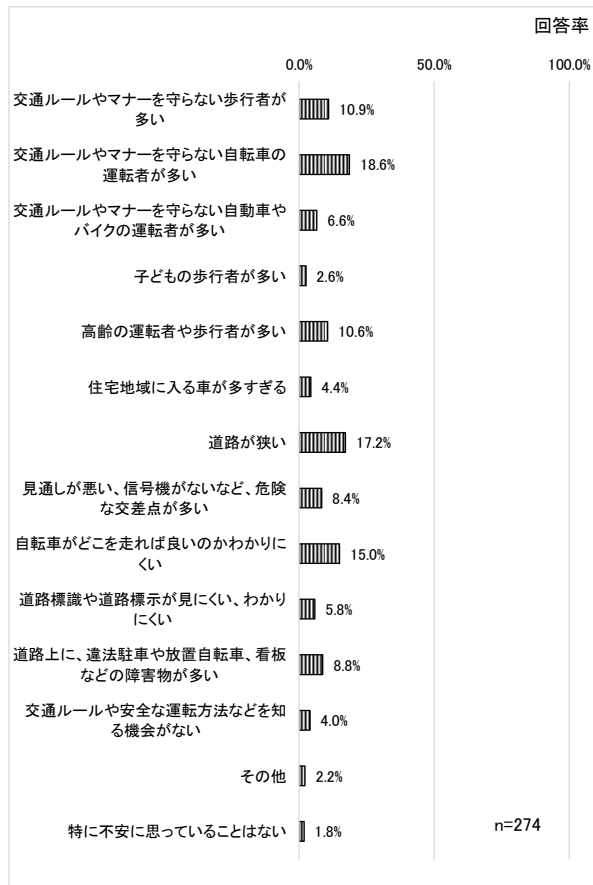
図 2-3-13 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること
(年齢階層別)

【全回答者に対する回答率】

○60 歳代は「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く、「道路が狭い」「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」が続く。
○70 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が続く。

【全回答者に対する回答率】

【60 歳代】



【70 歳代】



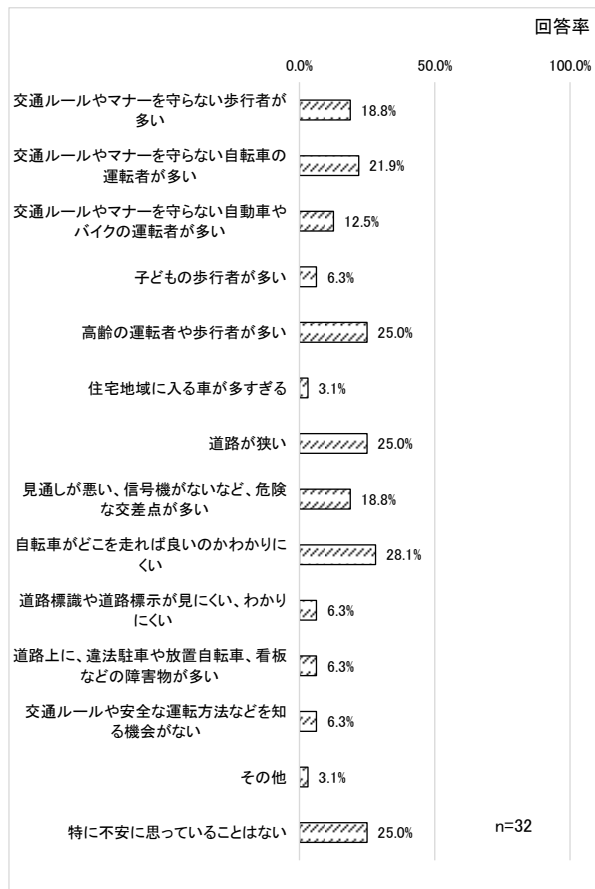
図 2-3-13 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること（年齢階層別）

【自転車利用者に対する回答率】

○20 歳代は「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」が最も多く、「高齢の運転者や歩行者が多い」「道路が狭い」が続く。また「特に不安に思っていることはない」の回答率も高い。
○30 歳代は「道路が狭い」が最も多く、半数以上の自転車利用者が回答した。また、「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」「見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い」が続く。

【自転車利用者に対する回答率】

【20 歳代】



【30 歳代】

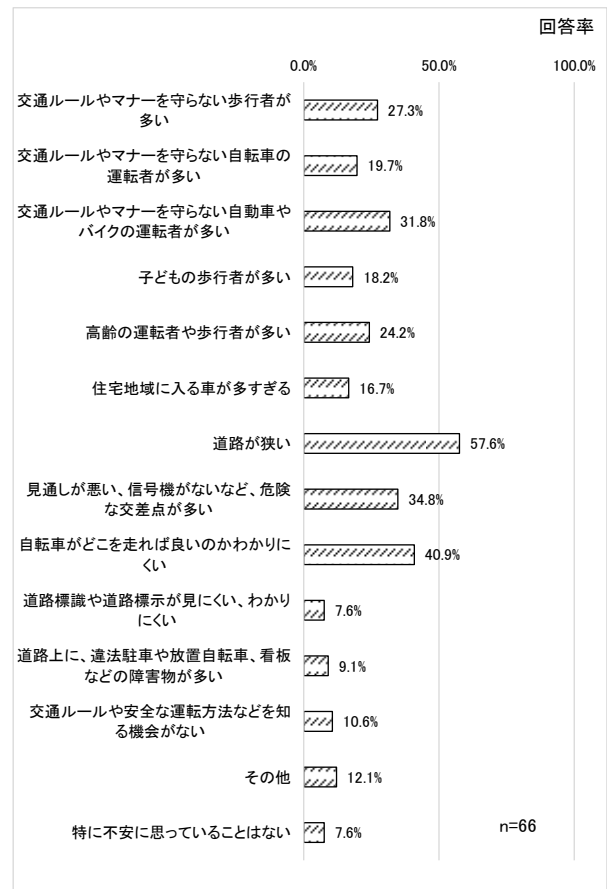


図 2-3-14 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること
(年齢階層別)

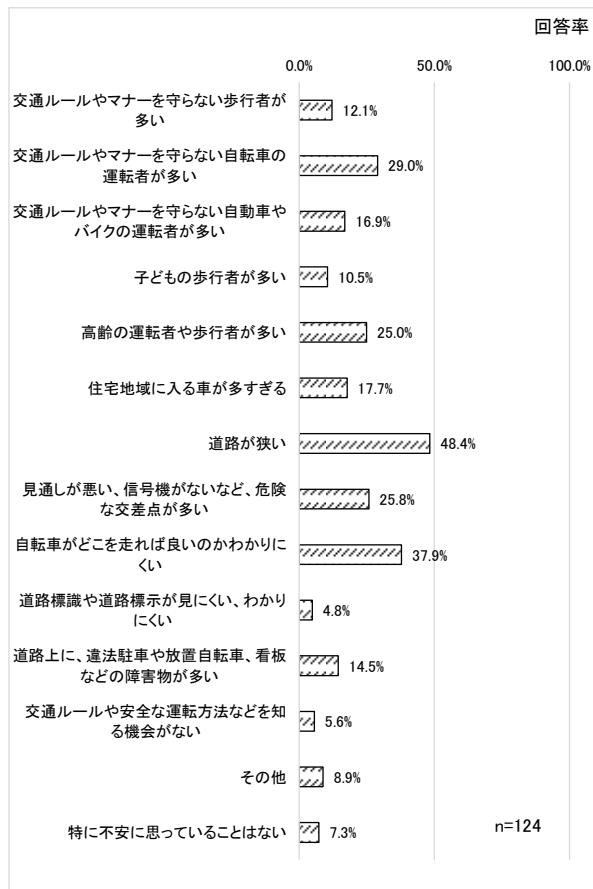
【自転車利用者に対する回答率】

○40 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が続く。

○50 歳代は「道路が狭い」が最も多く、半数以上の自転車利用者が回答した。また、「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が続く。

【自転車利用者に対する回答率】

【40 歳代】



【50 歳代】

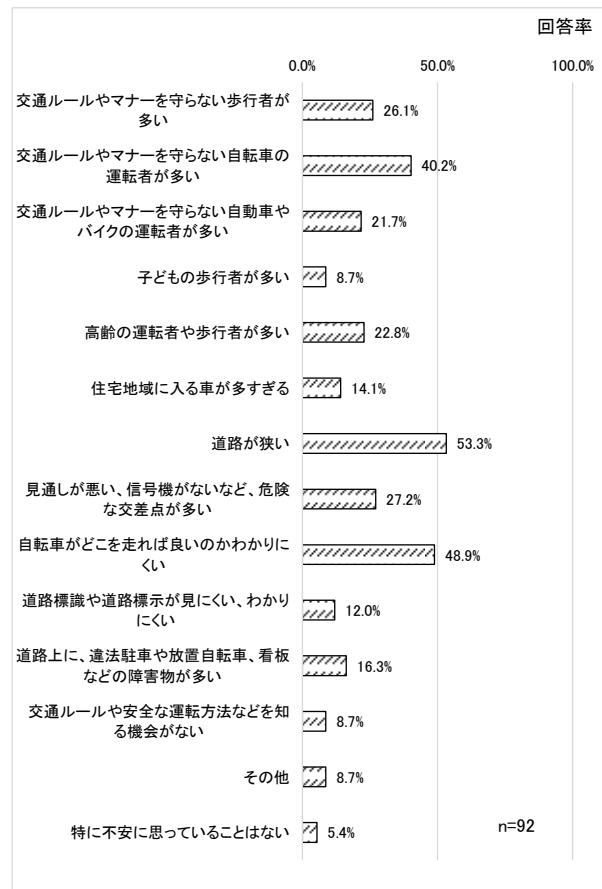


図 2-3-14 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること（年齢階層別）

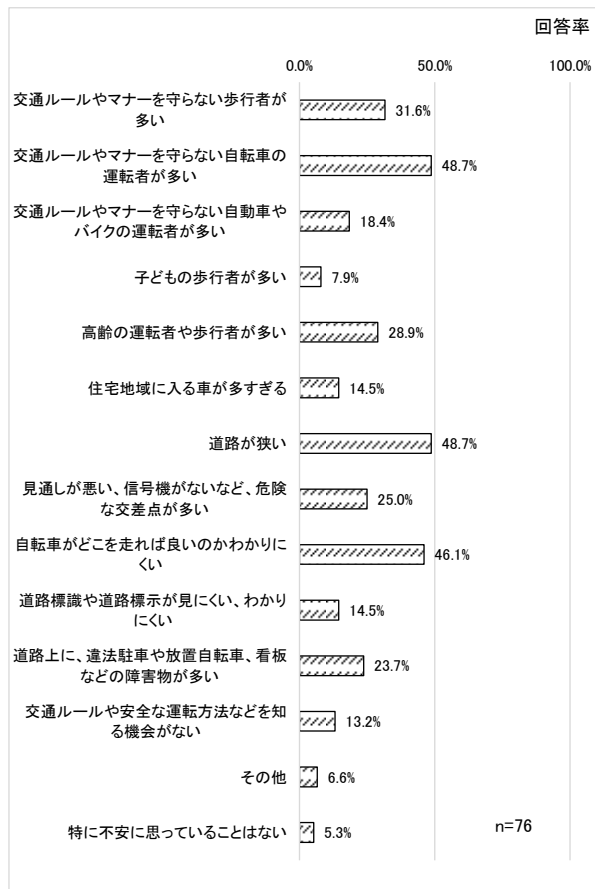
【自転車利用者に対する回答率】

○60 歳代は「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」「道路が狭い」が最も多く、「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」が続く。

○70 歳代は「道路が狭い」が最も多く、半数以上の自転車利用者が回答した。また、「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が続く。

【自転車利用者に対する回答率】

【60 歳代】



【70 歳代】

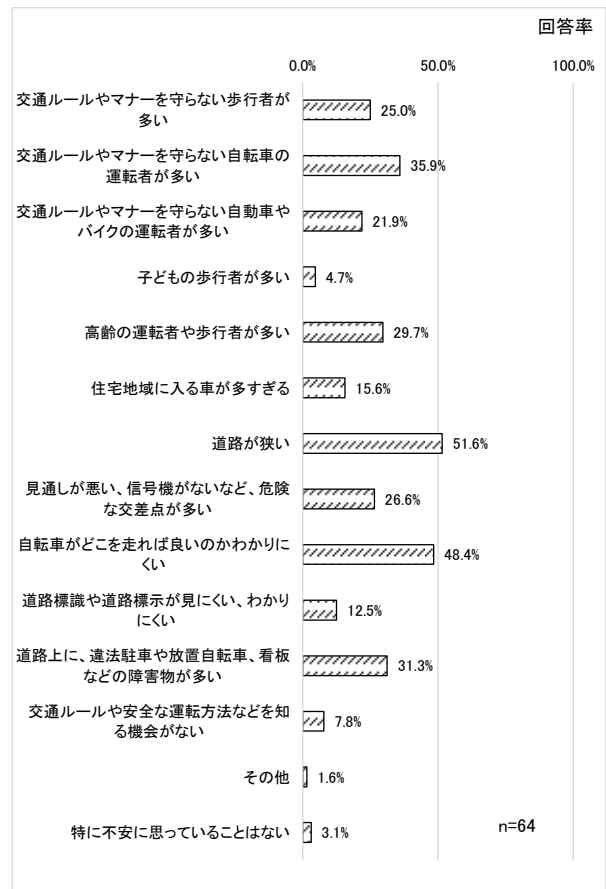


図 2-3-14 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること（年齢階層別）

○「とても意識する」「意識することがある」「時々意識することがある」と回答した市民の回答をみると、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」「交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い」「高齢の運転者や歩行者が多い」などは、「とても意識する」と回答した市民ほど回答率が高い傾向がみられる。

表 2-3-4 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること
(全員：交通安全に対する意識別)

	とても意識する (n=716)	意識することがある (n=514)	時々意識することがある (n=189)	どちらでもない (n=17)	あまり意識することはない (n=34)	意識することはない (n=3)	まったく意識しない (n=4)	未回答・不明 (n=5)	合計 (n=1482)
交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い	10.2%	10.3%	5.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	9.4%
交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い	17.3%	13.6%	6.3%	5.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	14.0%
交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い	9.6%	8.8%	4.2%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	8.4%
子どもの歩行者が多い	3.8%	4.9%	3.2%	5.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
高齢の運転者や歩行者が多い	11.6%	11.5%	7.9%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	10.9%
住宅地域に入る車が多すぎる	6.8%	6.0%	4.2%	5.9%	2.9%	0.0%	25.0%	0.0%	6.1%
道路が狭い	19.8%	20.0%	19.6%	17.6%	2.9%	0.0%	0.0%	20.0%	19.4%
見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い	10.6%	11.9%	5.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.1%
自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい	16.9%	18.3%	11.6%	5.9%	5.9%	0.0%	25.0%	20.0%	16.3%
道路標識や道路標示が見にくい、わかりにくい	5.7%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	4.3%
道路上に、違法駐車や放置自転車、看板などの障害物が多い	7.5%	6.2%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	6.7%
交通ルールや安全な運転方法などを知る機会がない	3.5%	4.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
その他	3.4%	3.1%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%
特に不安に思っていることはない	2.0%	3.7%	5.3%	5.9%	8.8%	0.0%	25.0%	0.0%	3.2%

※問1の設問で「自転車」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

○「とても意識する」「意識することがある」「時々意識することがある」と回答した自転車利用者の回答をみると、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」「道路標識や道路標示が見にくい、わかりにくい」「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」などは、「とても意識する」と回答した自転車利用者ほど回答率が高い傾向がみられる。

表 2-3-5 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること
(自転車利用者：交通安全に対する意識別)

	とても意識する (n=209)	意識することがある (n=173)	時々意識することがある (n=60)	どちらでもない (n=4)	あまり意識することはない (n=8)	意識することはない (n=0)	まったく意識しない (n=1)	未回答・不明 (n=2)	合計 (n=457)
交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い	24.9%	24.3%	11.7%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	22.5%
交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い	42.1%	31.2%	15.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	33.5%
交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い	23.9%	20.8%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.6%
子どもの歩行者が多い	9.1%	12.1%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.8%
高齢の運転者や歩行者が多い	28.7%	25.4%	21.7%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.8%
住宅地域に入る車が多すぎる	16.7%	15.6%	11.7%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	15.3%
道路が狭い	50.2%	51.4%	48.3%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	50.0%	49.5%
見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い	29.2%	29.5%	15.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%
自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい	43.1%	48.6%	30.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	50.0%	42.7%
道路標識や道路標示が見にくい、わかりにくい	13.4%	9.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.6%
道路上に、違法駐車や放置自転車、看板などの障害物が多い	21.1%	13.9%	18.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.3%
交通ルールや安全な運転方法などを知る機会がない	7.7%	11.6%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.5%
その他	8.1%	7.5%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.4%
特に不安に思っていることはない	4.8%	6.4%	11.7%	25.0%	37.5%	0.0%	100.0%	0.0%	7.2%

※問1の設問で「自転車」を利用手段と回答した回答者の回答

○「安全に通行できる」「やや安全に通行できる」「どちらでもない」「あまり安全に通行できない」と回答した市民の回答をみると、「道路が狭い」「見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い」「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」など、「安全に通行できていない」と回答する市民ほど、回答する割合が大きい傾向がみられる。

表 2-3-6 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること
(全員：安全に通行できていると感じている意識別)

	とても安全に 通行できる (n=27)	安全に 通行できる (n=333)	やや安全に 通行できる (n=509)	どちらでもない (n=195)	あまり安全に 通行できない (n=317)	安全に 通行できない (n=44)	まったく安全に 通行できない (n=27)	未回答・不明 (n=30)	合計 (n=1482)
交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い	7.4%	4.8%	7.7%	10.8%	14.2%	22.7%	22.2%	0.0%	9.4%
交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い	7.4%	9.0%	13.0%	11.3%	20.2%	34.1%	33.3%	0.0%	14.0%
交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い	3.7%	4.5%	8.1%	6.2%	12.6%	18.2%	25.9%	0.0%	8.4%
子どもの歩行者が多い	3.7%	2.4%	3.3%	3.6%	6.3%	6.8%	14.8%	0.0%	4.0%
高齢の運転者や歩行者が多い	7.4%	6.9%	10.2%	11.3%	12.6%	25.0%	33.3%	6.7%	10.9%
住宅地域に入る車が多すぎる	0.0%	4.2%	4.3%	3.1%	9.5%	18.2%	40.7%	0.0%	6.1%
道路が狭い	11.1%	12.3%	16.1%	16.9%	30.3%	45.5%	40.7%	3.3%	19.4%
見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い	0.0%	4.2%	8.6%	5.1%	17.4%	29.5%	44.4%	3.3%	10.1%
自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい	7.4%	11.7%	15.5%	14.4%	21.5%	34.1%	33.3%	6.7%	16.3%
道路標識や道路標示が見にくい、わかりにくい	0.0%	2.4%	3.3%	2.1%	6.6%	18.2%	18.5%	3.3%	4.3%
道路上に、違法駐車や放置自転車、看板などの障害物が多い	3.7%	3.3%	5.7%	4.1%	12.0%	15.9%	22.2%	0.0%	6.7%
交通ルールや安全な運転方法などを知る機会がない	0.0%	1.8%	3.9%	2.6%	5.4%	6.8%	7.4%	0.0%	3.6%
その他	0.0%	1.2%	3.5%	1.0%	4.4%	11.4%	3.7%	6.7%	3.1%
特に不安に思っていることはない	14.8%	5.1%	3.5%	4.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%

※問1の設問で「自転車」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

○「安全に通行できる」「やや安全に通行できる」「どちらでもない」「あまり安全に通行できない」と回答した自転車利用者の回答をみると、「道路が狭い」「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」などは、「あまり安全に通行できない」と回答した自転車利用者ほど回答率が高い傾向がみられる。

表 2-3-7 自転車の運転者として利用するとき、交通安全上、不安に思っていること
(自転車利用者：安全に通行できていると感じている意識別)

	とても安全に 通行できる (n=8)	安全に 通行できる (n=93)	やや安全に 通行できる (n=152)	どちらでもない (n=53)	あまり安全に 通行できない (n=117)	安全に 通行できない (n=22)	まったく安全に 通行できない (n=8)	未回答・不明 (n=4)	合計 (n=457)
交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い	25.0%	11.8%	15.8%	28.3%	35.0%	36.4%	25.0%	0.0%	22.5%
交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い	25.0%	21.5%	30.3%	28.3%	47.9%	45.5%	50.0%	0.0%	33.5%
交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い	12.5%	9.7%	19.7%	15.1%	31.6%	27.3%	37.5%	0.0%	20.6%
子どもの歩行者が多い	12.5%	5.4%	7.9%	9.4%	15.4%	13.6%	12.5%	0.0%	9.8%
高齢の運転者や歩行者が多い	25.0%	16.1%	24.3%	30.2%	29.9%	40.9%	25.0%	50.0%	25.8%
住宅地域に入る車が多すぎる	0.0%	9.7%	11.2%	11.3%	21.4%	27.3%	87.5%	0.0%	15.3%
道路が狭い	25.0%	30.1%	41.4%	50.9%	71.8%	72.7%	62.5%	25.0%	49.5%
見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い	0.0%	12.9%	21.7%	17.0%	44.4%	40.9%	75.0%	25.0%	26.7%
自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい	12.5%	32.3%	41.4%	41.5%	51.3%	59.1%	62.5%	25.0%	42.7%
道路標識や道路標示が見にくい、わかりにくい	0.0%	7.5%	5.3%	7.5%	15.4%	27.3%	12.5%	0.0%	9.6%
道路上に、違法駐車や放置自転車、看板などの障害物が多い	12.5%	8.6%	15.1%	11.3%	28.2%	27.3%	25.0%	0.0%	17.3%
交通ルールや安全な運転方法などを知る機会がない	0.0%	6.5%	7.2%	7.5%	13.7%	9.1%	0.0%	0.0%	8.5%
その他	0.0%	3.2%	7.9%	0.0%	12.0%	18.2%	0.0%	25.0%	7.4%
特に不安に思っていることはない	12.5%	12.9%	9.2%	9.4%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.2%

※問1の設問で「自転車」を利用手段と回答した回答者の回答

(7) 自動車やバイクを運転等するときに、交通安全について気をつけていること（問 8-1）

○現在自動車、バイクを利用している回答者の回答をみると、「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が 78.0%と最も多く、「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」が続く。

○一方、「制限速度を守って運転する」「道路から歩道を通して住宅や店舗の駐車場に入るときは、歩道の手前で一時停止する」は気を付けていると回答する回答者が半数程度にとどまっている。

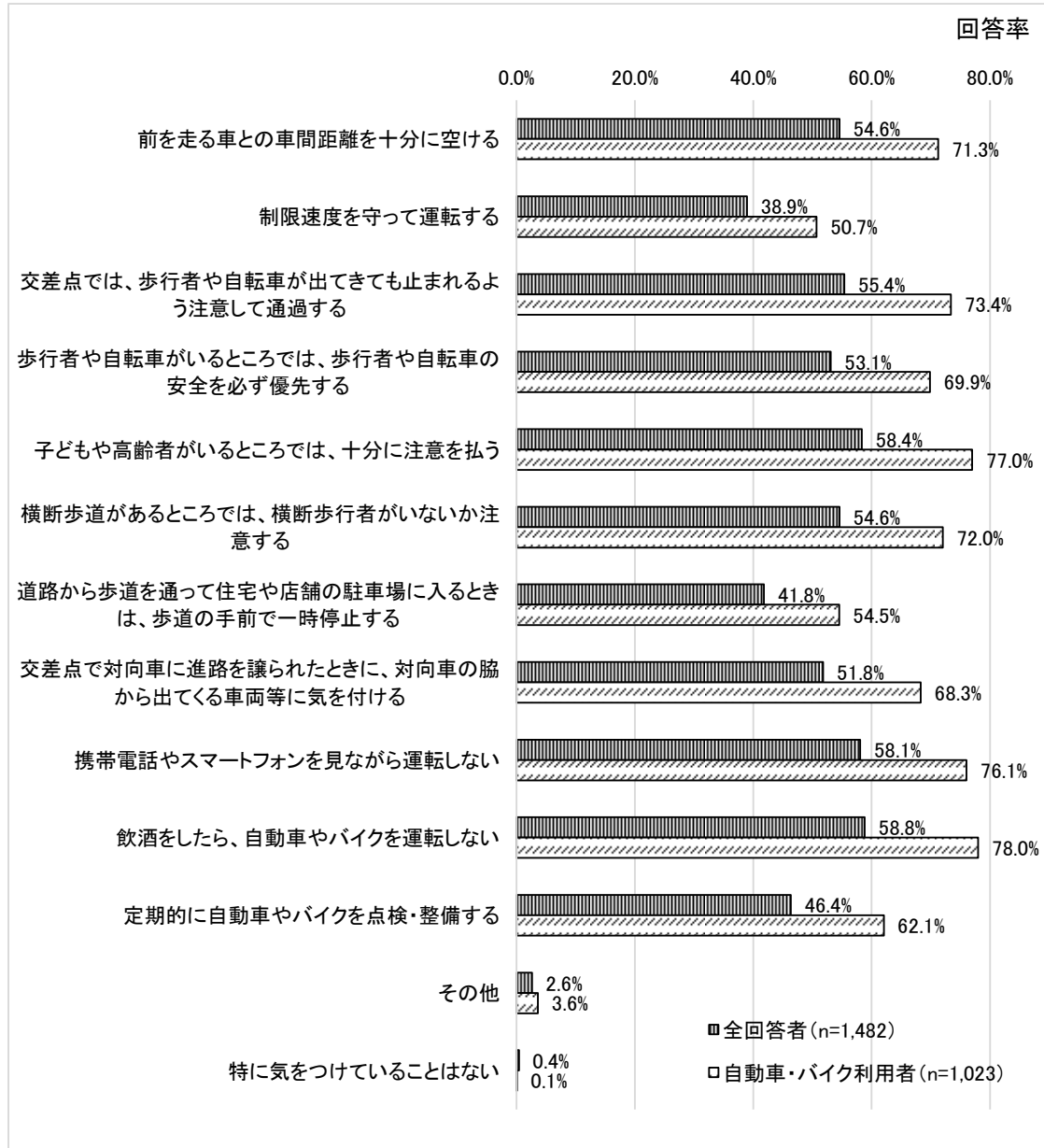


図 2-3-15 自動車やバイクを運転等するときに、交通安全について気をつけていること

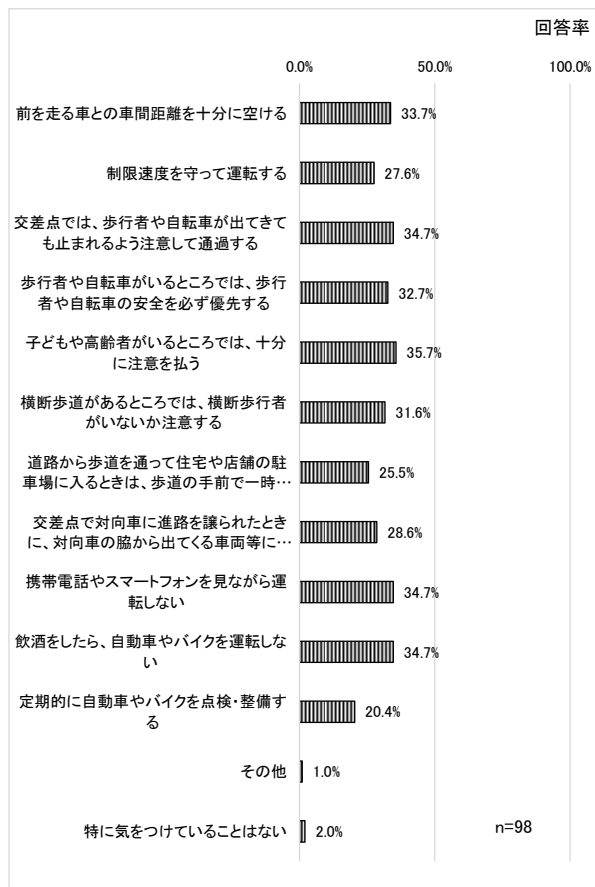
【全回答者に対する回答率】

○20 歳代は「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」が最も多く、「交差点では、歩行者や自転車が出てきても止まれるよう注意して通過する」「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が続く。

○30 歳代は「交差点では、歩行者や自転車が出てきても止まれるよう注意して通過する」「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が 50%と最も多い。

【全回答者に対する回答率】

【20 歳代】



【30 歳代】

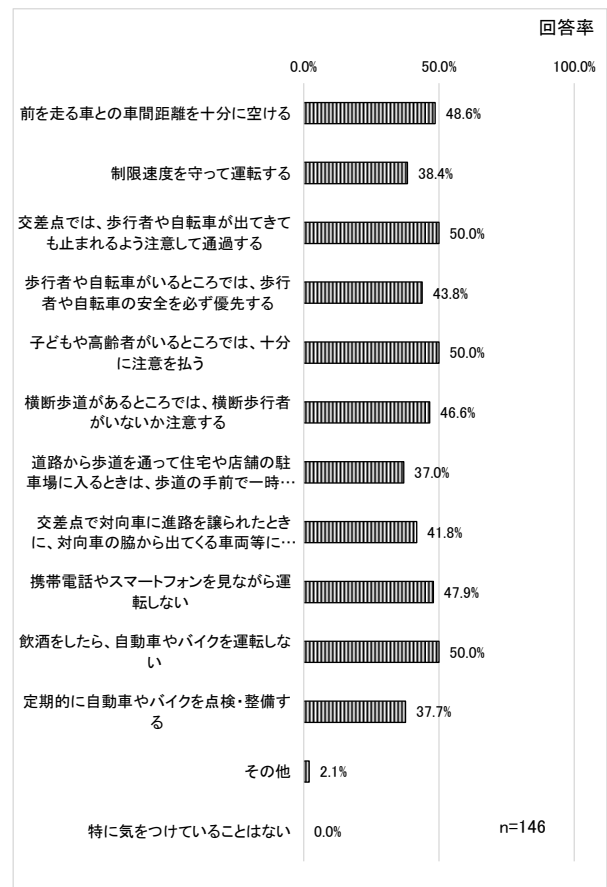


図 2-3-16 自動車やバイクを運転等するとき、交通安全について気をつけていること（年齢階層別）

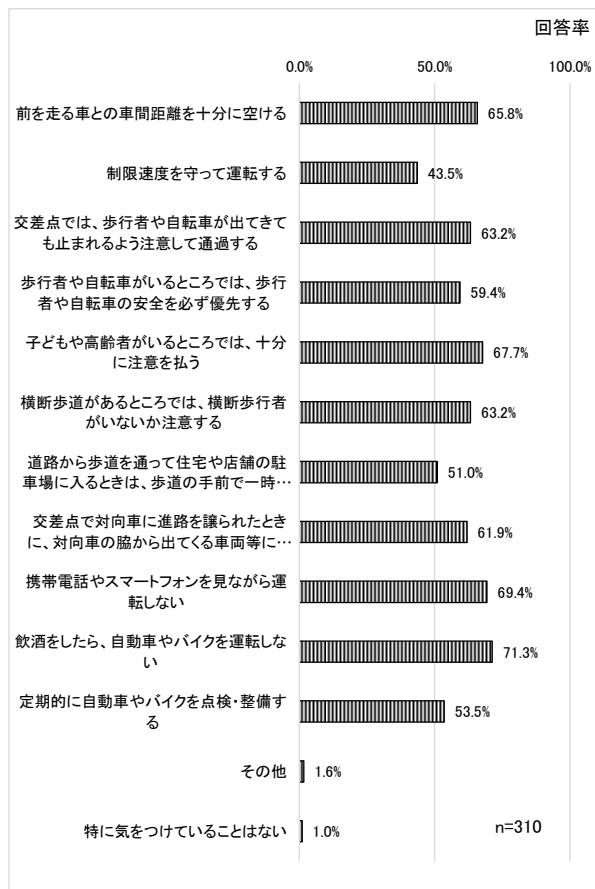
【全回答者に対する回答率】

○40 歳代は「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が最も多く、「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」が続く。

○50 歳代は「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が最も多く、「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」が続く。

【全回答者に対する回答率】

【40 歳代】



【50 歳代】

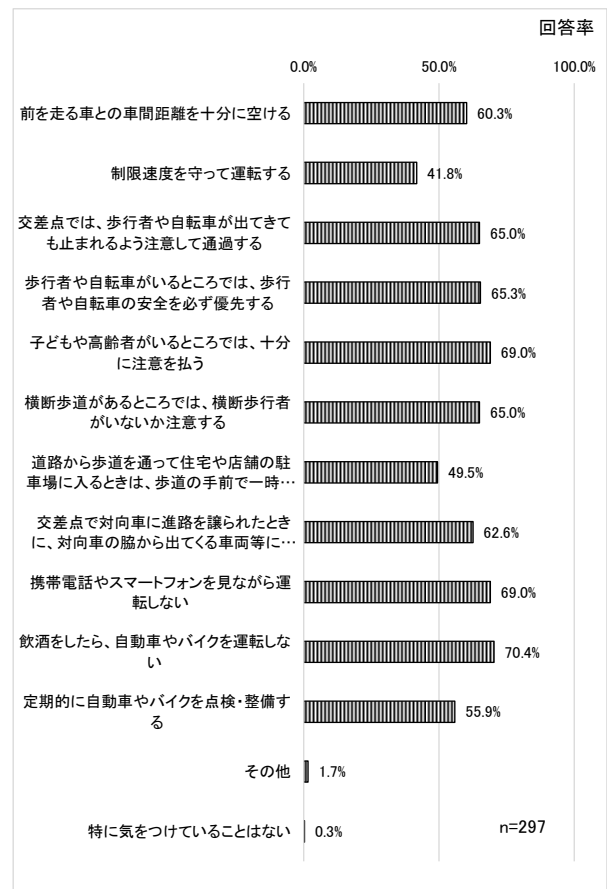


図 2-3-16 自動車やバイクを運転等するとき、交通安全について気をつけていること（年齢階層別）

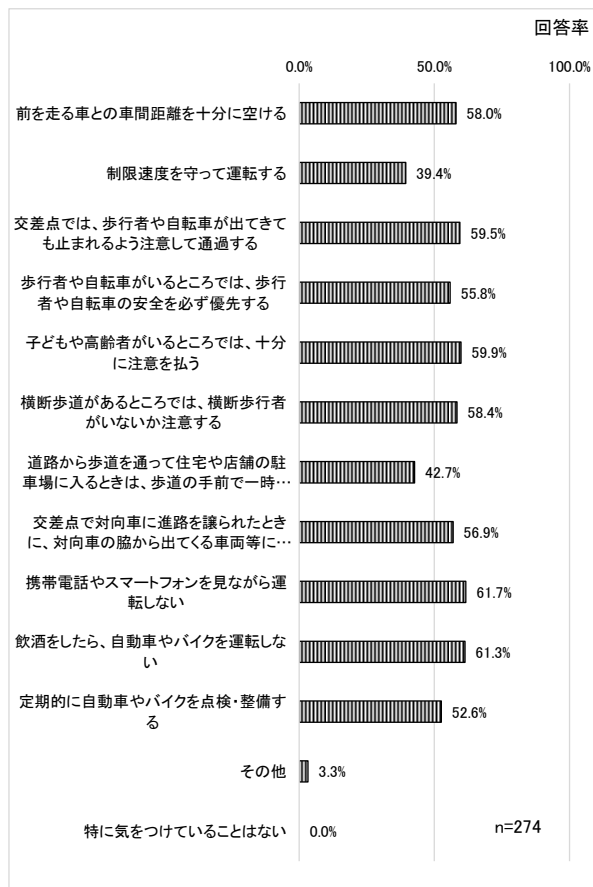
【全回答者に対する回答率】

○60 歳代は「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」が最も多く、「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」が続く。

○70 歳代は「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」が最も多く、「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が続く。

【全回答者に対する回答率】

【60 歳代】



【70 歳代】

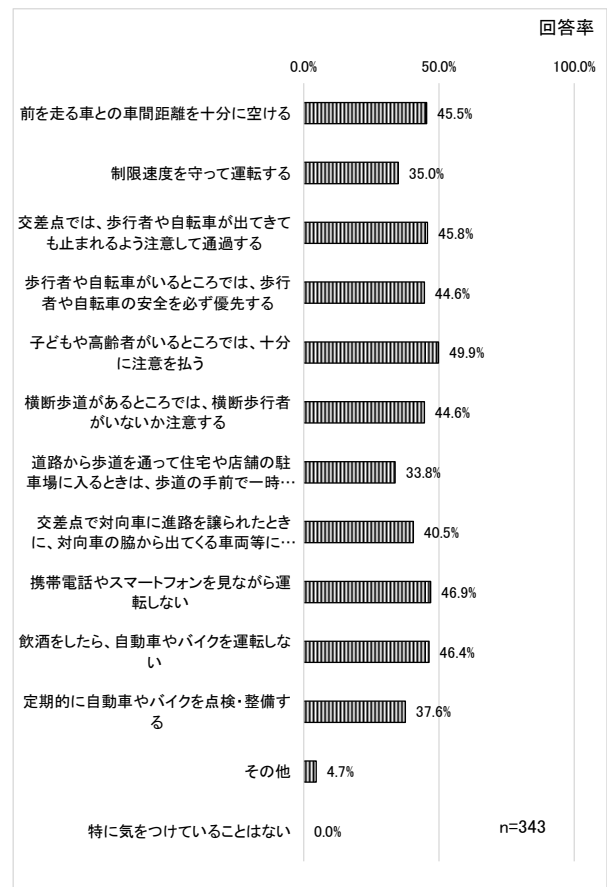


図 2-3-16 自動車やバイクを運転等するとき、交通安全について気をつけていること（年齢階層別）

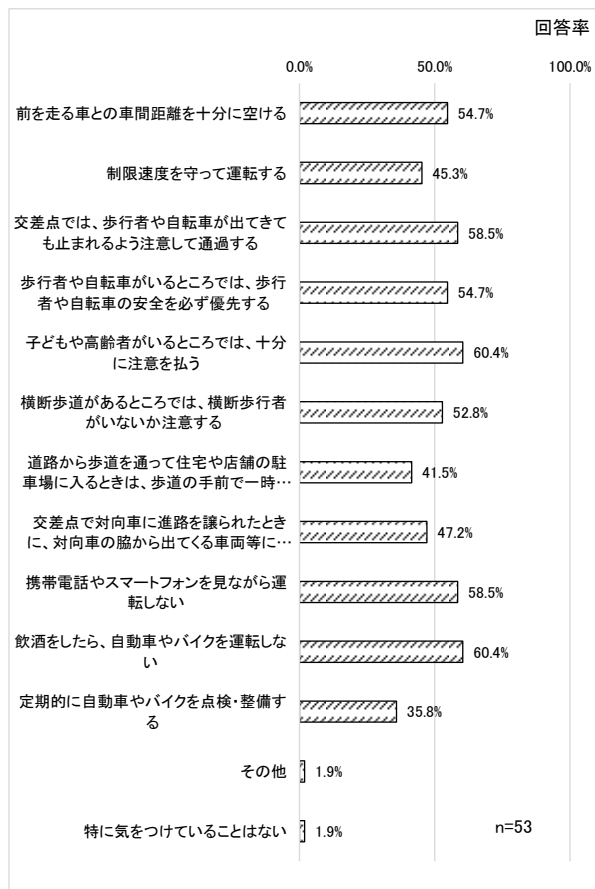
【自動車やバイク利用者に対する回答率】

○20 歳代は「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が最も多く、「交差点では、歩行者や自転車が出てきて止まれるよう注意して通過する」「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」が続く。

○30 歳代は「交差点では、歩行者や自転車が出てきて止まれるよう注意して通過する」が最も多く、「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が続く。

【自動車やバイク利用者に対する回答率】

【20 歳代】



【30 歳代】

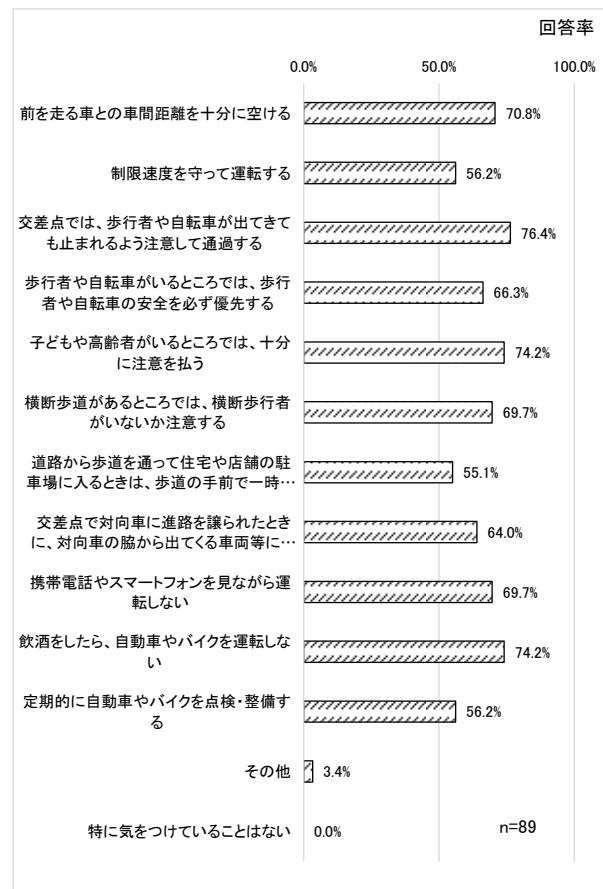


図 2-3-17 自動車やバイクを運転等するとき、交通安全について気をつけていること（年齢階層別）

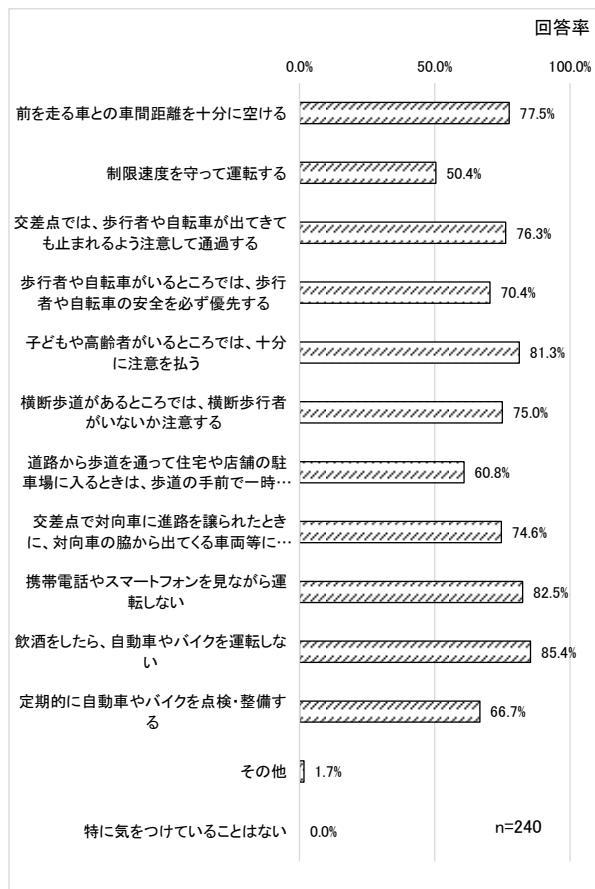
【自動車やバイク利用者に対する回答率】

○40 歳代は「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が最も多く、「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」が続く。

○50 歳代は「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が最も多く、「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」が続く。

【自動車やバイク利用者に対する回答率】

【40 歳代】



【50 歳代】

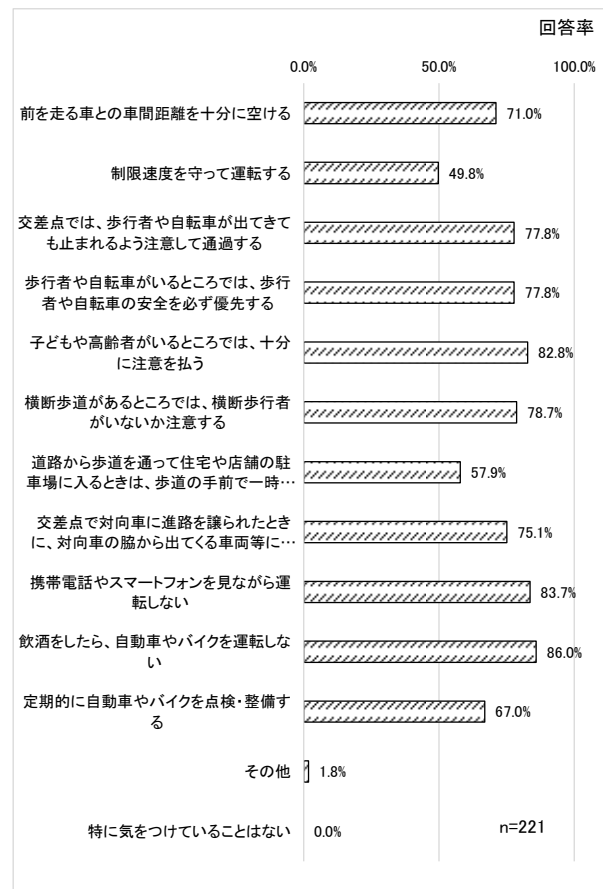


図 2-3-17 自動車やバイクを運転等するとき、交通安全について気をつけていること（年齢階層別）

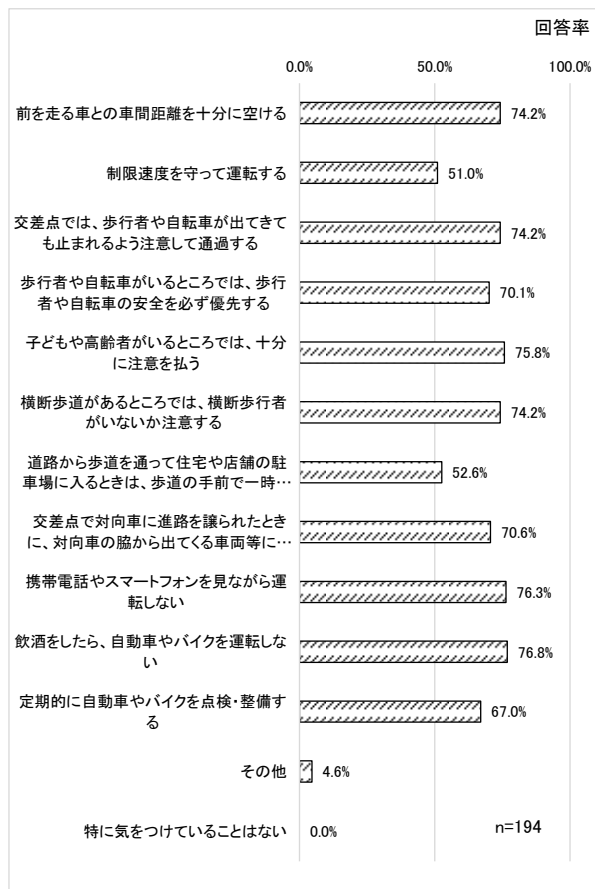
【自動車やバイク利用者に対する回答率】

○60 歳代は「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が最も多く、「携帯電話やスマートフォンを見ながら運転しない」「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」が続く。

○70 歳代は「子どもや高齢者がいるところでは、十分に注意を払う」が最も多く、「交差点では、歩行者や自転車が出てきても止まれるよう注意して通過する」「飲酒をしたら、自動車やバイクを運転しない」が続く。

【自動車やバイク利用者に対する回答率】

【60 歳代】



【70 歳代】

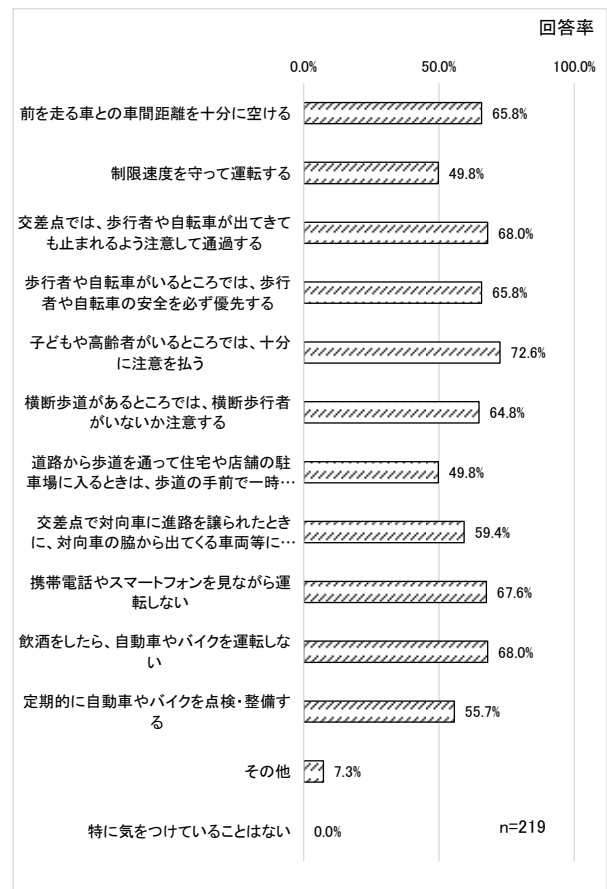


図 2-3-17 自動車やバイクを運転等するとき、交通安全について気をつけていること
(年齢階層別)

(8) 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること（問 8-2）

○現在自動車、バイクを利用している回答者の回答をみると、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く、「道路が狭い」「高齢の運転者や歩行者が多い」「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」が続く。

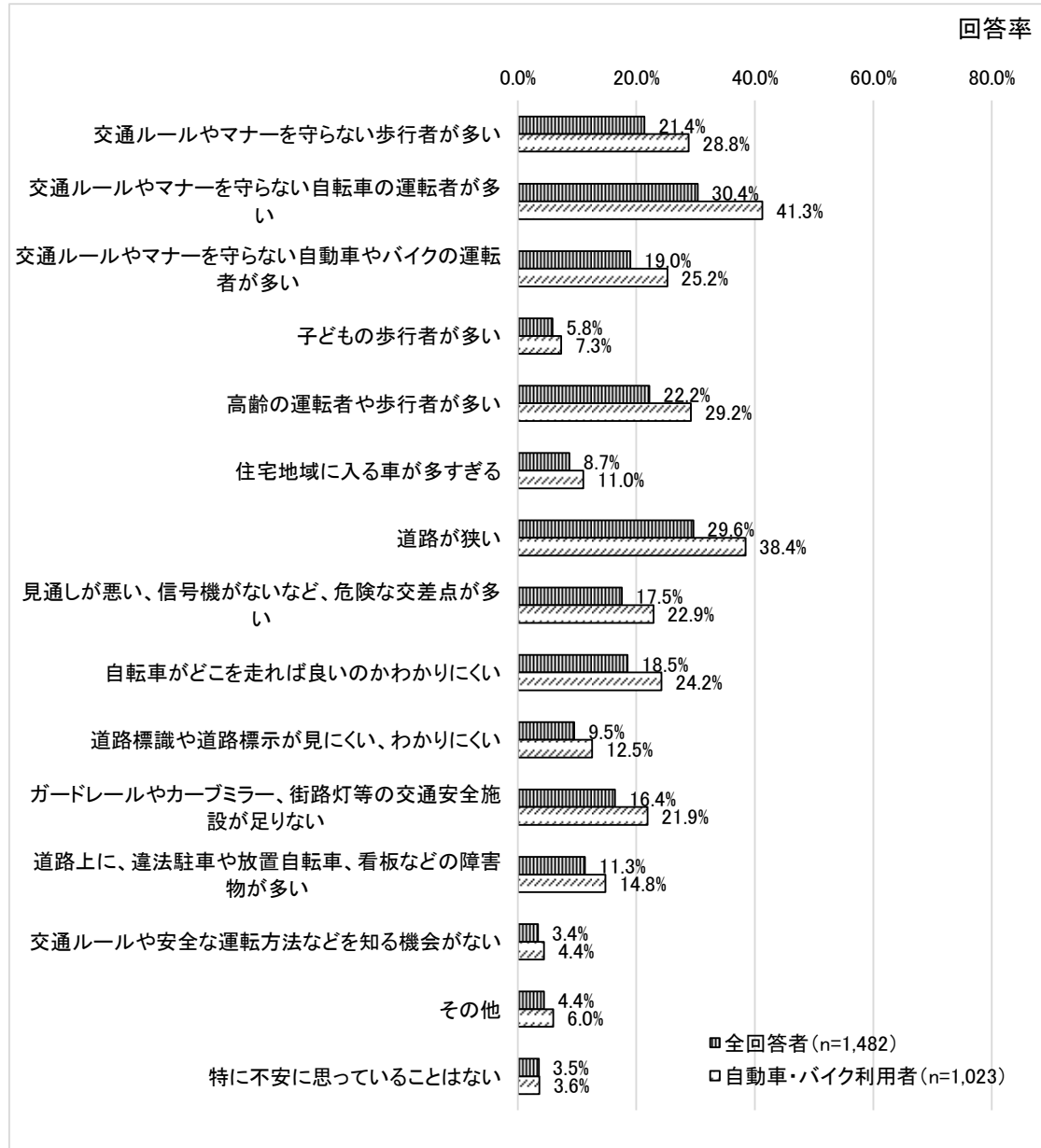


図 2-3-18 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること

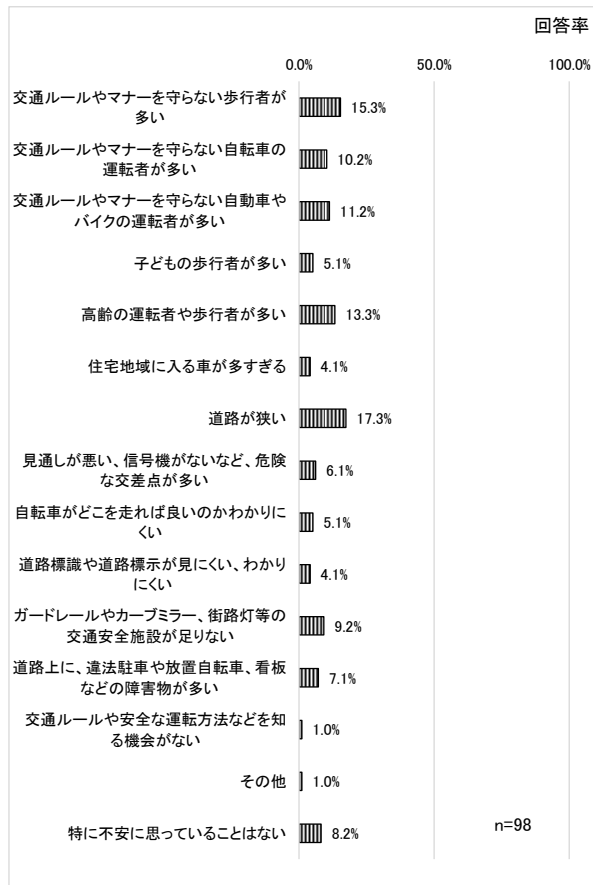
【全回答者に対する回答率】

○20 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」「高齢の運転者や歩行者が多い」が続く。

○30 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」「見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い」が続く。

【全回答者に対する回答率】

【20 歳代】



【30 歳代】

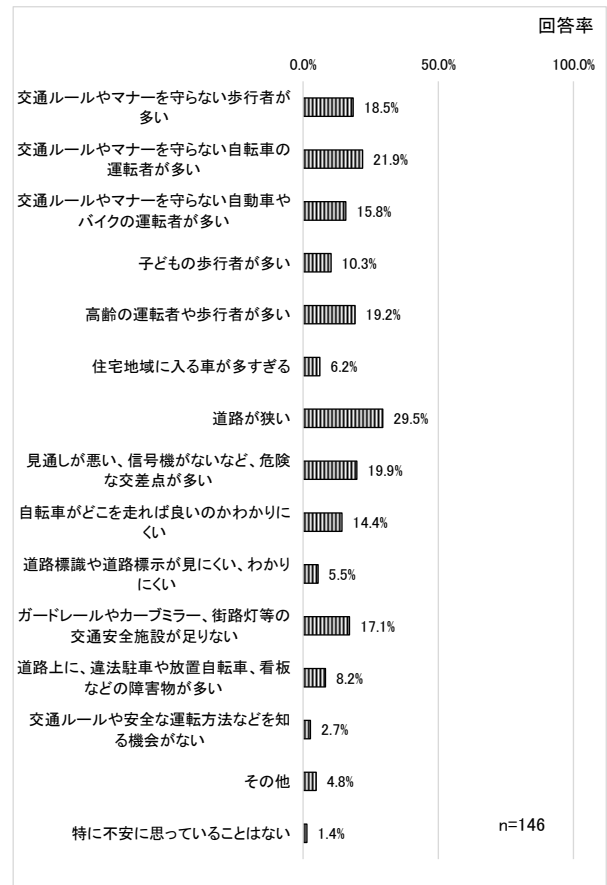


図 2-3-19 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること（年齢階層別）

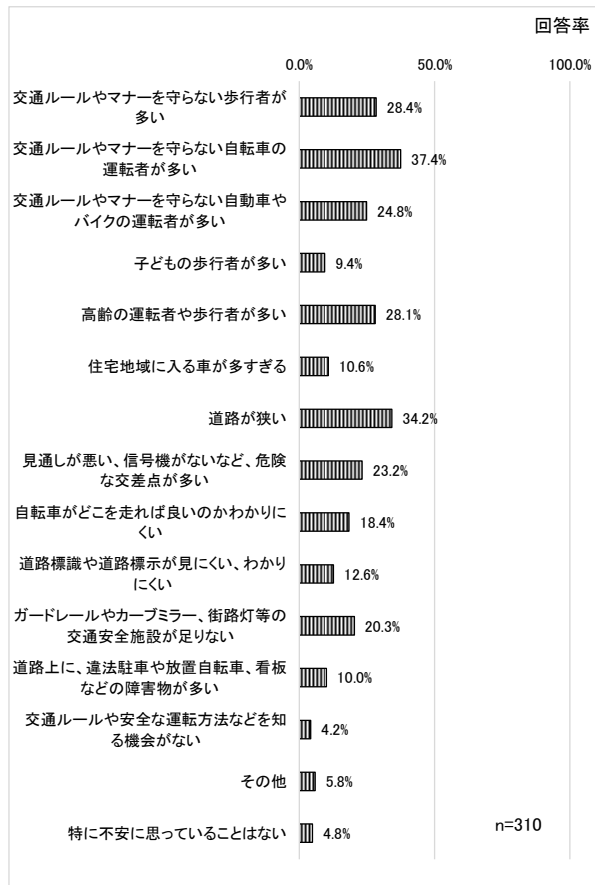
【全回答者に対する回答率】

○40 歳代は「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く、「道路が狭い」「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」が続く。

○50 歳代は「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く、「道路が狭い」「高齢の運転者や歩行者が多い」が続く。

【全回答者に対する回答率】

【40 歳代】



【50 歳代】

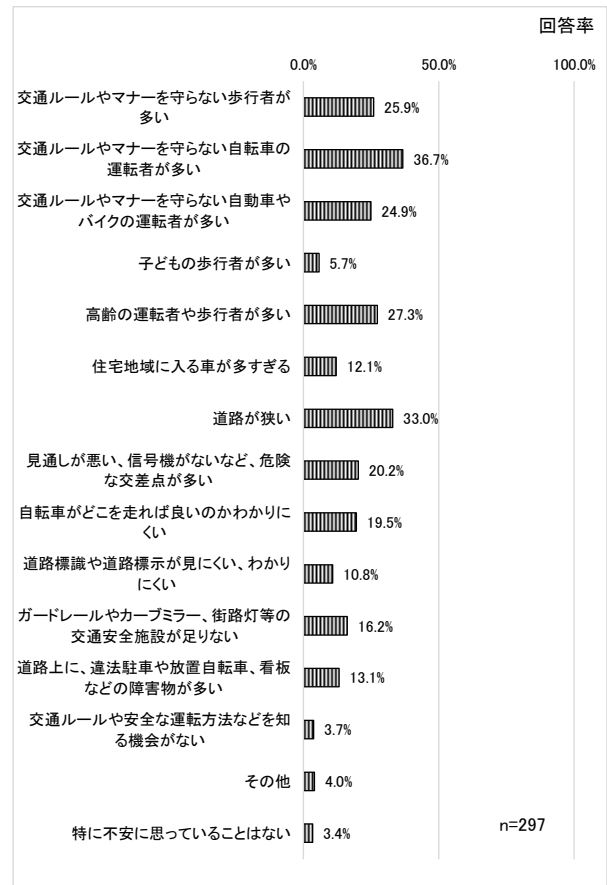


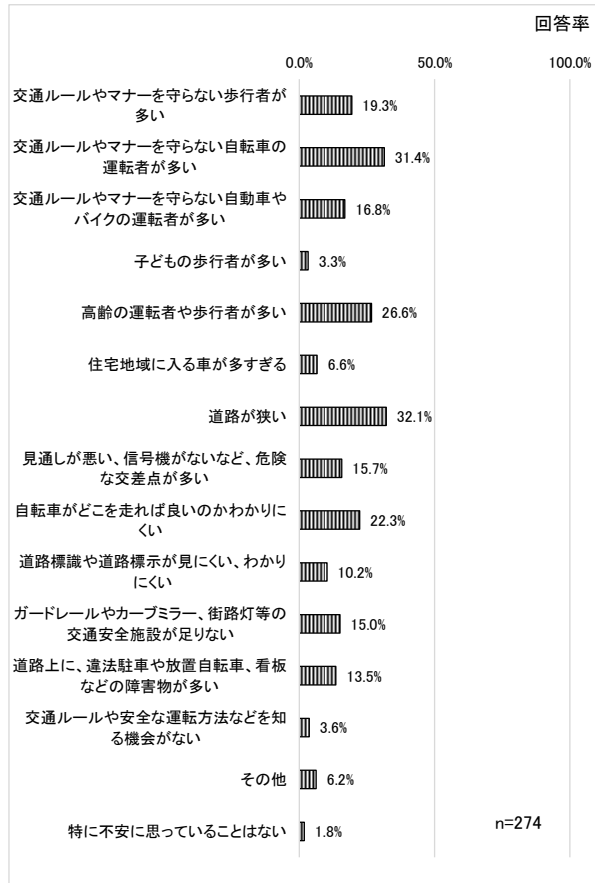
図 2-3-19 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること（年齢階層別）

【全回答者に対する回答率】

- 60 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」「高齢の運転者や歩行者が多い」が続く。
- 70 歳代は「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く、「道路が狭い」「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」が続く。

【全回答者に対する回答率】

【60 歳代】



【70 歳代】

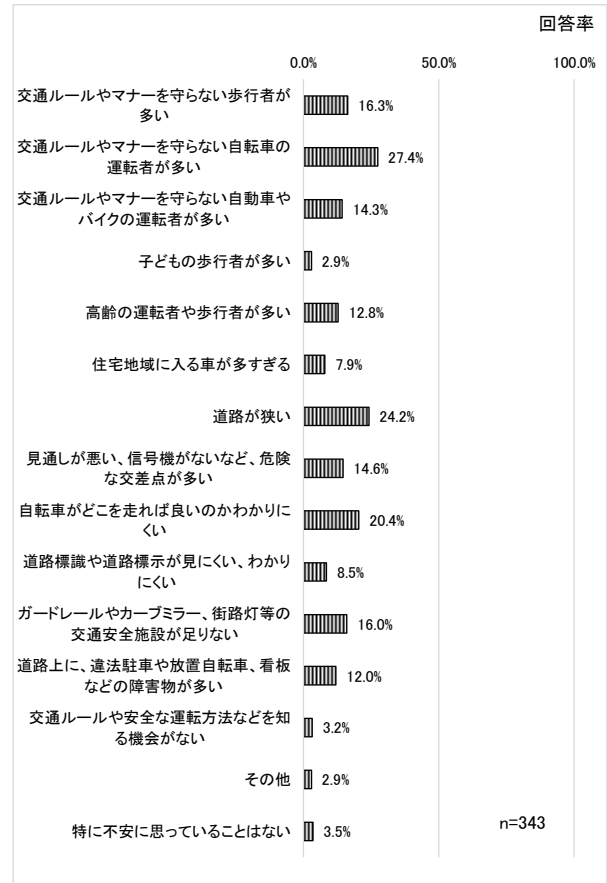


図 2-3-19 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること（年齢階層別）

【自動車やバイク利用者に対する回答率】

○20 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」「高齢の運転者や歩行者が多い」が続く。

○30 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」、「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」「見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い」が続く。

【自動車やバイク利用者に対する回答率】

【20 歳代】



【30 歳代】

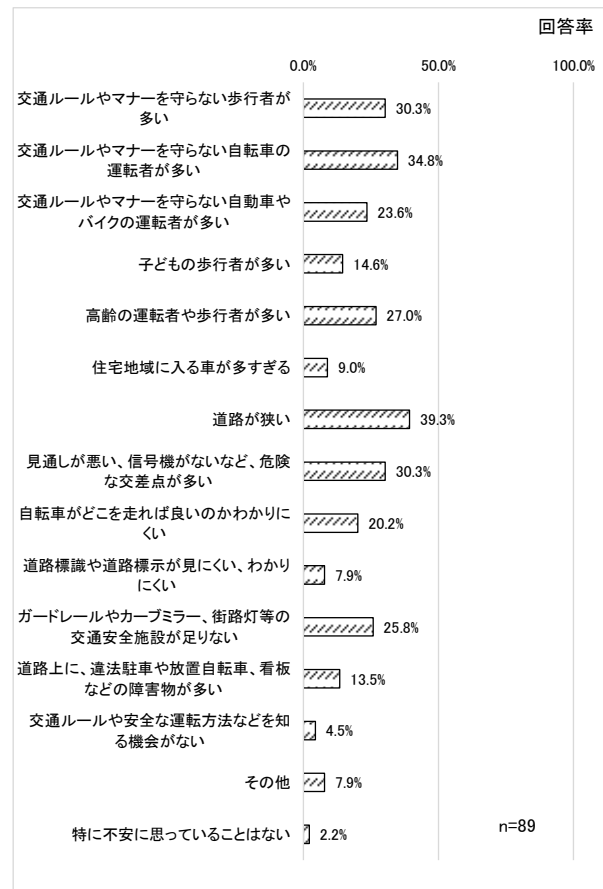


図 2-3-20 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること（年齢階層別）

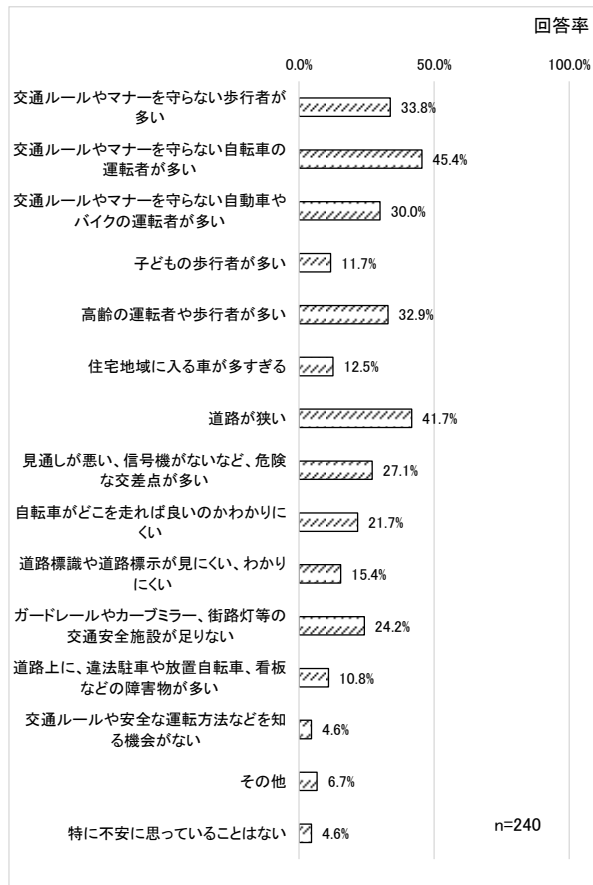
【自動車やバイク利用者に対する回答率】

○40 歳代は「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く、「道路が狭い」「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」が続く。

○50 歳代は「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く、「道路が狭い」「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」「高齢の運転者や歩行者が多い」が続く。

【自動車やバイク利用者に対する回答率】

【40 歳代】



【50 歳代】

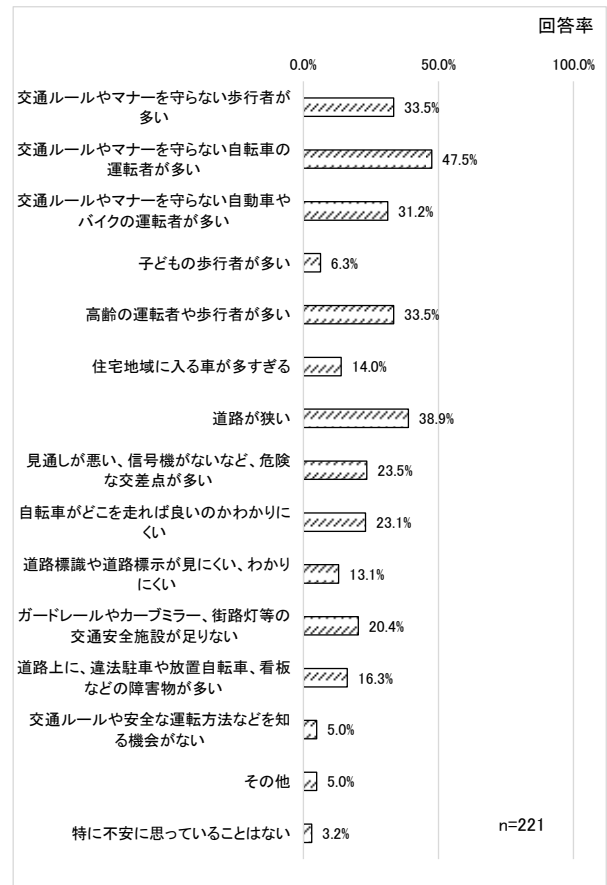


図 2-3-20 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること（年齢階層別）

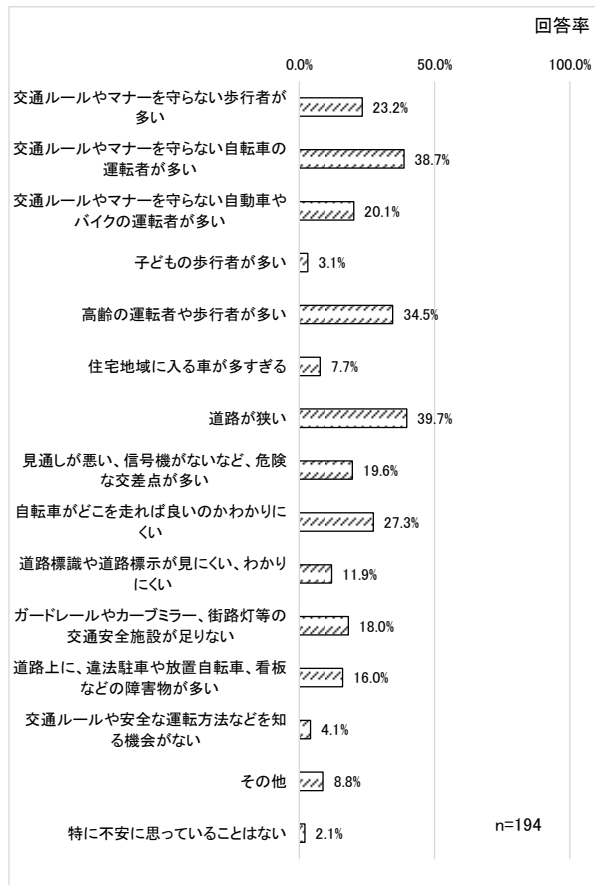
【自動車やバイク利用者に対する回答率】

○60 歳代は「道路が狭い」が最も多く、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」「高齢の運転者や歩行者が多い」が続く。

○70 歳代は「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」が最も多く、「道路が狭い」「自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい」が続く。

【自動車やバイク利用者に対する回答率】

【60 歳代】



【70 歳代】

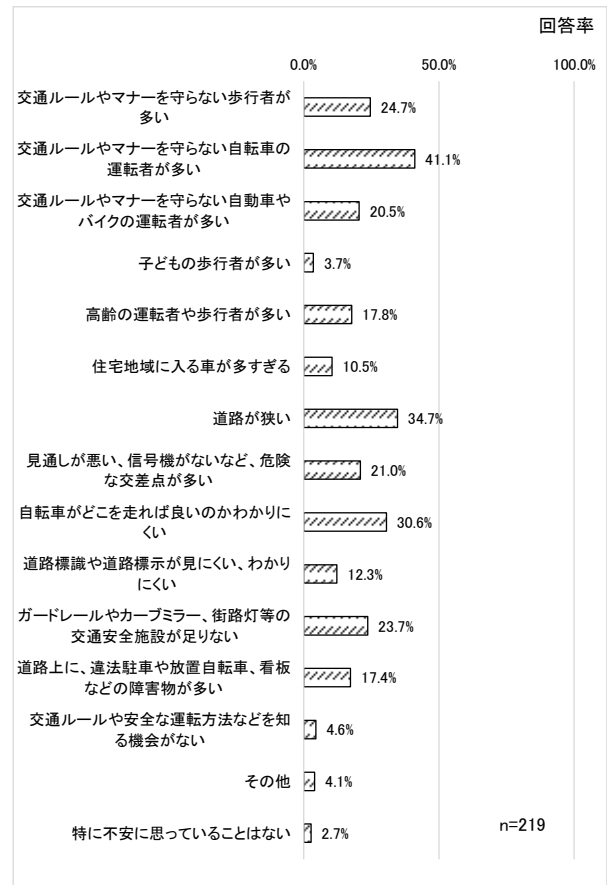


図 2-3-20 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること（年齢階層別）

○「とても意識する」「意識することがある」「時々意識することがある」と回答した市民の回答をみると、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」「交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い」などは、「とても意識する」と回答した市民ほど回答率が高い傾向がみられる。

表 2-3-8 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること
(全員：交通安全に対する意識別)

	とても意識する (n=716)	意識することがある (n=514)	時々意識することがある (n=189)	どちらでもない (n=17)	あまり意識することは ない (n=34)	意識することは ない (n=3)	まったく意識しない (n=4)	未回答・不明 (n=5)	合計 (n=1482)
交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い	25.8%	22.4%	7.4%	0.0%	2.9%	33.3%	0.0%	20.0%	21.4%
交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い	39.1%	27.2%	12.7%	11.8%	8.8%	0.0%	0.0%	20.0%	30.4%
交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い	23.9%	17.7%	7.9%	5.9%	0.0%	33.3%	0.0%	40.0%	19.0%
子どもの歩行者が多い	5.4%	7.8%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%
高齢の運転者や歩行者が多い	26.3%	21.8%	12.2%	11.8%	5.9%	33.3%	25.0%	0.0%	22.2%
住宅地域に入る車が多すぎる	11.0%	7.2%	5.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	8.7%
道路が狭い	34.8%	27.6%	19.6%	17.6%	11.8%	33.3%	25.0%	40.0%	29.6%
見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い	19.7%	19.1%	10.1%	0.0%	2.9%	0.0%	25.0%	0.0%	17.5%
自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい	21.2%	19.6%	8.5%	0.0%	11.8%	0.0%	25.0%	0.0%	18.5%
道路標識や道路標示が見にくい、わかりにくい	11.3%	9.1%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	9.5%
ガードレールやカーブミラー、街路灯等の交通安全施設が足りない	19.7%	16.0%	9.0%	0.0%	2.9%	0.0%	50.0%	0.0%	16.4%
道路上に、違法駐車や放置自転車、看板などの障害物が多い	14.2%	9.5%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	20.0%	11.3%
交通ルールや安全な運転方法などを知る機会がない	4.5%	2.9%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%
その他	5.9%	4.1%	0.5%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	4.4%
特に不安に思っていることはない	2.5%	3.1%	5.3%	5.9%	14.7%	33.3%	25.0%	0.0%	3.5%

※問1の設問で「自動車」「バイク」を利用手段と回答した回答者に限定していない（全回答者の回答）

※「意識することはない」は、アンケートで「まったく意識しない」「意識することはない」「あまり意識することはない」と回答した回答者の合計

○「とても意識する」「意識することがある」「時々意識することがある」と回答した自動車やバイク利用者の回答をみると、「交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い」「交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い」「交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い」などは、「とても意識する」と回答した自動車やバイク利用者ほど回答率が高い傾向がみられる。

表 2-3-9 自動車やバイクの運転者として利用するとき交通安全上、不安に思っていること
(自動車やバイク利用者：交通安全に対する意識別)

	とても意識する (n=532)	意識することがある (n=350)	時々意識することがある (n=107)	どちらでもない (n=11)	あまり意識することはない (n=19)	意識することはない (n=1)	まったく意識しない (n=2)	未回答・不明 (n=1)	合計 (n=1023)
交通ルールやマナーを守らない歩行者が多い	32.3%	30.3%	13.1%	0.0%	5.3%	100.0%	0.0%	100.0%	28.8%
交通ルールやマナーを守らない自転車の運転者が多い	48.7%	38.3%	22.4%	18.2%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	41.3%
交通ルールやマナーを守らない自動車やバイクの運転者が多い	29.1%	24.3%	14.0%	9.1%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	25.2%
子どもの歩行者が多い	6.0%	10.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.3%
高齢の運転者や歩行者が多い	32.9%	28.3%	18.7%	18.2%	10.5%	100.0%	0.0%	0.0%	29.2%
住宅地域に入る車が多すぎる	12.8%	9.7%	9.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.0%
道路が狭い	42.1%	36.3%	30.8%	27.3%	21.1%	100.0%	0.0%	100.0%	38.4%
見通しが悪い、信号機がないなど、危険な交差点が多い	23.9%	24.9%	17.8%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	22.9%
自転車がどこを走れば良いのかわかりにくい	26.3%	25.4%	14.0%	0.0%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	24.2%
道路標識や道路標示が見にくい、わかりにくい	14.1%	11.7%	11.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
ガードレールやカーブミラー、街路灯等の交通安全施設が足りない	24.6%	21.1%	15.9%	0.0%	5.3%	0.0%	50.0%	0.0%	21.9%
道路上に、違法駐車や放置自転車、看板などの障害物が多い	17.3%	12.6%	12.1%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	14.8%
交通ルールや安全な運転方法などを知る機会がない	5.5%	4.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%
その他	7.5%	5.4%	0.9%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	6.0%
特に不安に思っていることはない	2.4%	3.1%	8.4%	0.0%	15.8%	0.0%	50.0%	0.0%	3.6%

※問1の設問で「自動車」「バイク」を利用手段と回答した回答者の回答

※「意識することはない」は、アンケートで「まったく意識しない」「意識することはない」「あまり意識することはない」と回答した回答者の合計

(9) 子どもや高齢者が道路を利用して、危ないと思う場面を見かけることがあるか（問 9）

①道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無

○子ども（概ね中学生以下）に対しては、48.7%の回答者が自転車利用時に、43.1%の回答者が徒歩の際に危ないと思う場面を見かけると回答している（危ないと思う場面としては、自転車利用時の「スピードの出し過ぎ」「歩道を走行」など、徒歩の際の「横断」「広がって歩く」などの回答があった）。

○子ども（概ね高校生）に対しては、55.7%の回答者が自転車利用時に危ないと思う場面を見かけると回答している（危ないと思う場面としては、自転車利用時の「スピードの出し過ぎ」「スマホ利用」などの回答があった）。

○高齢者に対しては、約半数の回答者が徒歩、自動車、自転車利用時に危ないと思う場面を見かけると回答している（危ないと思う場面としては、徒歩の際の「横断歩道以外での横断・横断歩道を渡り切れない等」「信号無視」など、自動車利用時の「スピードが遅い」「信号無視」など、自転車利用時の「ふらつき」「歩道の走行」などの回答があった）。

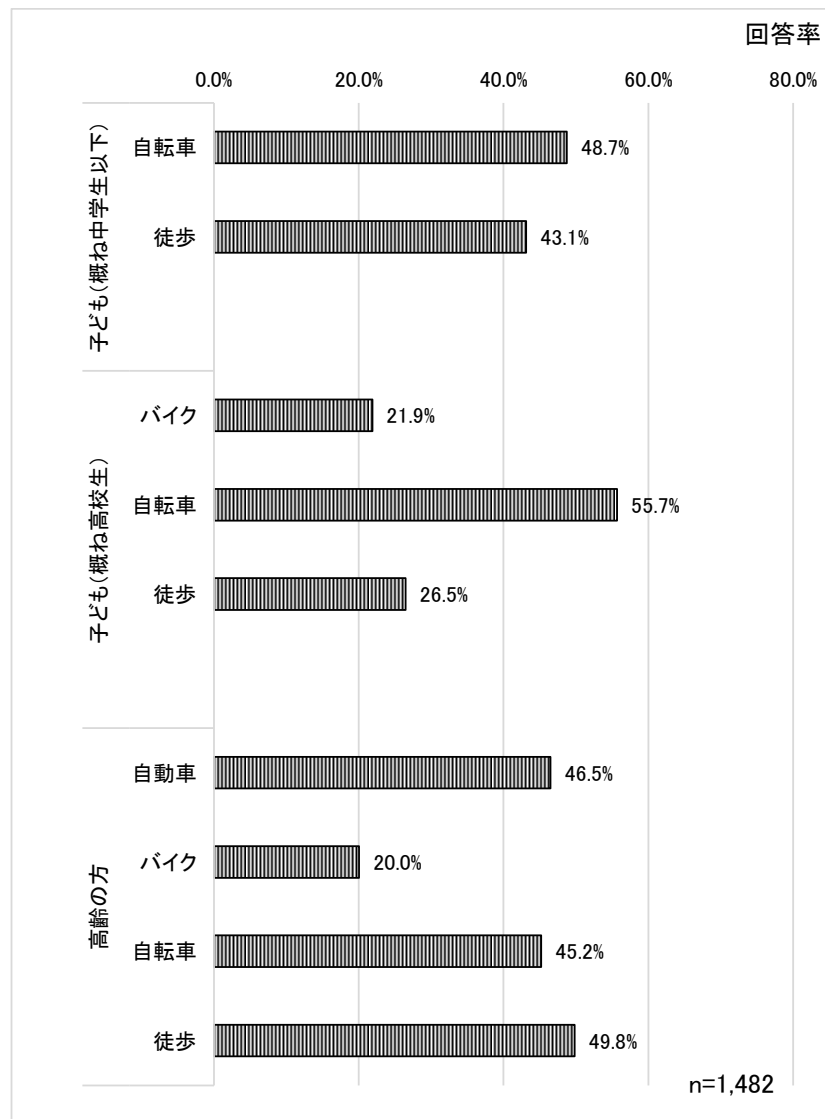


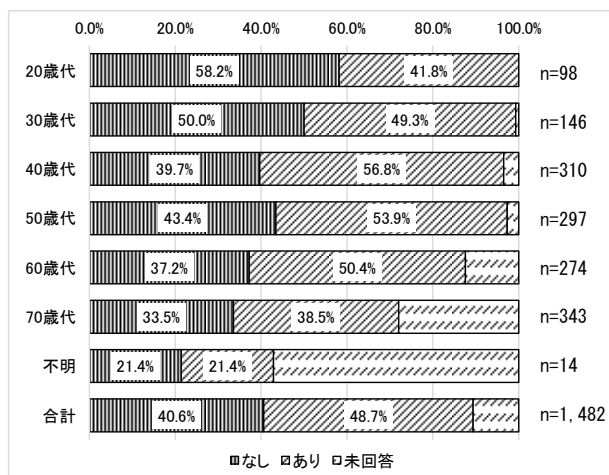
図 2-3-21 道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無（ありと回答した回答率）

②道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無（年齢階層別）

○年齢階層別にみると、40歳代、50歳代において、「なし」と比べて「あり」と回答する割合が大きい傾向がみられる。

■子ども（概ね中学生以下）の危ないと思う場面

【自転車】



【徒歩】

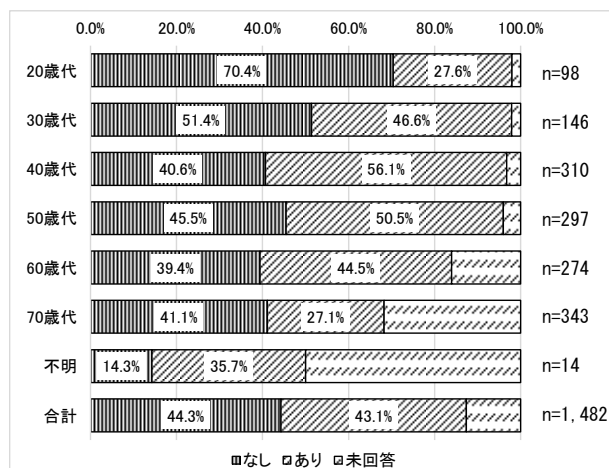
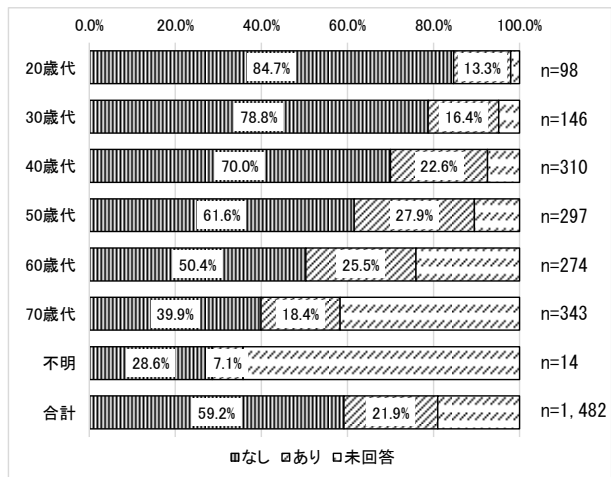


図 2-3-22 道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無（年齢階層別）

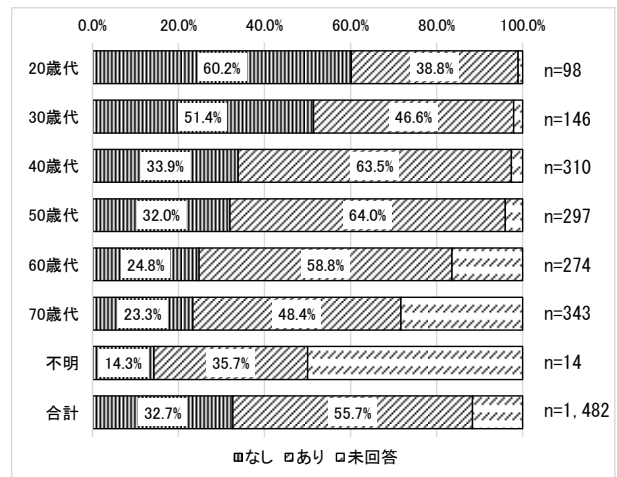
○年齢階層別にみると、バイク、自転車に関しては20歳代から50歳代において、加齢とともに「あり」と回答する割合が増加している。

■子ども（概ね高校生）の危ないと思う場面

【バイク】



【自転車】



【徒歩】

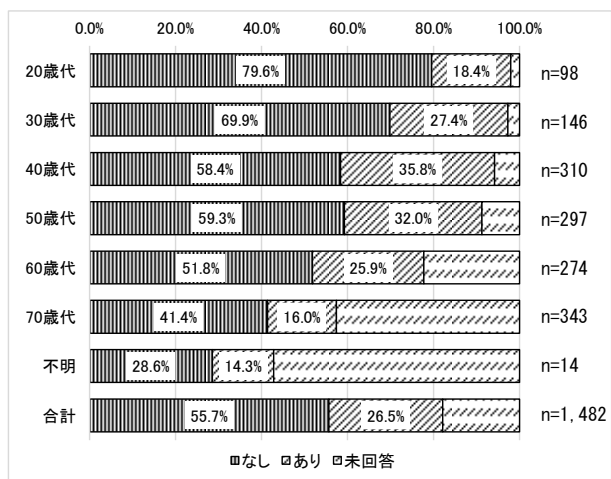
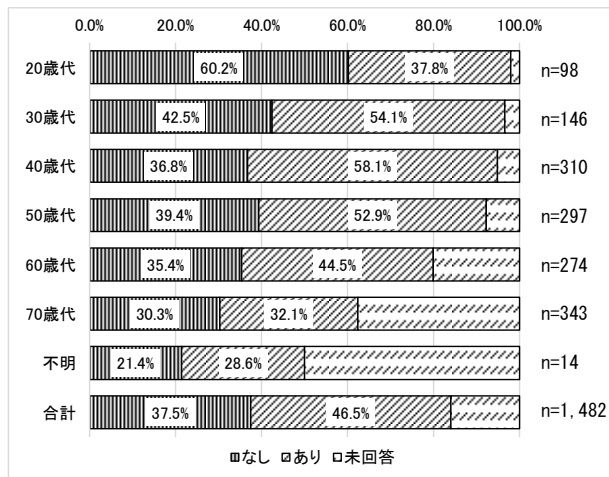


図 2-3-23 道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無（年齢階層別）

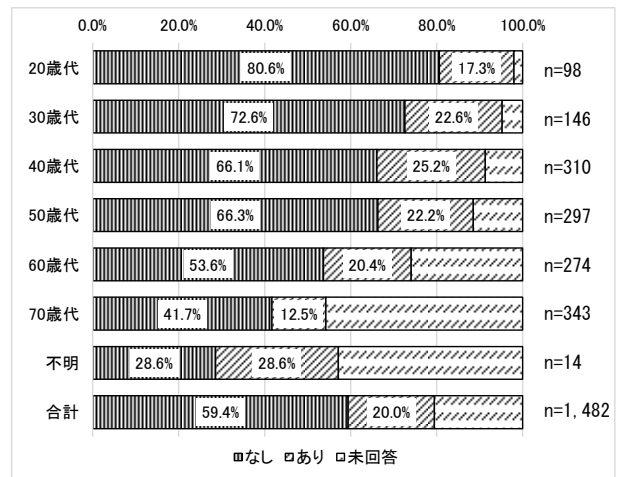
○年齢階層別にみると、自動車、バイク、自転車、徒歩に関しては、20歳代から40歳代において、加齢とともに「あり」と回答する割合が増加している。

■高齢の方の危ないと思う場面

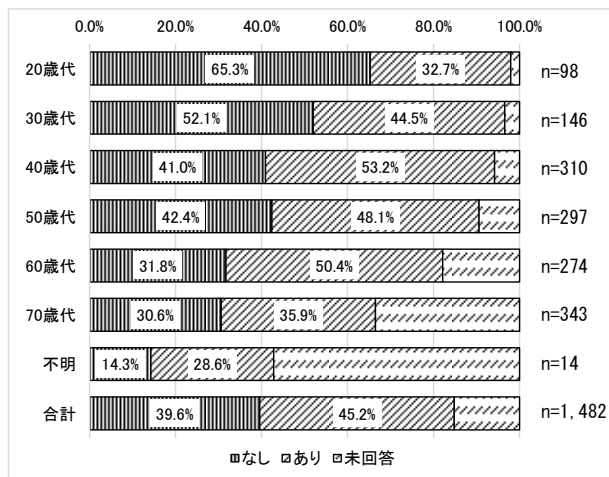
【自動車】



【バイク】



【自転車】



【徒歩】

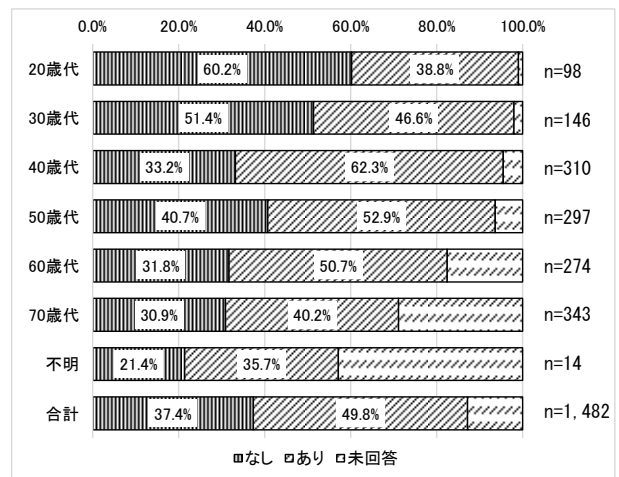


図 2-3-24 道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無（年齢階層別）

③道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無（交通安全に対する意識別）

○「とても意識する」「意識することがある」「時々意識することがある」と回答した市民の回答をみると、「高校生の自転車」「高齢者の自転車」「高齢者の自動車」など交通安全に対する意識が高い市民ほど、危ないと思う場面を見かけることがあると回答している割合が大きい傾向がみられる。

表 2-3-10 道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無
(交通安全に対する意識別)

	概ね中学生以下		概ね高校生			高齢者			
	自転車	徒歩	バイク	自転車	徒歩	自動車	バイク	自転車	徒歩
とても意識する(n=716)	55.7%	47.6%	27.0%	62.7%	28.1%	52.2%	22.2%	50.6%	53.1%
意識することがある(n=514)	45.3%	43.2%	19.6%	54.7%	28.0%	45.3%	21.2%	45.1%	48.8%
時々意識することがある(n=189)	39.7%	33.9%	13.8%	42.3%	21.7%	33.9%	11.6%	33.3%	47.1%
どちらでもない(n=17)	35.3%	23.5%	11.8%	35.3%	11.8%	29.4%	17.6%	29.4%	29.4%
あまり意識することはない(n=34)	23.5%	17.6%	5.9%	20.6%	8.8%	35.3%	8.8%	17.6%	32.4%
意識することはない(n=3)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
まったく意識しない(n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未回答・不明(n=5)	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%
合計(n=1482)	48.7%	43.1%	21.9%	55.7%	26.5%	46.5%	20.0%	45.2%	49.8%

④道路を利用して危ないと思う場面（内容）

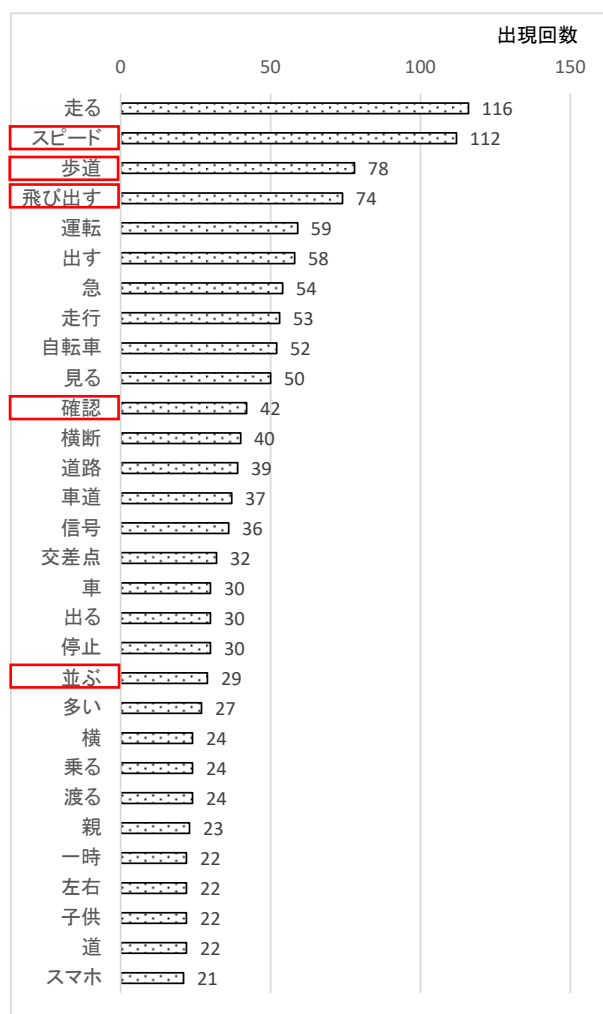
■子ども（概ね中学生以下）の危ないと思う場面

○自転車を利用している子ども（概ね中学生以下）の危ないと思う場面で交通ルールやマナーに関するものは、「スピードの出し過ぎ」「歩道を走行」「飛び出し」「左右の確認不足」「並んで走る」などの意見が多くみられる。

○歩行時の危ないと思う場面で交通ルールやマナーに関するものは、「横断」「広がって歩く」「飛び出し」などの意見が多くみられる。

■子ども（概ね中学生以下）の危ないと思う場面

【自転車】



【徒歩】

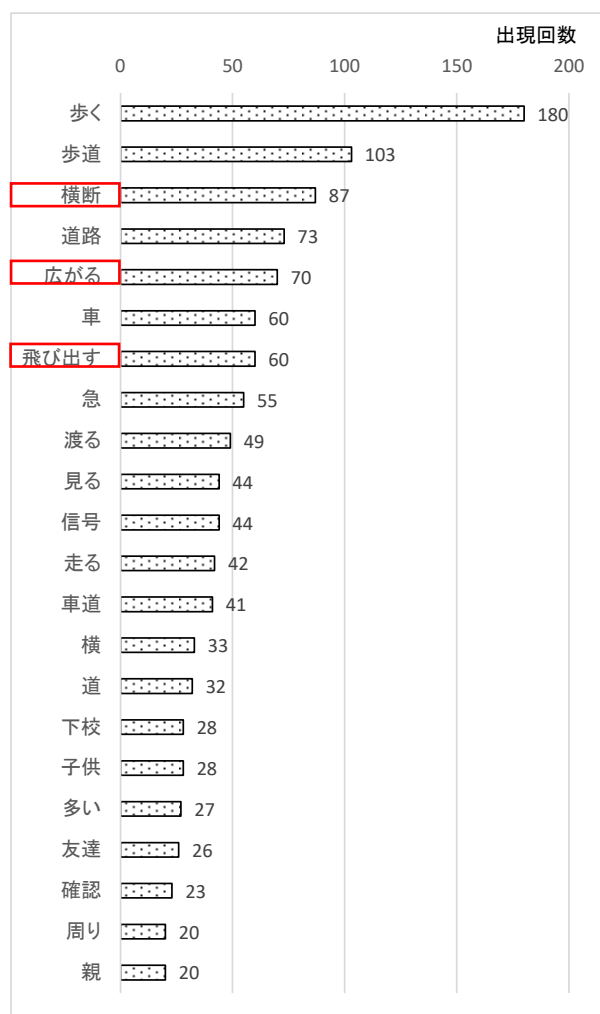


図 2-3-25 道路を利用して危ないと思う場面を見かけること【内容：単語の出現回数】

※単語の出現回数が 20 個以上を表示

■子ども（概ね高校生）の危ないと思う場面

○バイクを利用している子ども（概ね高校生）の危ないと思う場面で交通ルールやマナーに関するものは、「スピードの出し過ぎ」「信号無視」「無理なすり抜け」「ヘルメットを正しくつけていない」などの意見がみられる。

○自転車利用時の危ないと思う場面で交通ルールやマナーに関するものは、「スピードの出し過ぎ」「スマホ利用」「歩道を走行」「イヤホン利用」「信号無視」などの意見がみられる。

■子ども（概ね高校生）の危ないと思う場面

【バイク】



【自転車】

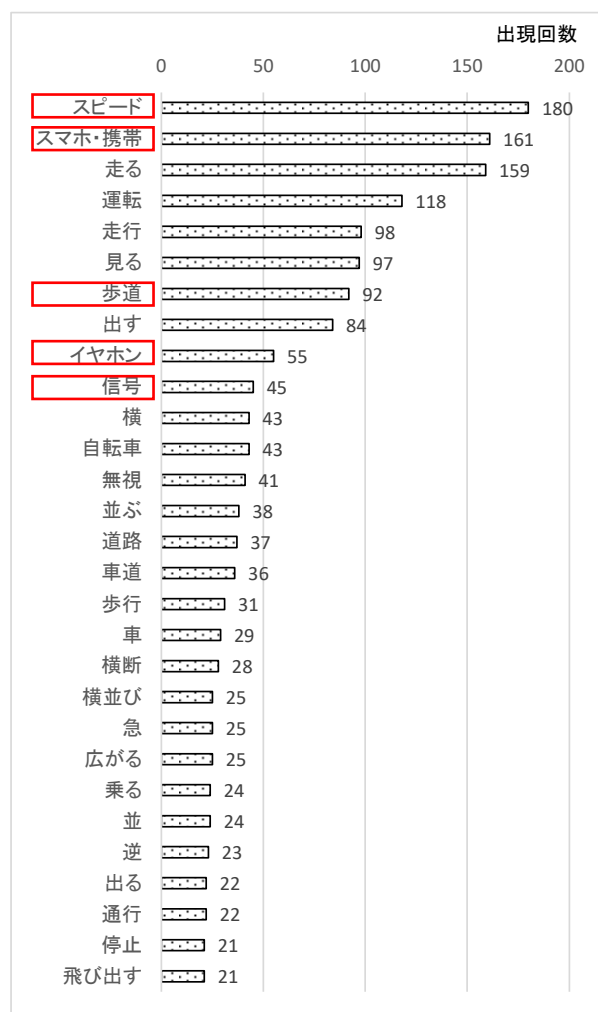


図 2-3-26 道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無【内容：単語の出現回数】

※バイクは単語の出現回数が 10 個以上を、自転車は単語の出現回数が 20 個以上を表示

■子ども（概ね高校生）の危ないと思う場面

○歩行時の危ないと思う場面で交通ルールやマナーに関するものは、「スマホ利用」「広がって歩く・並んで歩く」「横断歩道以外での横断」「イヤホン利用」などの意見がみられる。

■子ども（概ね高校生）の危ないと思う場面

【徒歩】

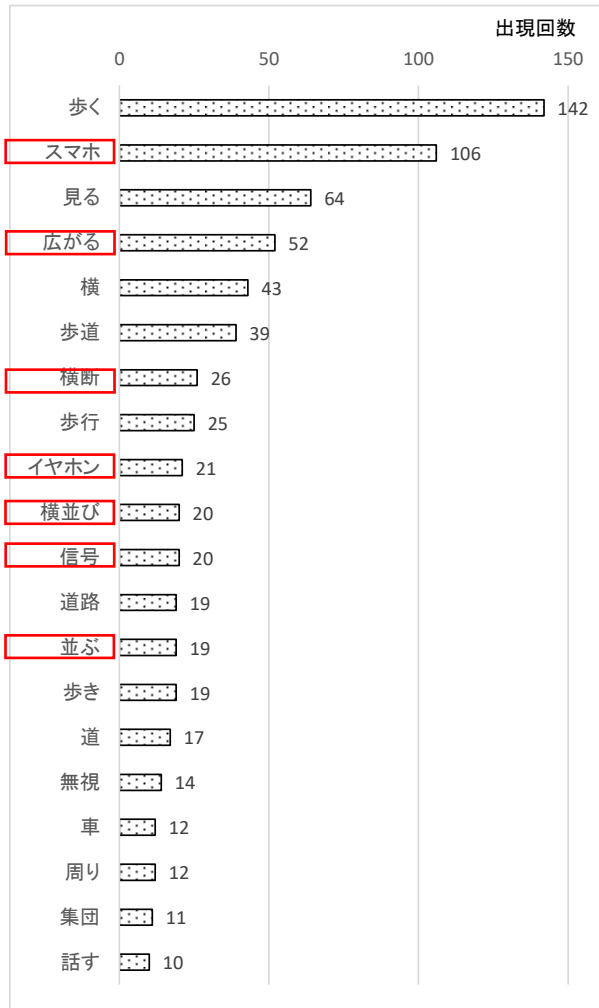


図 2-3-26 道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無【内容：単語の出現回数】

※単語の出現回数が10個以上を表示

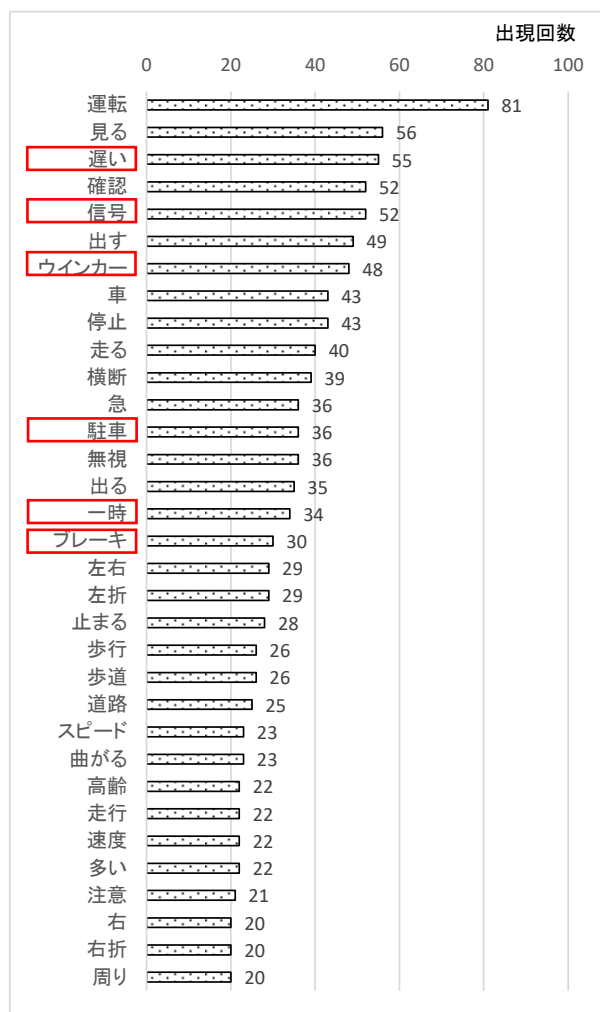
■高齢の方の危ないと思う場面

○自動車を利用している高齢者の危ないと思う場面で交通ルールやマナーに関するものは、「スピードが遅い」「信号無視」「ウインカーを出さない・消し忘れ」「駐車場などへの出入りが危ない・駐車場内での動きが危ない」「一時停止をしない」「ブレーキのタイミング・ブレーキとアクセルの踏み間違い」などの意見がみられる。

○バイク利用時の危ないと思う場面で交通ルールやマナーに関するものは、「スピードが遅い」「一時停止をしない」「確認不足」「信号無視」「急な動作」などの意見がみられる。

■高齢の方の危ないと思う場面

【自動車】



【バイク】



図 2-3-27 道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無【内容：単語の出現回数】

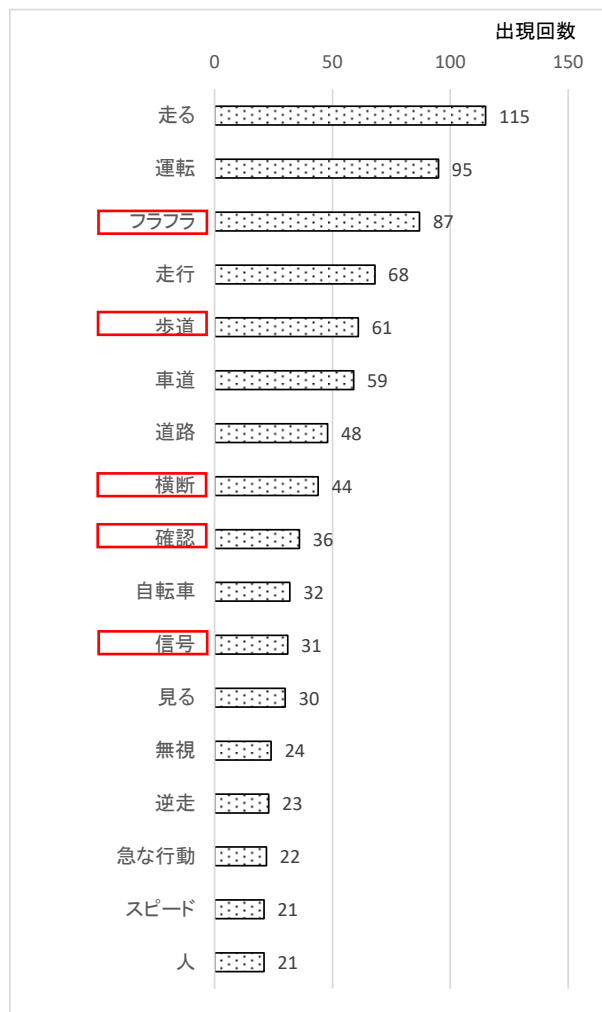
※自動車は単語の出現回数が 20 個以上を、バイクは単語の出現回数が 10 個以上を表示

■高齢の方の危ないと思う場面

- 自転車を利用している時の危ないと思う場面で交通ルールやマナーに関するものは、「ふらつき」「歩道の走行」「道路の横断」「確認不足」「信号無視」などの意見がみられる。
- 歩行時の危ないと思う場面で交通ルールやマナーに関するものは、「横断歩道以外での横断・横断歩道を渡り切れない等」「信号無視」などの意見がみられる。

■高齢の方の危ないと思う場面

【自転車】



【徒歩】

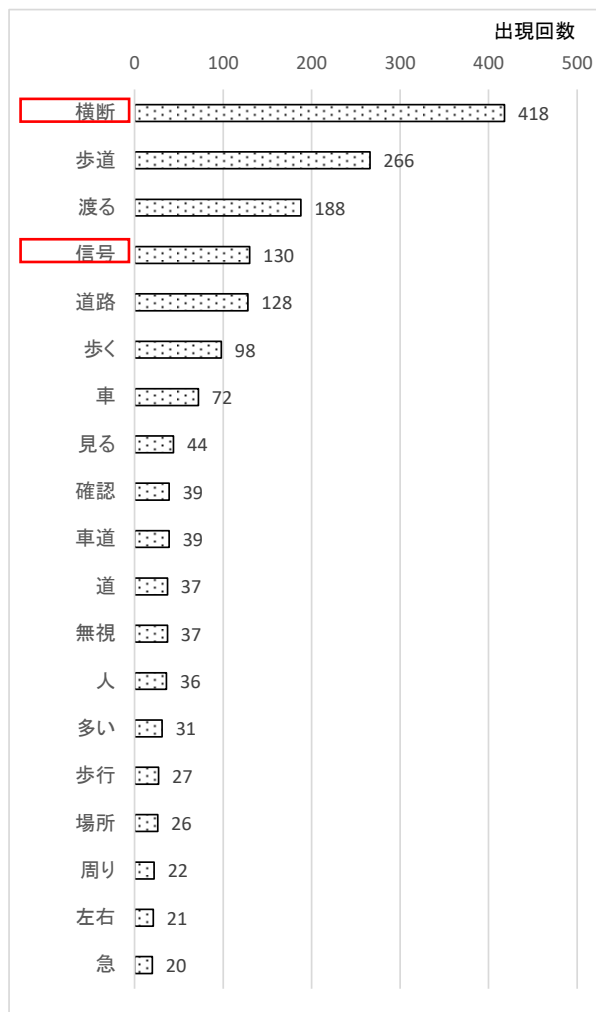


図 2-3-27 道路を利用して危ないと思う場面を見かけることの有無【内容：単語の出現回数】

※単語の出現回数が 20 個以上を表示

(10) 自身の免許の返納に関する考え（問 10）

○高齢者（65 歳以上）の 28.8%は「すでに返納した」「いずれ返納する予定がある」と回答している一方で、41.5%の高齢者（65 歳以上）が「いずれ返納するつもりだが、今のところ予定は立てていない」と回答している。

○75 歳以上の後期高齢者の 40.0%は「すでに返納した」「いずれ返納する予定がある」と回答している一方で、28.6%の高齢者（75 歳以上）は「いずれ返納するつもりだが、今のところ予定は立てていない」と回答している。

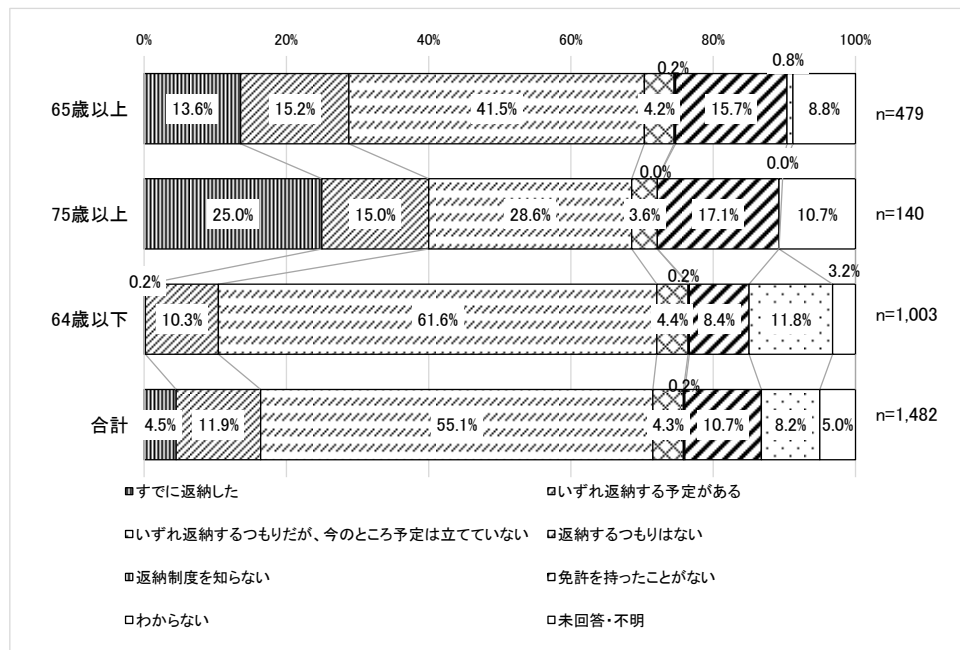


図 2-3-28 自身の免許の返納に関する考え（高齢者・非高齢者別の回答）

○交通安全に対する意識や安全に通行できていると感じている意識別では、大きな傾向はみられない。

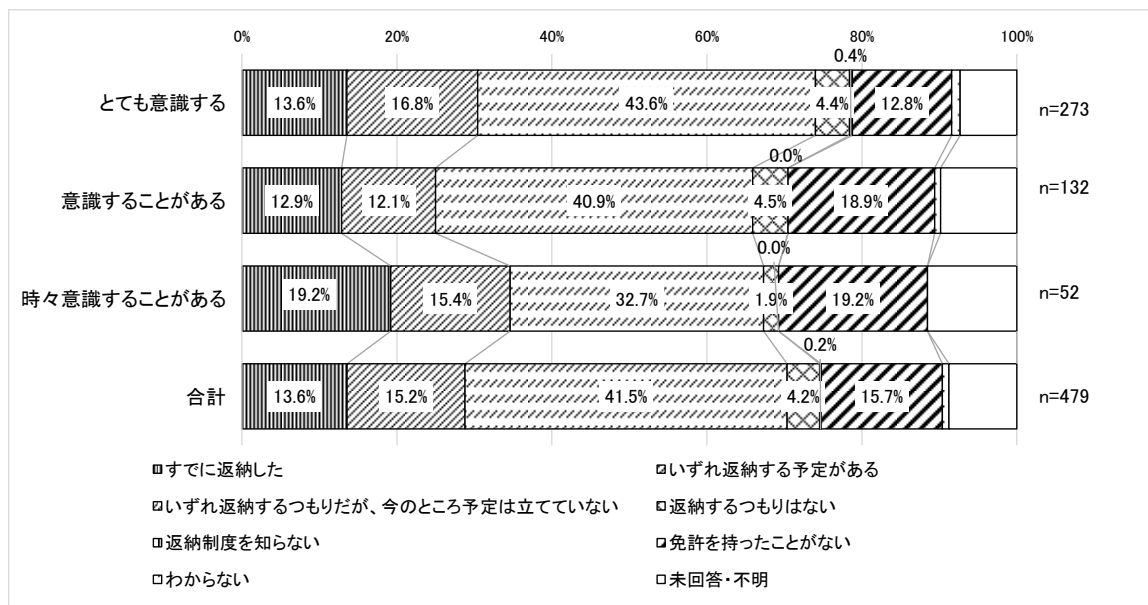


図 2-3-29 自身の免許の返納に関する考え（60 歳以上：交通安全に対する意識別）

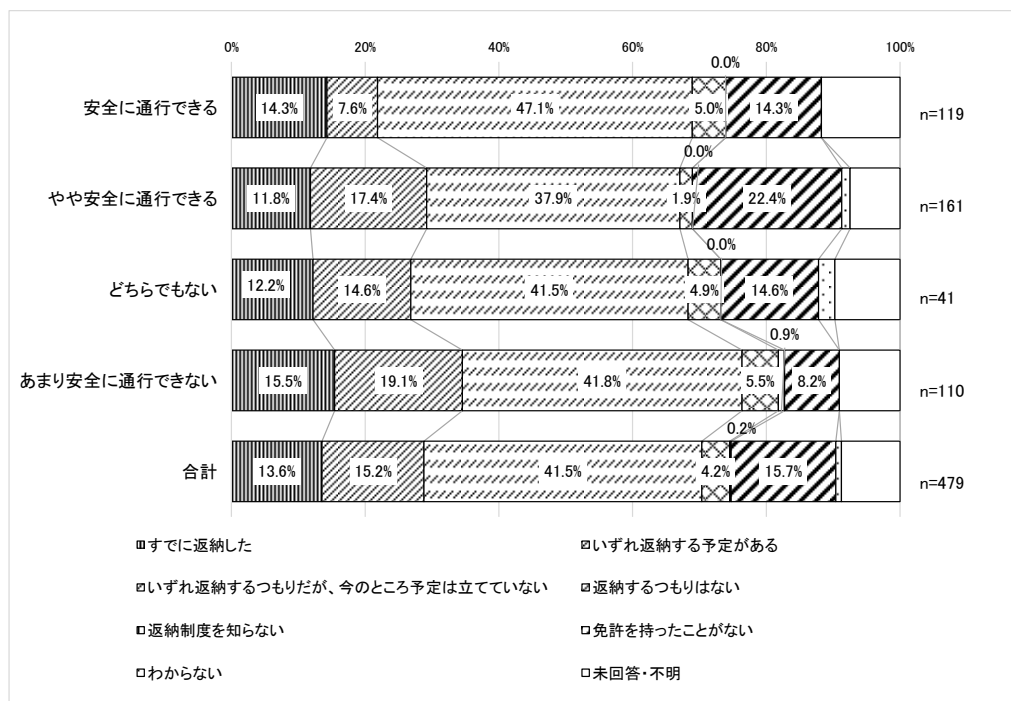


図 2-3-30 自身の免許の返納に関する考え（60 歳以上：安全に通行できていると感じている意識別）

(11) 市や警察が行う交通安全の取組のうち、以前よりも進んだと思う取組（問 11）

○進んだと思う取組としては、「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」の回答が最も多く、「市内の主要な幹線道路の整備」「自転車走行空間の整備」が続く。
○一方、進んでいないと思う取組としては、「自転車運転者の指導、取締」の回答が最も多く、「自転車走行空間の整備」「歩行空間の整備」が続く。

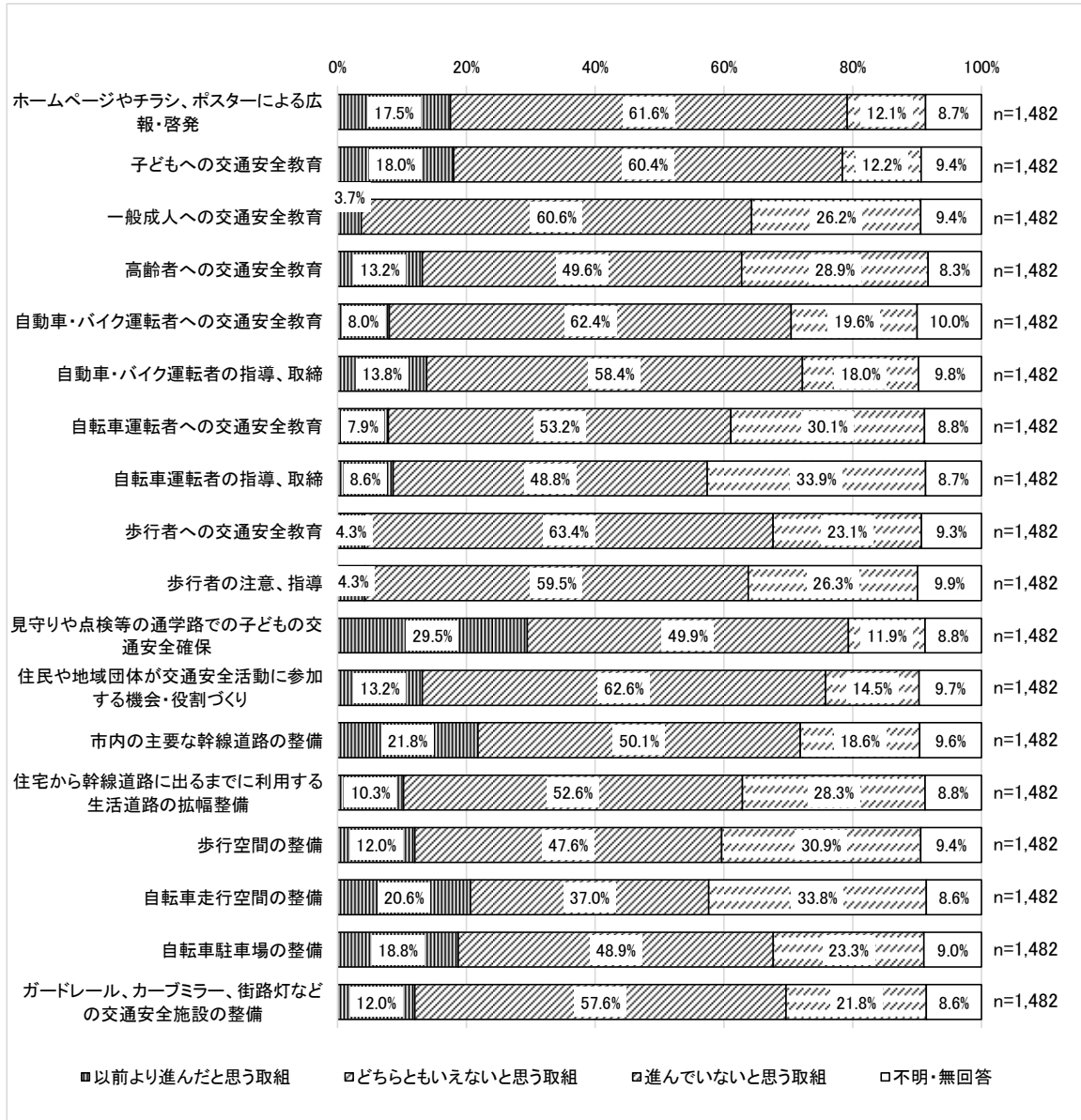


図 2-3-31 市や警察が行う交通安全の取組のうち、以前よりも進んだと思う取組

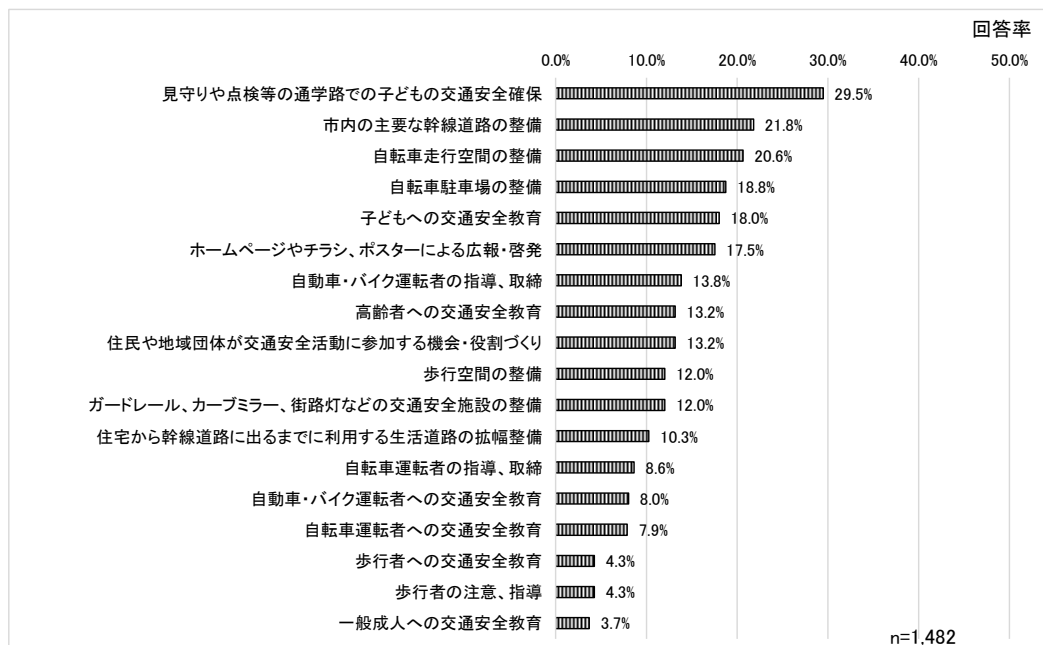


図 2-3-32 以前よりも進んだと思う取組（上位）

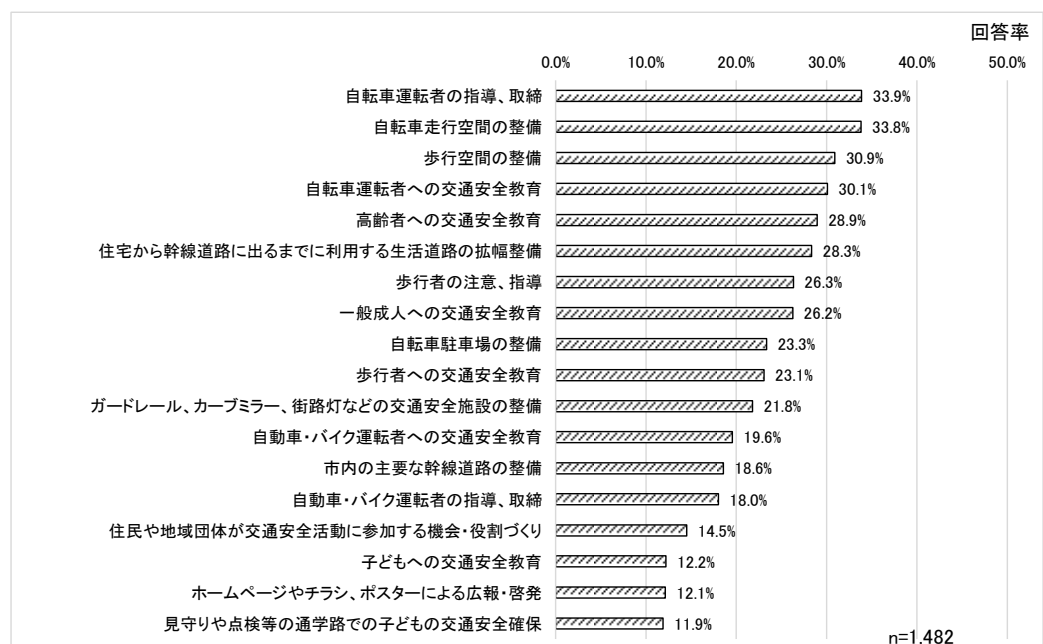


図 2-3-33 以前よりも進んでいないと思う取組（上位）

○20 歳代が進んだと思う取組としては、「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」「市内の主要な幹線道路の整備」が最も多く、「自転車走行空間の整備」が続く。
 ○一方、進んでいないと思う取組としては、「歩行者への交通安全教育」の回答が最も多く、「高齢者への交通安全教育」が続く。

【20 歳代 (n=98)】

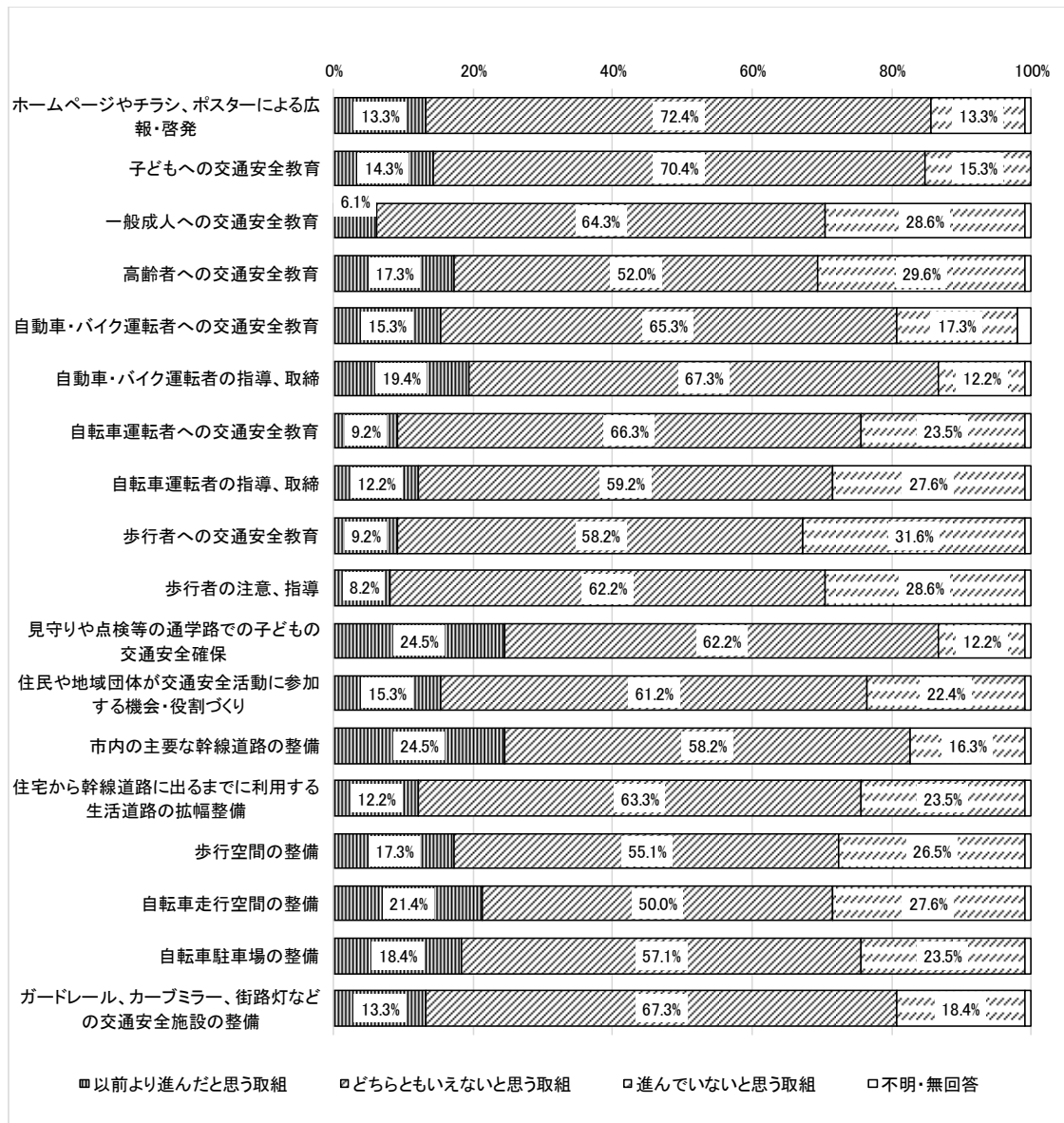


図 2-3-34 市や警察が行う交通安全の取組のうち、以前よりも進んだと思う取組

○30 歳代が進んだと思う取組としては、「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」が最も多く、「自転車走行空間の整備」「市内の主要な幹線道路の整備」が続く。
 ○一方、進んでいないと思う取組としては、「歩行空間の整備」が最も多く、「自転車走行空間の整備」「高齢者への交通安全教育」が続く。

【30 歳代 (n=146)】

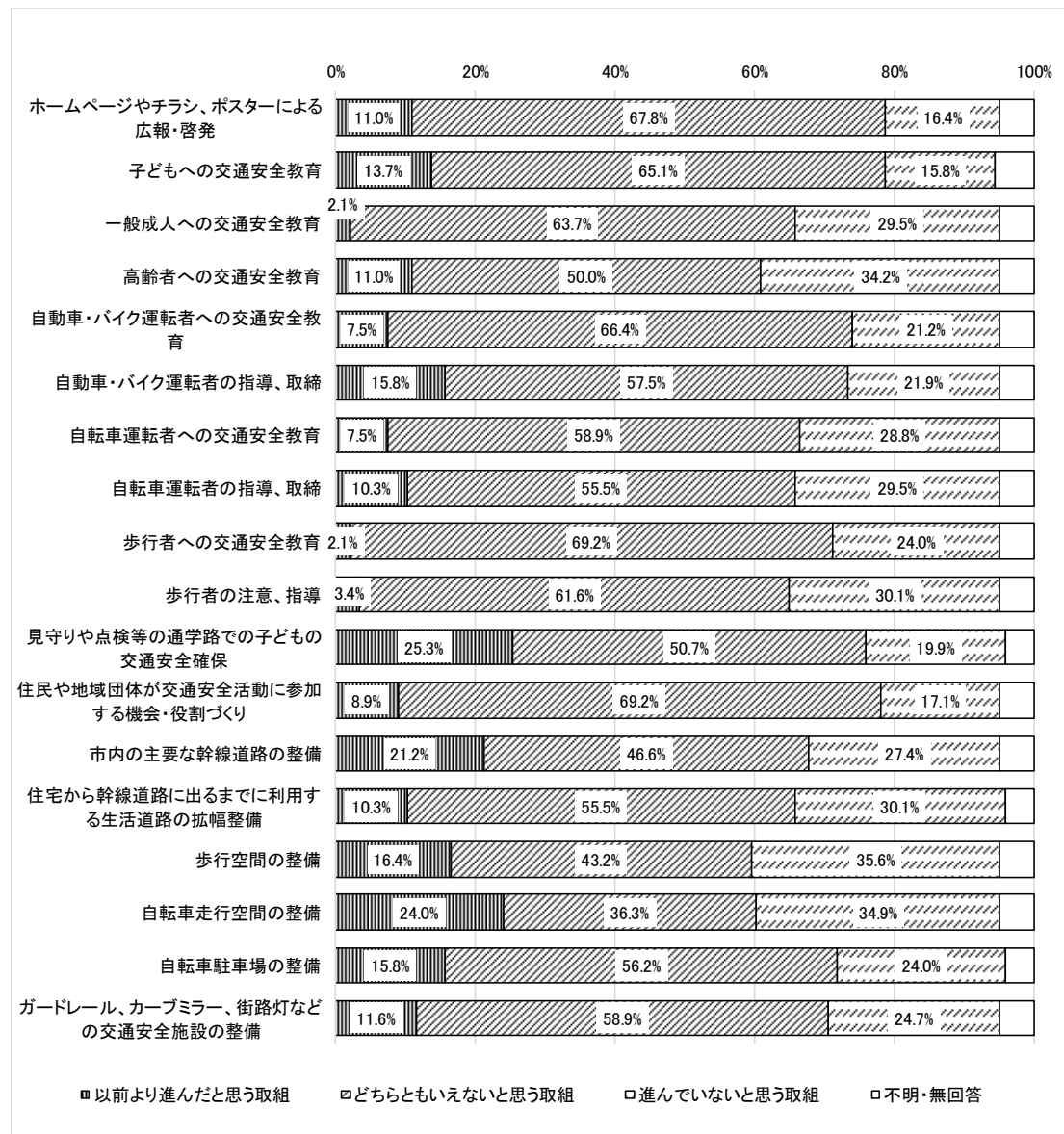


図 2-3-34 市や警察が行う交通安全の取組のうち、以前よりも進んだと思う取組

○40 歳代が進んだと思う取組としては、「自転車走行空間の整備」が最も多く、「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」「市内の主要な幹線道路の整備」が続く。

○一方、進んでいないと思う取組としては、「自転車運転者の指導、取締」が最も多く、「歩行者の注意、指導」「住宅から幹線道路に出るまでに利用する生活道路の拡幅整備」「歩行空間の整備」が続く。

【40 歳代 (n=310)】

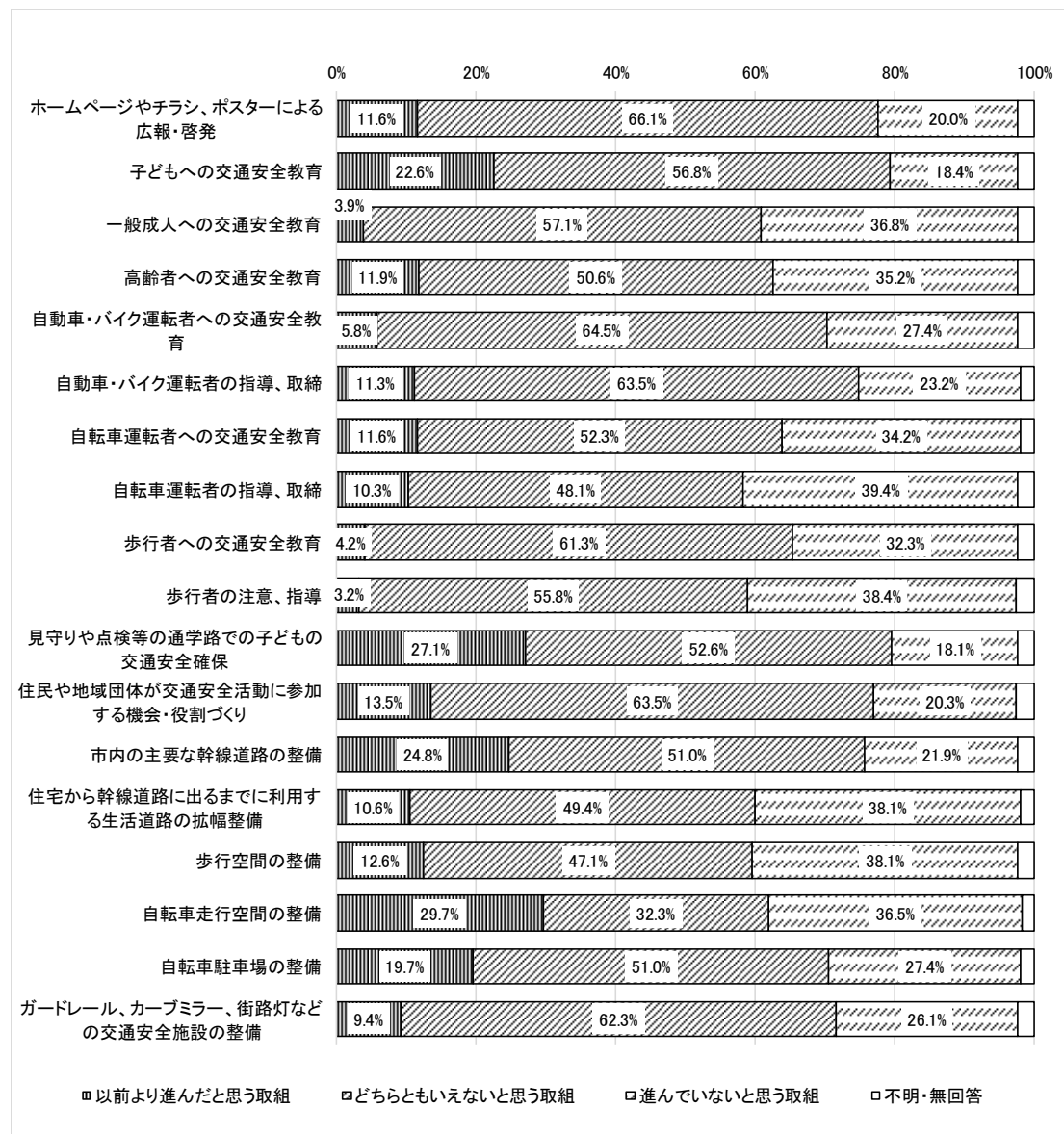


図 2-3-34 市や警察が行う交通安全の取組のうち、以前よりも進んだと思う取組

○50 歳代が進んだと思う取組としては、「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」が最も多く、「自転車走行空間の整備」「市内の主要な幹線道路の整備」が続く。
 ○一方、進んでいないと思う取組としては、「自転車運転者の指導、取締」が最も多く、「自転車運転者への交通安全教育」「歩行者の注意、指導」が続く。

【50 歳代 (n=297)】

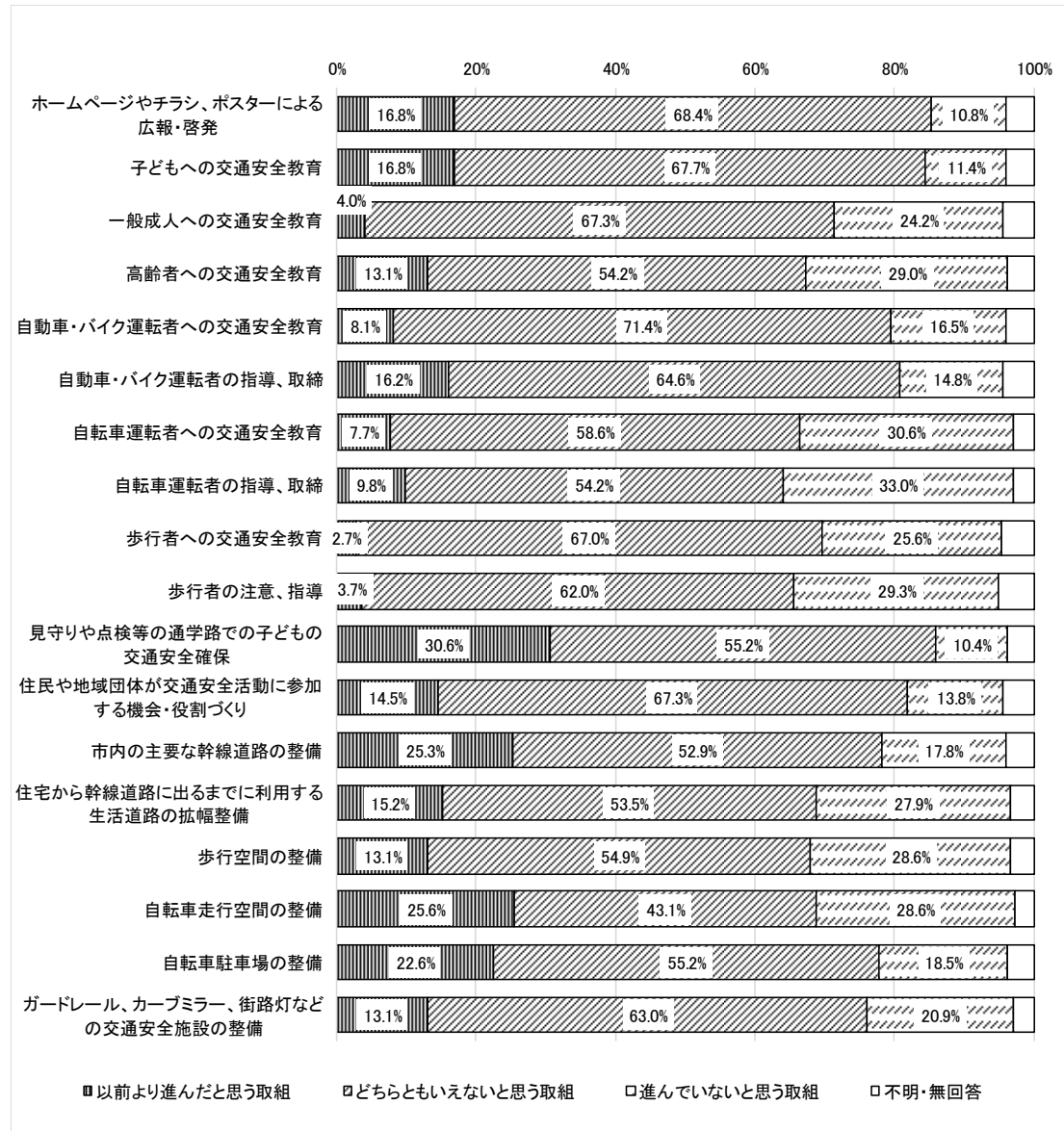


図 2-3-34 市や警察が行う交通安全の取組のうち、以前よりも進んだと思う取組

○60 歳代が進んだと思う取組としては、「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」が最も多く、「ホームページやチラシ、ポスターによる広報・啓発」「自転車駐車場の整備」が続く。

○一方、進んでいないと思う取組としては、「自転車走行空間の整備」が最も多く、「自転車運転者の指導、取締」「自転車運転者への交通安全教育」が続く。

【60 歳代 (n=274)】

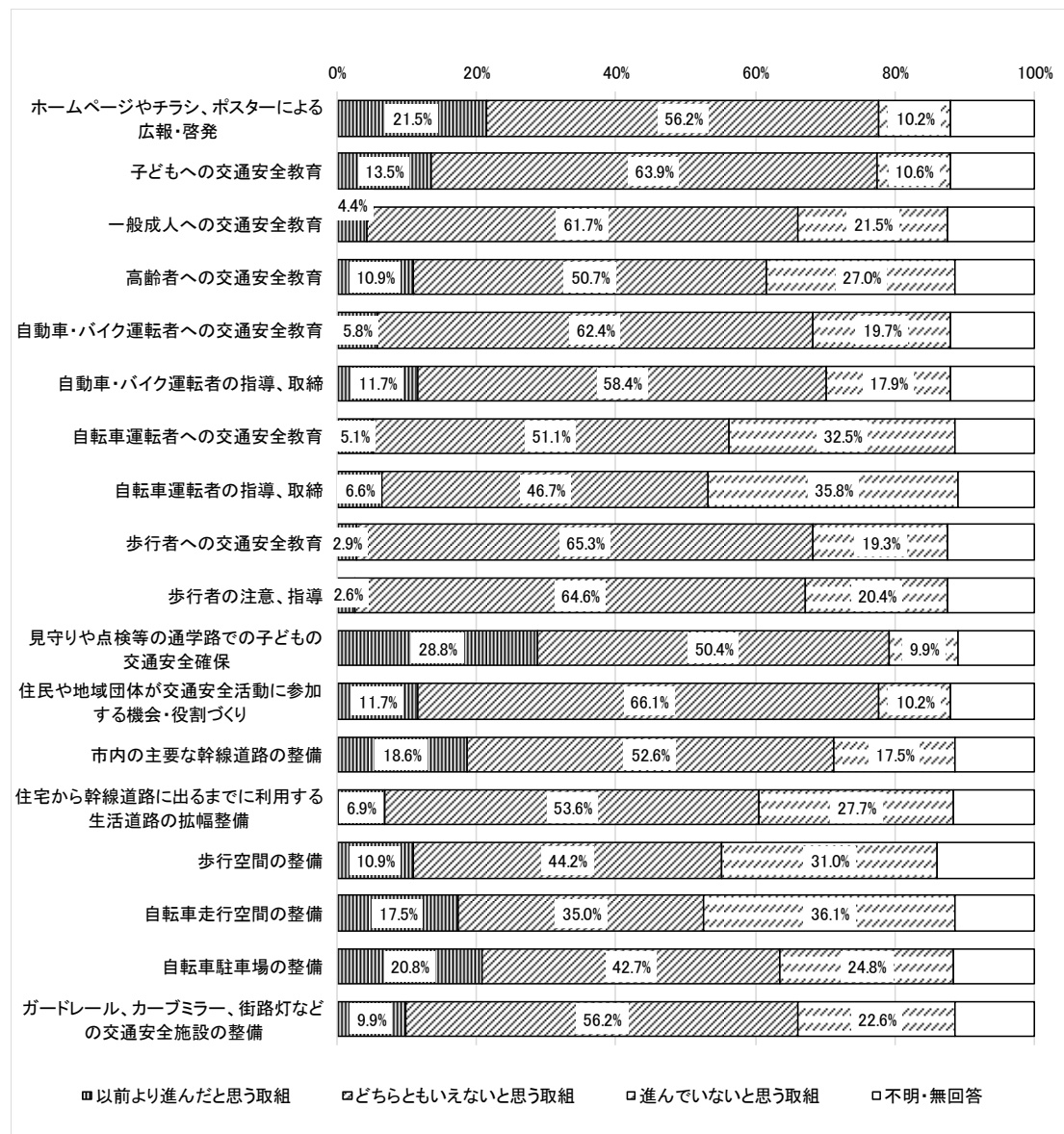


図 2-3-34 市や警察が行う交通安全の取組のうち、以前よりも進んだと思う取組

○70 歳代が進んだと思う取組としては、「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」が最も多く、「ホームページやチラシ、ポスターによる広報・啓発」「子どもへの交通安全教育」が続く。

○一方、進んでいないと思う取組としては、「自転車走行空間の整備」が最も多く、「自転車運転者の指導、取締」「自転車運転者への交通安全教育」が続く。

【70 歳代 (n=343)】

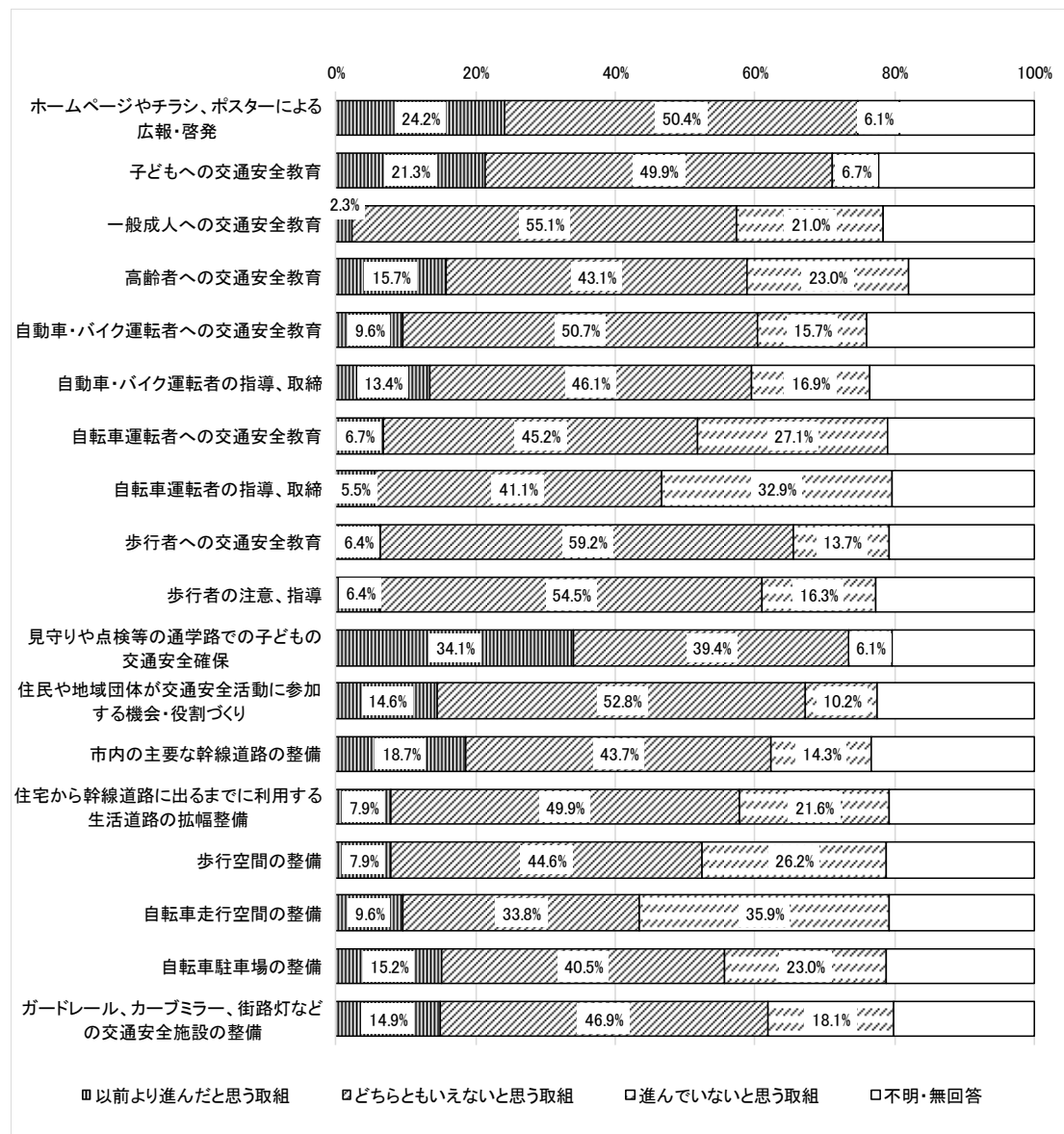


図 2-3-34 市や警察が行う交通安全の取組のうち、以前よりも進んだと思う取組

〇進んだと思う取組としては、交通安全に対する意識による大きな差異はみられない。

表 2-3-11 市や警察が行う交通安全の取組のうち、以前よりも進んだと思う取組
(交通安全に対する意識別)

	とても意識する (n=716)	意識することがある (n=514)	時々意識することがある (n=189)	どちらでもない (n=17)	あまり意識することはない (n=34)	意識することはない (n=3)	全く意識することはない (n=4)
ホームページやチラシ、ポスターによる広報・啓発	18.9%	16.9%	14.3%	29.4%	14.7%	0.0%	0.0%
子どもへの交通安全教育	18.7%	17.9%	14.8%	11.8%	23.5%	0.0%	25.0%
一般成人への交通安全教育	3.1%	4.9%	2.6%	0.0%	2.9%	0.0%	25.0%
高齢者への交通安全教育	13.5%	13.4%	12.2%	11.8%	11.8%	0.0%	0.0%
自動車・バイク運転者への交通安全教育	7.0%	9.9%	7.9%	0.0%	5.9%	0.0%	25.0%
自動車・バイク運転者の指導、取締	13.4%	14.8%	12.2%	11.8%	14.7%	0.3%	25.0%
自転車運転者への交通安全教育	7.7%	8.2%	7.4%	17.6%	5.9%	0.0%	25.0%
自転車運転者の指導、取締	8.8%	9.1%	7.4%	11.8%	2.9%	0.0%	25.0%
歩行者への交通安全教育	5.2%	4.1%	1.1%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%
歩行者の注意、指導	5.0%	4.3%	1.1%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%
見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保	30.0%	31.3%	23.3%	35.3%	23.5%	0.0%	25.0%
住民や地域団体が交通安全活動に参加する機会・役割づくり	14.0%	12.8%	12.7%	5.9%	11.8%	0.0%	0.0%
市内の主要な幹線道路の整備	20.9%	24.1%	19.6%	5.9%	29.4%	0.0%	0.0%
住宅から幹線道路に出るまでに利用する生活道路の拡幅整備	10.1%	10.3%	12.2%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
歩行空間の整備	11.5%	13.0%	12.2%	5.9%	14.7%	0.0%	0.0%
自転車走行空間の整備	20.3%	22.4%	18.5%	17.6%	20.6%	0.0%	25.0%
自転車駐車場の整備	19.6%	18.9%	17.5%	17.6%	14.7%	0.0%	0.0%
ガードレール、カーブミラー、街路灯などの交通安全施設の整備	11.9%	11.5%	13.8%	5.9%	20.6%	0.0%	0.0%

2-4. 交通安全に関する知識や学習等について

(1) 「新・町田市交通安全行動計画」の認知状況（問 12）

○95.4%の回答者が「新・町田市交通安全行動計画」を知らないと回答した。

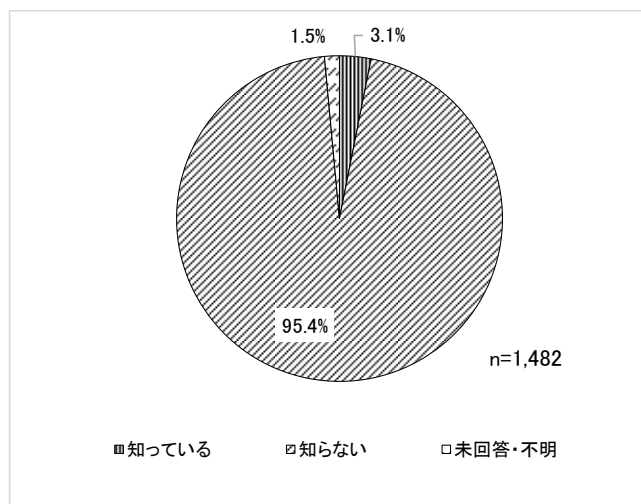


図 2-4-1 「新・町田市交通安全行動計画」の認知状況

(2) 交通安全に関する情報を何で知ることが多いか（問 13）

○交通安全に関する情報を知る手段としては、半数の回答者が「テレビやラジオ」と回答し、「東京都や市の広報紙」「警察や市が作成したチラシやポスター」が続く。

○「インターネット」「SNS」は20歳代～40歳代の回答率が高い。一方で「新聞」「東京都や市の広報紙」「警察や市が作成したチラシやポスター」は50歳代以上の回答率が高い傾向がみられる。

表 2-4-1 交通安全に関する情報を何で知ることが多いか（年齢階層別）

	20歳代 (n=98)	30歳代 (n=146)	40歳代 (n=310)	50歳代 (n=297)	60歳代 (n=274)	70歳代 (n=343)	合計 (n=1482)
テレビやラジオ	42%	51%	49%	50%	52%	48%	49%
警察や市のホームページ	8%	5%	5%	7%	8%	9%	7%
インターネット (警察や市のホームページは除く)	29%	20%	25%	16%	14%	5%	16%
SNS (フェイスブック、ツイッター等)	35%	23%	13%	9%	3%	1%	10%
新聞	4%	3%	9%	15%	23%	33%	18%
東京都や市の広報紙	12%	12%	21%	36%	40%	51%	33%
警察や市が作成したチラシやポスター	18%	25%	22%	30%	32%	46%	31%
警察や市が行う街頭キャンペーン	6%	12%	11%	9%	12%	12%	11%
地域で行われるイベント	3%	9%	4%	3%	6%	4%	5%
その他	1%	3%	7%	4%	3%	3%	4%
あてはまるものはない	16%	13%	16%	10%	11%	6%	11%

○交通安全に関する情報を知る手段としては、交通手段による大きな差異はみられない。

表 2-4-2 交通安全に関する情報を何で知ることが多いか（利用交通手段別）

	徒歩 (n=1228)	自転車 (n=293)	電動アシスト付き自転車 (n=209)	バイク (n=87)	自家用車 (n=1007)	バス (n=553)	電車 (n=823)	タクシー (n=210)	その他 (n=21)
テレビやラジオ	49%	45%	52%	48%	50%	49%	49%	48%	38%
警察や市のホームページ	7%	9%	10%	6%	7%	7%	7%	10%	19%
インターネット (警察や市のホームページは除く)	17%	17%	20%	23%	17%	16%	17%	16%	14%
SNS (フェイスブック、ツイッター等)	11%	12%	13%	7%	10%	12%	12%	11%	14%
新聞	18%	16%	13%	15%	18%	20%	18%	21%	33%
東京都や市の広報紙	33%	31%	33%	26%	33%	33%	31%	33%	24%
警察や市が作成したチラシやポスター	32%	27%	29%	18%	31%	34%	32%	33%	33%
警察や市が行う街頭キャンペーン	11%	8%	18%	5%	12%	11%	12%	11%	10%
地域で行われるイベント	5%	3%	9%	3%	5%	4%	5%	5%	5%
その他	4%	3%	5%	8%	4%	5%	4%	4%	19%
あてはまるものはない	12%	16%	8%	22%	12%	11%	12%	10%	5%

○「とても意識する」「意識することがある」「時々意識することがある」と回答した市民の回答をみると、交通安全に関する情報を知る方法としては、「東京都や市の広報紙」「新聞」「警察や市が作成したチラシやポスター」などは、「とても意識する」と回答した市民ほど回答率が高い傾向がみられる。一方、「SNS（フェイスブック、ツイッター等）」は「時々意識することがある」と回答した市民ほど回答率が高い傾向がみられる。

○「安全に通行できる」「やや安全に通行できる」「どちらでもない」「あまり安全に通行できない」と回答した市民の回答をみると、交通安全に関する情報を知る方法については、意識の違いによる回答率の違いに大きな傾向はみられない。

表 2-4-3 交通安全に関する情報を何で知ることが多いか
(交通安全に対する意識別)

	とても意識する (n=716)	意識することがある (n=514)	時々意識することがある (n=189)	どちらでもない (n=17)	あまり意識することはない (n=34)	意識することはない (n=3)	まったく意識しない (n=4)	未回答・不明 (n=5)	合計 (n=1482)
テレビやラジオ	51.1%	47.7%	50.8%	41.2%	32.4%	33.3%	0.0%	40.0%	49.1%
警察や市のホームページ	8.5%	6.8%	3.2%	5.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%
インターネット（警察や市のホームページは除く）	16.1%	16.9%	16.9%	23.5%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	16.1%
SNS（フェイスブック、ツイッター等）	8.4%	10.9%	14.3%	5.9%	2.9%	0.0%	25.0%	0.0%	9.9%
新聞	22.2%	15.2%	12.7%	5.9%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%	17.9%
東京都や市の広報紙	38.1%	29.2%	27.5%	17.6%	26.5%	33.3%	0.0%	40.0%	33.1%
警察や市が作成したチラシやポスター	33.8%	30.4%	24.9%	23.5%	26.5%	0.0%	0.0%	40.0%	31.0%
警察や市が行う街頭キャンペーン	12.2%	11.1%	6.9%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	20.0%	10.9%
地域で行われるイベント	4.5%	5.4%	3.7%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%
その他	4.7%	3.5%	4.2%	0.0%	2.9%	33.3%	0.0%	0.0%	4.2%
あてはまるものはない	9.2%	12.6%	12.7%	5.9%	17.6%	33.3%	75.0%	0.0%	11.2%

表 2-4-4 交通安全に関する情報を何で知ることが多いか
(安全に通行できていると感じている意識別)

	とても安全に通行できる (n=27)	安全に通行できる (n=333)	やや安全に通行できる (n=509)	どちらでもない (n=195)	あまり安全に通行できない (n=317)	安全に通行できない (n=44)	まったく安全に通行できない (n=27)	未回答・不明 (n=30)	合計 (n=1482)
テレビやラジオ	55.6%	51.1%	52.3%	43.1%	46.4%	47.7%	40.7%	46.7%	49.1%
警察や市のホームページ	7.4%	6.9%	7.7%	2.6%	8.5%	6.8%	11.1%	6.7%	7.0%
インターネット（警察や市のホームページは除く）	25.9%	18.9%	14.7%	15.9%	14.5%	15.9%	18.5%	16.7%	16.1%
SNS（フェイスブック、ツイッター等）	14.8%	9.6%	10.0%	13.3%	9.1%	4.5%	3.7%	3.3%	9.9%
新聞	18.5%	22.5%	17.1%	11.8%	15.8%	25.0%	25.9%	23.3%	17.9%
東京都や市の広報紙	25.9%	34.8%	39.5%	17.4%	30.0%	36.4%	37.0%	36.7%	33.1%
警察や市が作成したチラシやポスター	33.3%	35.1%	36.7%	22.6%	26.2%	18.2%	14.8%	26.7%	31.0%
警察や市が行う街頭キャンペーン	14.8%	11.1%	11.8%	12.3%	10.1%	9.1%	0.0%	3.3%	10.9%
地域で行われるイベント	11.1%	5.7%	3.9%	4.1%	5.0%	2.3%	3.7%	3.3%	4.7%
その他	0.0%	3.0%	3.7%	6.2%	6.0%	2.3%	3.7%	0.0%	4.2%
あてはまるものはない	11.1%	8.4%	9.2%	18.5%	11.7%	18.2%	18.5%	6.7%	11.2%

(3) どのような方法で、交通ルールやマナーを知ることが有効だと思うか（問 14）

○交通ルールやマナーを知るために有効な方法としては、20 歳代は「SNS」、20 歳代以外の年齢階層では「テレビやラジオ」が最も多い。
○次いで、20 歳代は「テレビやラジオ」、30 歳代は「SNS」、40 歳代は「インターネット」、50 歳代～70 歳代は「東京都や市の広報紙」の回答率が高い。

表 2-4-5 交通ルールやマナーを知るために有効な方法（年齢階層別）

	20歳代 (n=98)	30歳代 (n=146)	40歳代 (n=310)	50歳代 (n=297)	60歳代 (n=274)	70歳代 (n=343)	合計 (n=1482)
テレビやラジオ	61%	60%	59%	63%	53%	53%	57%
警察や市のホームページ	13%	7%	9%	14%	11%	9%	11%
インターネット (警察や市のホームページは除く)	43%	27%	39%	29%	20%	8%	25%
SNS (フェイスブック、ツイッター等)	65%	55%	36%	26%	10%	5%	26%
新聞	11%	12%	16%	19%	25%	29%	21%
東京都や市の広報紙	10%	14%	22%	36%	41%	50%	34%
警察や市が作成したチラシやポスター	22%	27%	22%	30%	33%	48%	32%
警察や市が行う街頭キャンペーン	16%	21%	26%	29%	24%	27%	26%
地域で行われるイベント	10%	30%	23%	26%	21%	22%	23%
その他	3%	9%	10%	10%	5%	4%	7%
あてはまるものはない	1%	3%	3%	4%	4%	3%	3%

○交通安全に関する情報を知る手段として有効な方法としては、交通手段による大きな差異はみられない。

表 2-4-6 交通ルールやマナーを知るために有効な方法（利用交通手段別）

	徒歩 (n=1228)	自転車 (n=293)	電動アシスト付き自転車 (n=209)	バイク (n=87)	自家用車 (n=1007)	バス (n=553)	電車 (n=823)	タクシー (n=210)	その他 (n=21)
テレビやラジオ	57%	56%	59%	59%	60%	56%	57%	52%	57%
警察や市のホームページ	11%	10%	11%	6%	10%	11%	11%	14%	10%
インターネット (警察や市のホームページは除く)	27%	29%	31%	34%	27%	25%	29%	22%	14%
SNS (フェイスブック、ツイッター等)	28%	28%	33%	29%	26%	26%	30%	24%	43%
新聞	21%	17%	19%	17%	20%	22%	20%	23%	24%
東京都や市の広報紙	34%	31%	32%	26%	34%	34%	33%	31%	29%
警察や市が作成したチラシやポスター	33%	28%	29%	15%	32%	37%	33%	36%	29%
警察や市が行う街頭キャンペーン	27%	27%	26%	14%	26%	28%	28%	25%	29%
地域で行われるイベント	23%	27%	28%	15%	25%	20%	22%	20%	24%
その他	7%	5%	6%	11%	8%	7%	7%	6%	10%
あてはまるものはない	3%	2%	3%	5%	3%	3%	4%	6%	0%

○「とても意識する」「意識することがある」「時々意識することがある」と回答した市民の回答をみると、交通ルールやマナーを知るために有効な方法としては、「新聞」「東京都や市の広報紙」「警察や市が作成したチラシやポスター」などは、「とても意識する」と回答した市民ほど回答率が高い傾向がみられる。一方、「SNS（フェイスブック、ツイッター等）」は「時々意識することがある」と回答した市民ほど回答率が高い傾向がみられる。

○「安全に通行できる」「やや安全に通行できる」「どちらでもない」「あまり安全に通行できない」と回答した市民の回答をみると、交通ルールやマナーを知るために有効な方法については、意識の違いによる回答率の違いに大きな傾向はみられない。

表 2-4-7 交通ルールやマナーを知るために有効な方法（交通安全に対する意識別）

	とても意識する (n=716)	意識することがある (n=514)	時々意識することがある (n=189)	どちらでもない (n=17)	あまり意識することはない (n=34)	意識することはない (n=3)	まったく意識しない (n=4)	未回答・不明 (n=5)	合計 (n=1482)
テレビやラジオ	58.4%	57.4%	57.1%	52.9%	41.2%	66.7%	50.0%	60.0%	57.4%
警察や市のホームページ	12.3%	9.9%	7.9%	5.9%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%	10.7%
インターネット（警察や市のホームページは除く）	24.2%	27.6%	23.3%	41.2%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
SNS（フェイスブック、ツイッター等）	22.6%	28.4%	30.7%	29.4%	20.6%	0.0%	25.0%	0.0%	25.6%
新聞	23.5%	19.5%	15.9%	11.8%	5.9%	0.0%	25.0%	20.0%	20.5%
東京都や市の広報紙	36.5%	33.5%	30.2%	11.8%	17.6%	0.0%	0.0%	20.0%	33.7%
警察や市が作成したチラシやポスター	33.8%	33.7%	27.5%	5.9%	14.7%	33.3%	0.0%	60.0%	32.2%
警察や市が行う街頭キャンペーン	27.1%	27.2%	20.6%	5.9%	14.7%	0.0%	0.0%	20.0%	25.6%
地域で行われるイベント	23.9%	24.1%	16.4%	11.8%	26.5%	0.0%	0.0%	20.0%	22.8%
その他	8.7%	7.0%	3.7%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	7.2%
あてはまるものはない	2.5%	3.3%	5.8%	0.0%	8.8%	33.3%	0.0%	20.0%	3.4%

表 2-4-8 交通ルールやマナーを知るために有効な方法
（安全に通行できていると感じている意識別）

	とても安全に通行できる (n=27)	安全に通行できる (n=333)	やや安全に通行できる (n=509)	どちらでもない (n=195)	あまり安全に通行できない (n=317)	安全に通行できない (n=44)	まったく安全に通行できない (n=27)	未回答・不明 (n=2)	合計 (n=28)
テレビやラジオ	51.9%	58.9%	58.5%	60.5%	53.9%	59.1%	48.1%	100.0%	46.4%
警察や市のホームページ	11.1%	12.9%	11.0%	8.7%	7.9%	18.2%	3.7%	0.0%	17.9%
インターネット（警察や市のホームページは除く）	25.9%	24.0%	24.0%	32.3%	24.6%	22.7%	22.2%	0.0%	14.3%
SNS（フェイスブック、ツイッター等）	25.9%	25.5%	24.4%	32.8%	25.6%	22.7%	14.8%	0.0%	14.3%
新聞	11.1%	23.1%	21.6%	19.5%	16.4%	27.3%	14.8%	0.0%	28.6%
東京都や市の広報紙	22.2%	35.7%	39.5%	26.2%	27.8%	31.8%	33.3%	100.0%	32.1%
警察や市が作成したチラシやポスター	33.3%	36.6%	36.3%	26.7%	24.3%	20.5%	33.3%	100.0%	42.9%
警察や市が行う街頭キャンペーン	18.5%	28.8%	26.9%	19.5%	24.6%	29.5%	25.9%	0.0%	21.4%
地域で行われるイベント	18.5%	24.9%	22.6%	19.5%	24.3%	20.5%	22.2%	0.0%	17.9%
その他	3.7%	4.5%	7.1%	6.2%	11.4%	15.9%	0.0%	0.0%	0.0%
あてはまるものはない	0.0%	1.5%	2.9%	6.2%	4.4%	2.3%	7.4%	0.0%	7.1%

(4) 知っている交通ルール（問 15）

○「保護者は13歳未満の子どもにヘルメットをかぶらせること」の認知が最も低く、「自転車損害賠償保険等」に加入しなければならない」、「自転車で歩道を通行する場合は、歩行者優先で、車道寄りを徐行しなければならない」が続く。

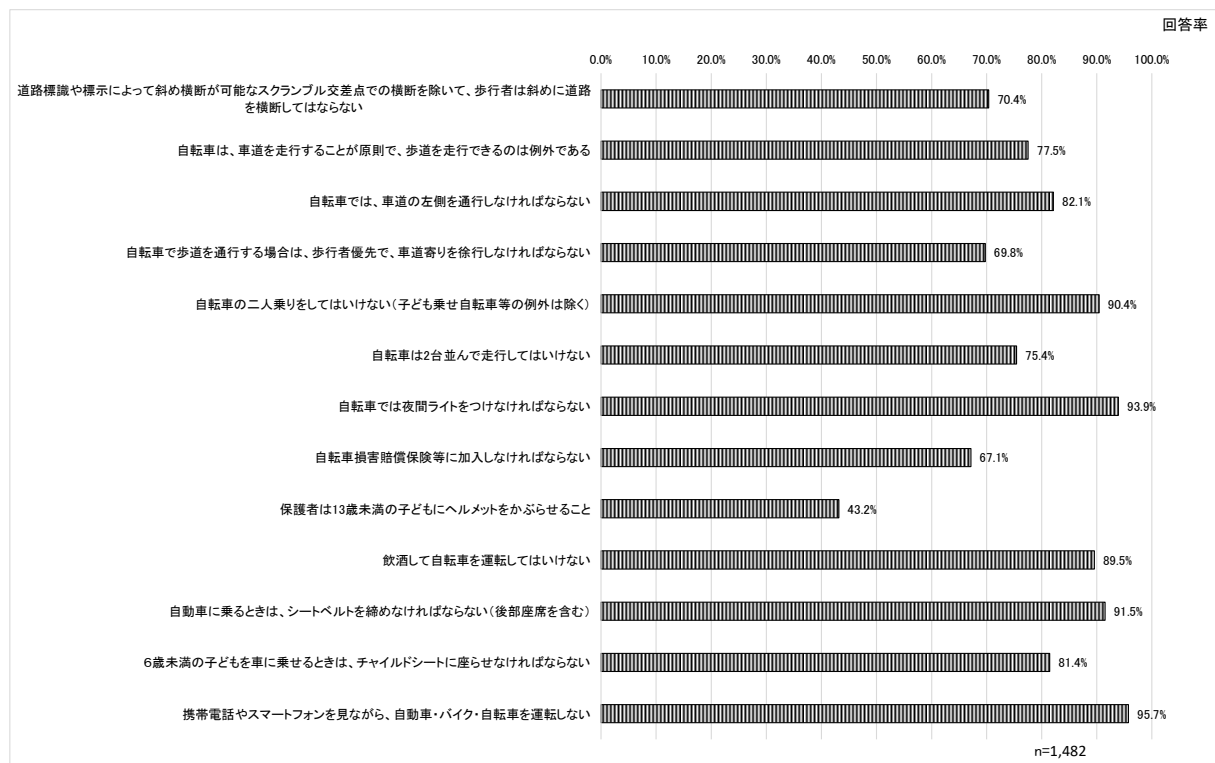


図 2-4-2 知っている交通ルール

○「とても意識する」「意識することがある」「時々意識することがある」と回答した市民の回答をみると、知っている交通ルールとしては「保護者は13歳未満の子どもにヘルメットをかぶらせること」「道路標識や標示によって斜め横断が可能なスクランブル交差点での横断を除いて、歩行者は斜めに道路を横断してはならない」「自転車では、車道の左側を通行しなければならない」などは、「とても意識する」と回答した市民ほど回答率が高い傾向がみられる。

表 2-4-9 知っている交通ルール（交通安全に対する意識別）

	とても意識する (n=716)	意識することがある (n=514)	時々意識することがある (n=189)	どちらでもない (n=17)	あまり意識することはない (n=34)	意識することはない (n=3)	まったく意識しない (n=4)	未回答・不明 (n=5)	合計 (n=1482)
道路標識や標示によって斜め横断が可能なスクランブル交差点での横断を除いて、歩行者は斜めに道路を横断してはならない	75.0%	68.7%	63.0%	52.9%	50.0%	66.7%	75.0%	60.0%	70.4%
自転車は、車道を走行することが原則で、歩道を走行できるのは例外である	78.8%	76.7%	77.8%	70.6%	73.5%	66.7%	50.0%	60.0%	77.5%
自転車では、車道の左側を通行しなければならない	84.1%	83.3%	74.1%	76.5%	70.6%	100.0%	75.0%	80.0%	82.1%
自転車では歩道を通行する場合は、歩行者優先で、車道寄りを徐行しなければならない	71.1%	70.0%	66.7%	76.5%	47.1%	66.7%	100.0%	80.0%	69.8%
自転車の二人乗りをしてはいけない（子ども乗せ自転車等の例外は除く）	89.9%	91.2%	90.5%	88.2%	85.3%	100.0%	100.0%	100.0%	90.4%
自転車は2台並んで走行してはいけない	78.8%	73.9%	72.5%	64.7%	50.0%	33.3%	100.0%	80.0%	75.4%
自転車では夜間ライトをつけなければならない	93.6%	94.7%	95.8%	88.2%	82.4%	100.0%	100.0%	80.0%	93.9%
自転車損害賠償保険等に参加しなければならない	71.6%	64.8%	64.0%	41.2%	38.2%	33.3%	100.0%	60.0%	67.1%
保護者は13歳未満の子どもにヘルメットをかぶらせること	48.6%	41.1%	33.3%	23.5%	32.4%	0.0%	50.0%	20.0%	43.2%
飲酒して自転車を運転してはいけない	90.9%	89.5%	87.8%	88.2%	70.6%	100.0%	100.0%	80.0%	89.5%
自動車に乗るときは、シートベルトを締めなければならない（後部座席を含む）	93.0%	90.3%	92.1%	94.1%	76.5%	100.0%	100.0%	60.0%	91.5%
6歳未満の子どもを車に乗せるときは、チャイルドシートに座らせなければならない	84.5%	81.1%	79.4%	70.6%	50.0%	33.3%	75.0%	40.0%	81.4%
携帯電話やスマートフォンを見ながら、自動車・バイク・自転車を運転しない	97.1%	96.3%	94.2%	94.1%	76.5%	100.0%	75.0%	60.0%	95.7%

(5) 今後、市や警察が行う交通安全の取組について重要だと思うもの（問 16）

○「高齢者への交通安全教育」が最も多く、「子どもへの交通安全教育」や「自転車運転者への交通安全教育」「自転車運転者の指導、取締」といった自転車利用者の交通安全ルールへの遵守に対する取組が続く。

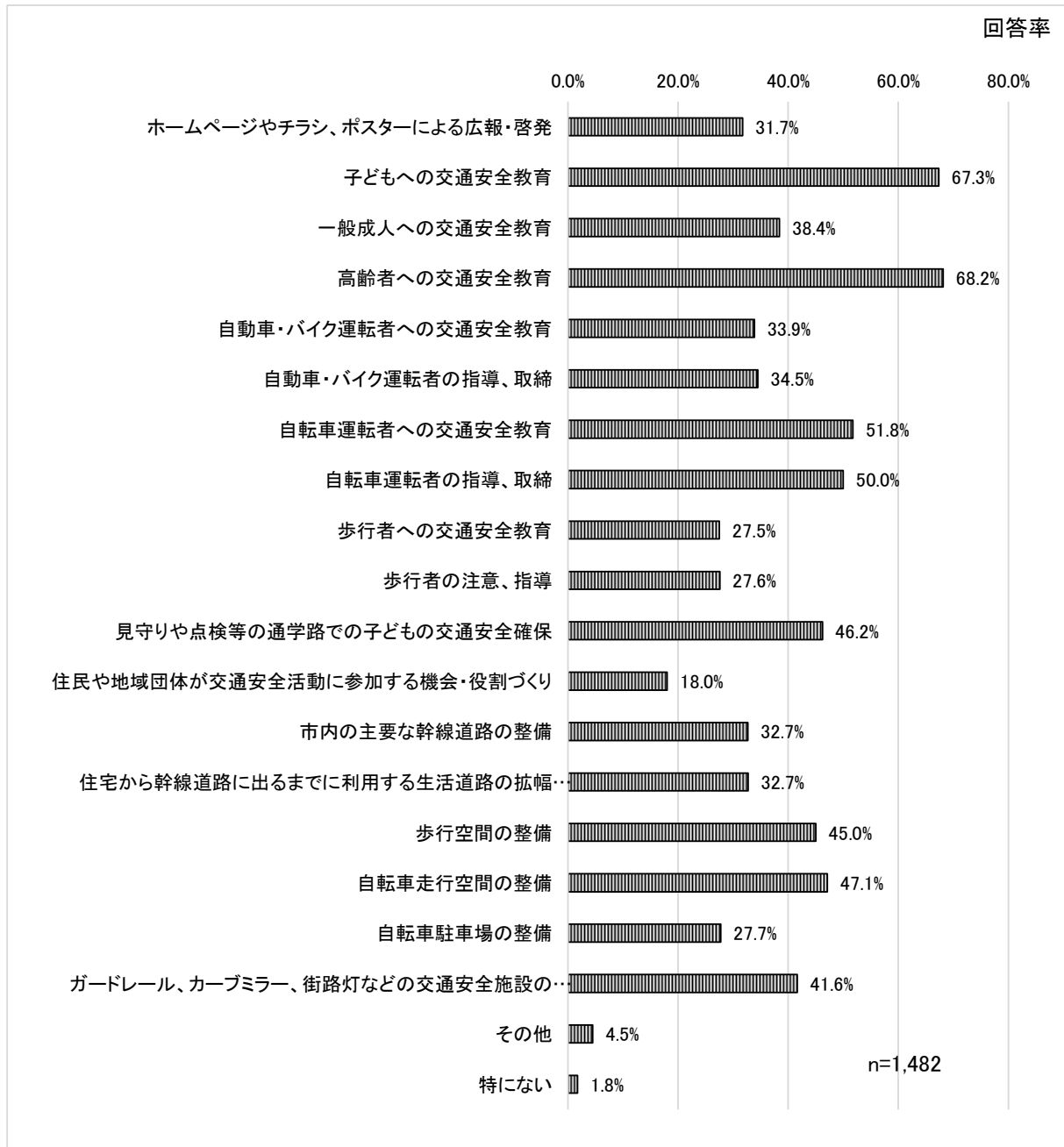
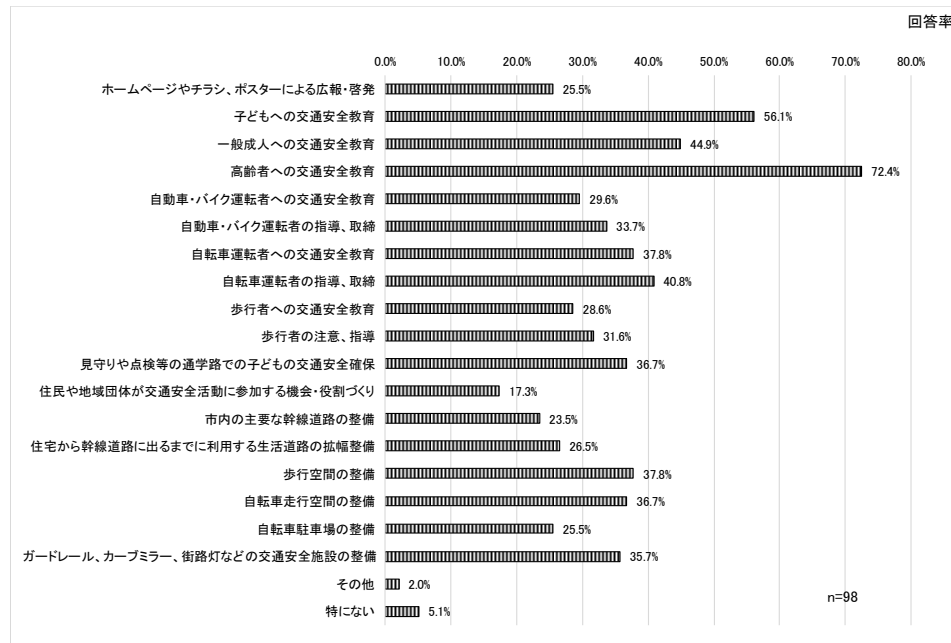


図 2-4-3 今後、市や警察が行う交通安全の取組について重要だと思うもの

○20 歳代に関しては、「高齢者への交通安全教育」が最も多く、「子どもへの交通安全教育」「一般成人への交通安全教育」が続く。

○30 歳代に関しては、「高齢者への交通安全教育」が最も多く、「子どもへの交通安全教育」「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」「歩行空間の整備」が続く。

【20 歳代】



【30 歳代】

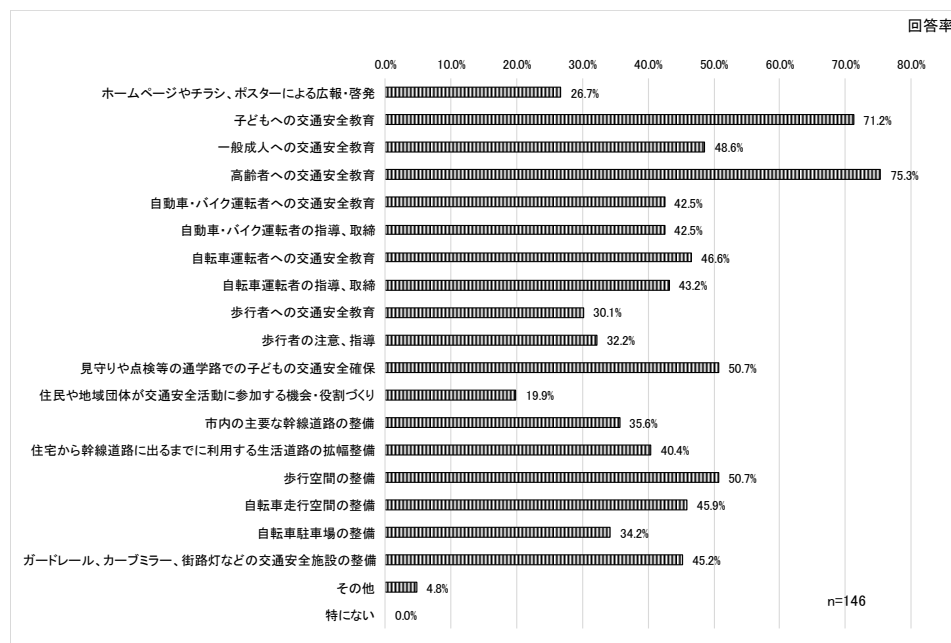
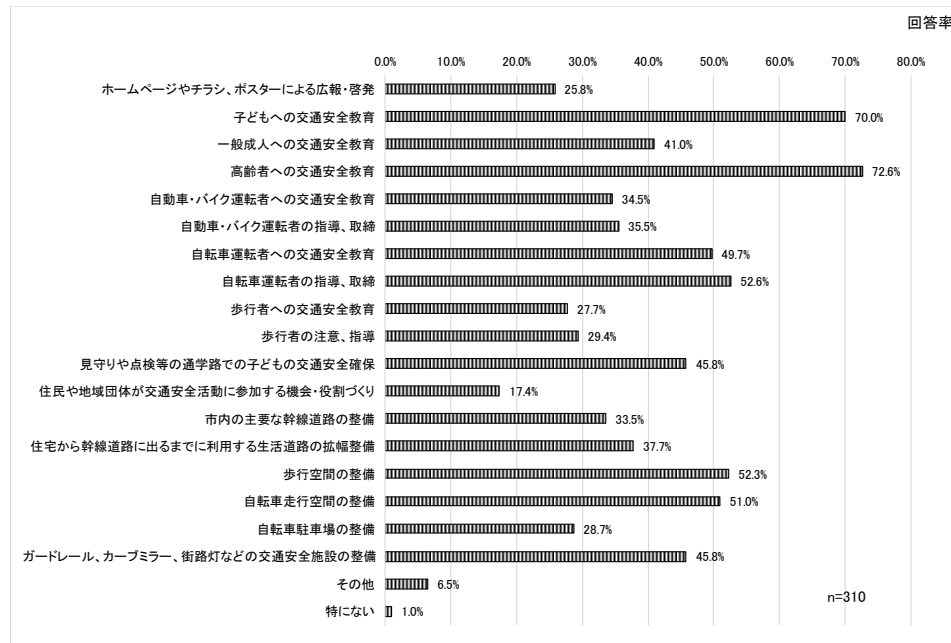


図 2-4-4 今後、市や警察が行う交通安全の取組について重要だと思うもの（年齢階層別）

○40 歳代に関しては、「高齢者への交通安全教育」が最も多く、「子どもへの交通安全教育」「自転車運転者への交通安全教育」「自転車運転者の指導、取締」が続く。

○50 歳代に関しては、「高齢者への交通安全教育」が最も多く、「子どもへの交通安全教育」「自転車運転者への交通安全教育」「自転車運転者の指導、取締」が続く。

【40 歳代】



【50 歳代】

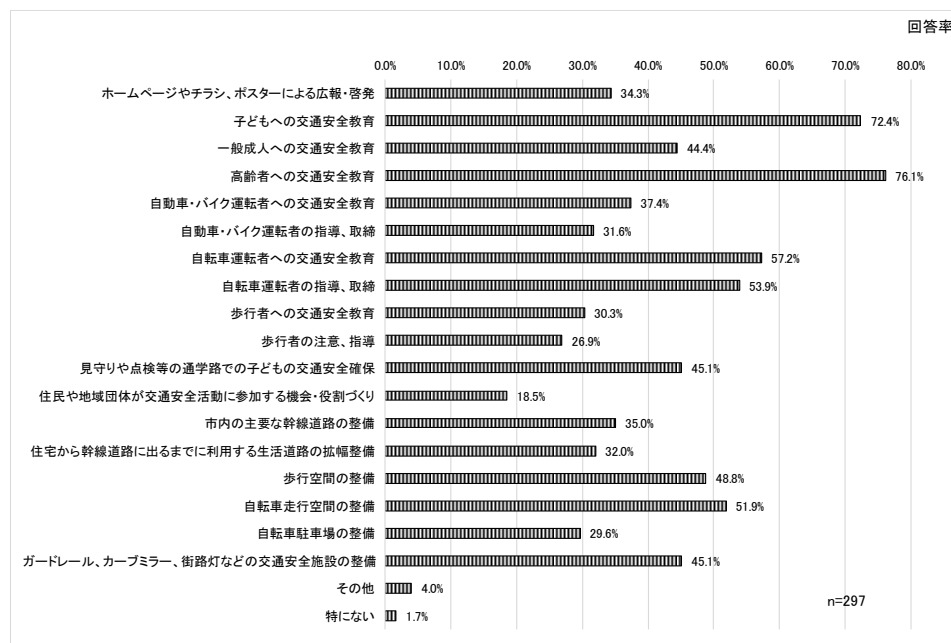
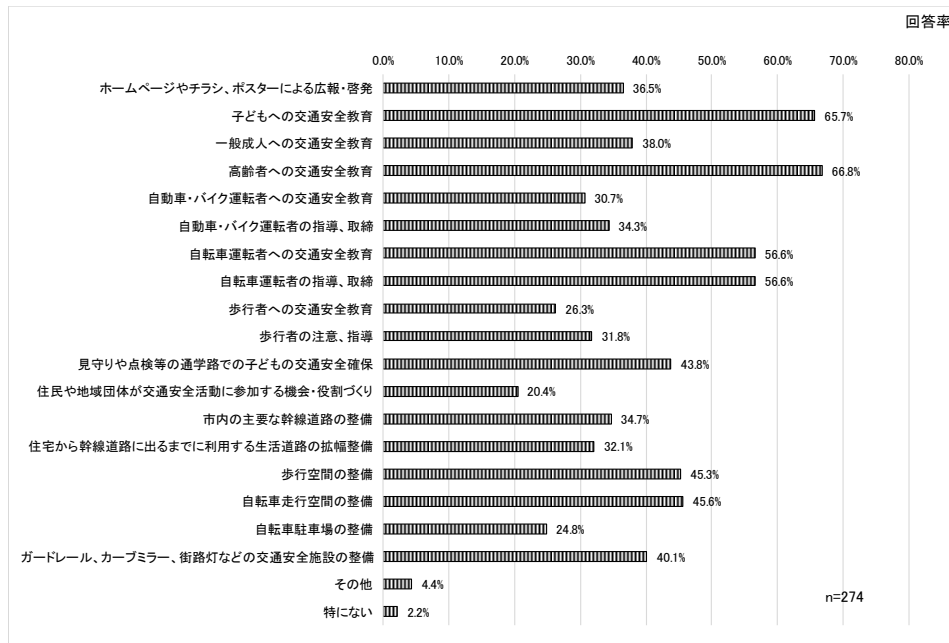


図 2-4-4 今後、市や警察が行う交通安全の取組について重要だと思うもの（年齢階層別）

○60 歳代に関しては、「高齢者への交通安全教育」が最も多く、「子どもへの交通安全教育」「自転車運転者への交通安全教育」「自転車運転者の指導、取締」が続く。

○70 歳代に関しては、「子どもへの交通安全教育」が最も多く、「高齢者への交通安全教育」「自転車運転者への交通安全教育」が続く。

【60 歳代】



【70 歳代】

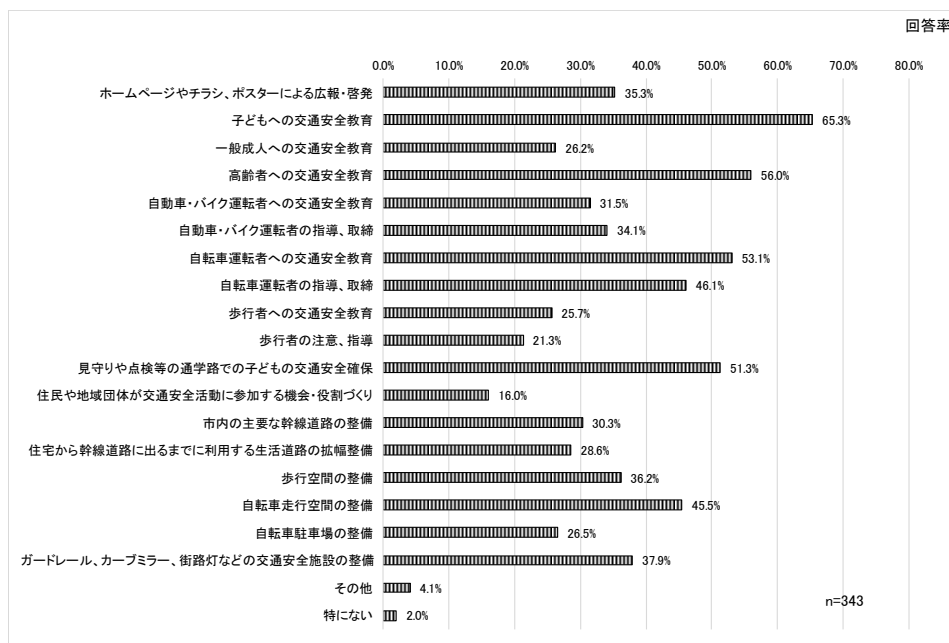


図 2-4-4 今後、市や警察が行う交通安全の取組について重要だと思うもの（年齢階層別）

○「とても意識する」「意識することがある」「時々意識することがある」と回答した市民の回答をみると、今後市や警察が行う交通安全の取組について重要だと思うものとして、「自転車運転者の指導、取締」「見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保」「自転車運転者への交通安全教育」などは、「とても意識する」と回答した市民ほど回答率が高い傾向がみられる。

表 2-4-10 今後、市や警察が行う交通安全の取組について重要だと思うもの
(交通安全に対する意識別)

	とても意識する (n=716)	意識することがある (n=514)	時々意識することがある (n=189)	どちらでもない (n=17)	あまり意識することはない (n=34)	意識することはない (n=3)	まったく意識しない (n=4)	未回答・不明 (n=5)	合計 (n=1482)
ホームページやチラシ、ポスターによる広報・啓発	32.8%	33.1%	29.1%	11.8%	20.6%	33.3%	0.0%	0.0%	31.7%
子どもへの交通安全教育	69.8%	69.5%	57.7%	58.8%	52.9%	66.7%	25.0%	20.0%	67.3%
一般成人への交通安全教育	41.3%	40.9%	27.5%	17.6%	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	38.4%
高齢者への交通安全教育	71.1%	69.1%	58.2%	58.8%	61.8%	33.3%	50.0%	40.0%	68.2%
自動車・バイク運転者への交通安全教育	37.2%	34.0%	27.5%	0.0%	23.5%	0.0%	0.0%	20.0%	33.9%
自動車・バイク運転者の指導、取締	39.5%	32.1%	25.9%	11.8%	32.4%	0.0%	0.0%	20.0%	34.5%
自転車運転者への交通安全教育	57.8%	49.4%	42.3%	17.6%	35.3%	0.0%	25.0%	60.0%	51.8%
自転車運転者の指導、取締	57.0%	47.3%	38.6%	29.4%	26.5%	33.3%	0.0%	40.0%	50.0%
歩行者への交通安全教育	30.6%	25.9%	24.3%	17.6%	11.8%	33.3%	25.0%	20.0%	27.5%
歩行者の注意、指導	31.7%	25.7%	20.6%	29.4%	11.8%	0.0%	25.0%	20.0%	27.6%
見守りや点検等の通学路での子どもの交通安全確保	51.0%	46.3%	32.8%	17.6%	38.2%	66.7%	25.0%	20.0%	46.2%
住民や地域団体が交通安全活動に参加する機会・役割づくり	20.9%	17.9%	10.1%	5.9%	8.8%	33.3%	25.0%	0.0%	18.0%
市内の主要な幹線道路の整備	36.7%	30.2%	28.6%	23.5%	20.6%	0.0%	25.0%	0.0%	32.7%
住宅から幹線道路に出るまでに利用する生活道路の拡幅整備	35.5%	32.5%	28.0%	23.5%	17.6%	0.0%	25.0%	0.0%	32.7%
歩行空間の整備	47.2%	44.2%	45.0%	29.4%	26.5%	33.3%	25.0%	20.0%	45.0%
自転車走行空間の整備	50.8%	45.1%	45.5%	17.6%	32.4%	33.3%	0.0%	20.0%	47.1%
自転車駐車場の整備	29.6%	26.5%	28.0%	29.4%	11.8%	0.0%	0.0%	20.0%	27.7%
ガードレール、カーブミラー、街路灯などの交通安全施設の整備	44.3%	42.0%	37.0%	11.8%	20.6%	66.7%	50.0%	20.0%	41.6%
その他	6.4%	3.9%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%
特になし	1.0%	1.8%	2.6%	5.9%	5.9%	33.3%	25.0%	0.0%	1.8%